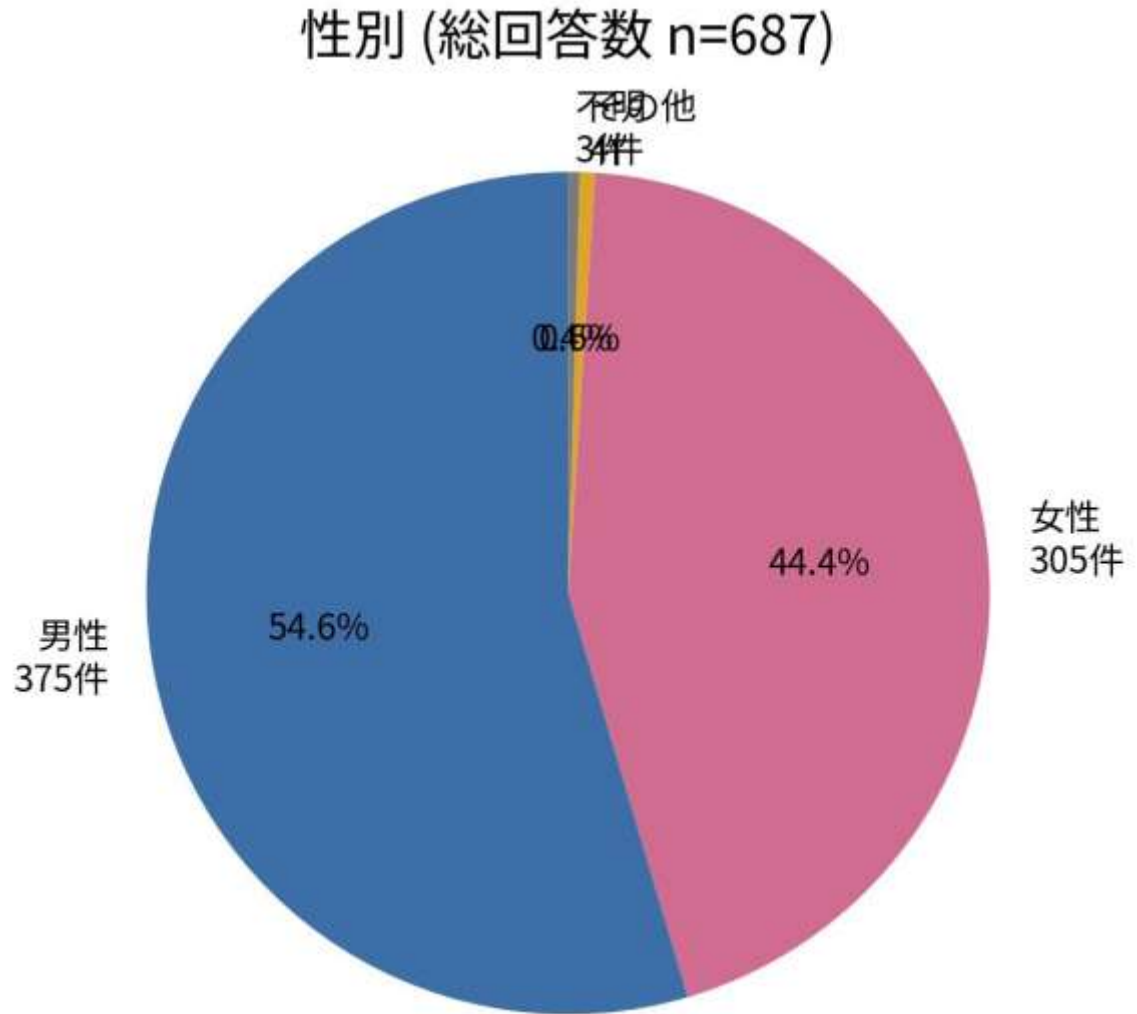


坂下地区 イベント参加者アンケート 集計結果

全体集計・性別（男性／女性）・年代別（10～40代の若年層／50代以上）クロス集計

回答者属性の概要：性別

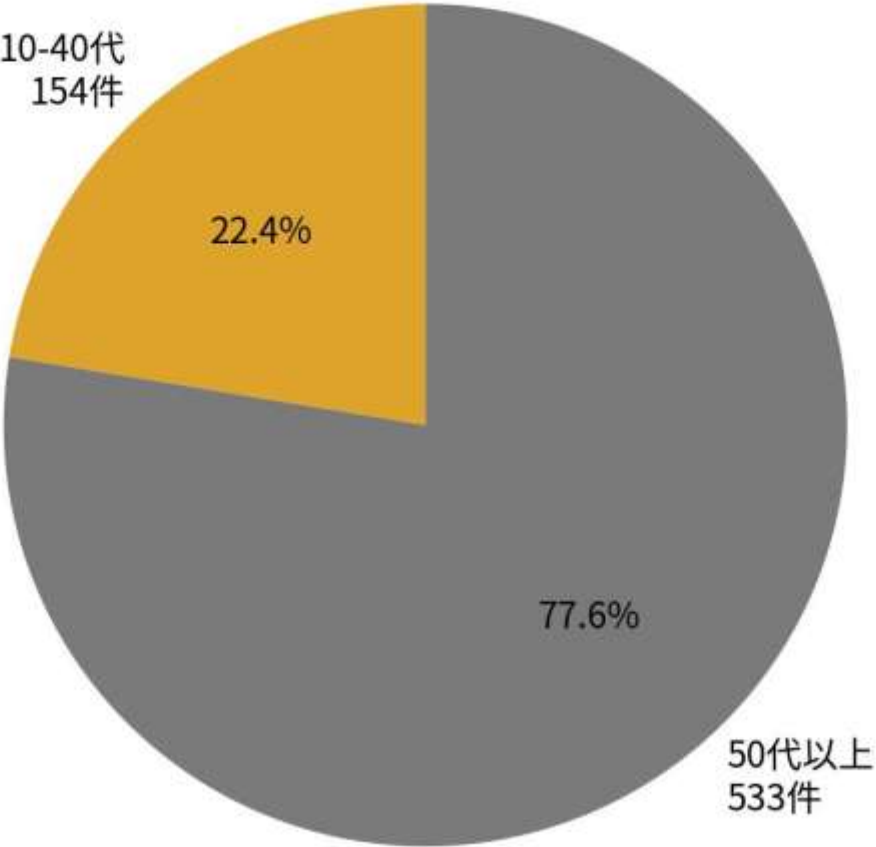
総回答数 687件／自由記述・その他意見は内容が明らかに一致する選択肢に統合して集計



回答者属性の概要：年代

総回答数 687件

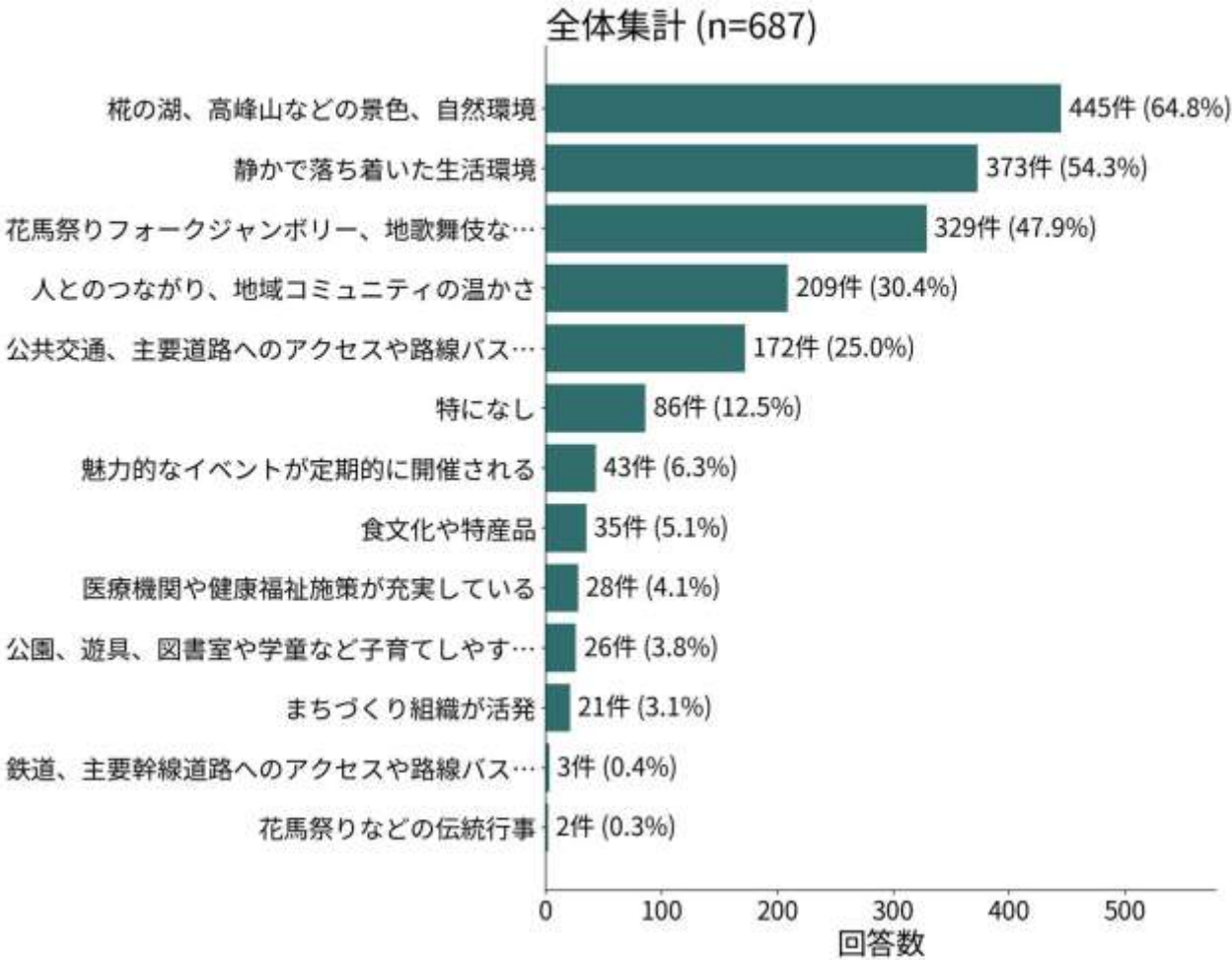
年代グループ (総回答数 n=687)



Q4. 坂下地区の良いところ【全体集計】

複数回答

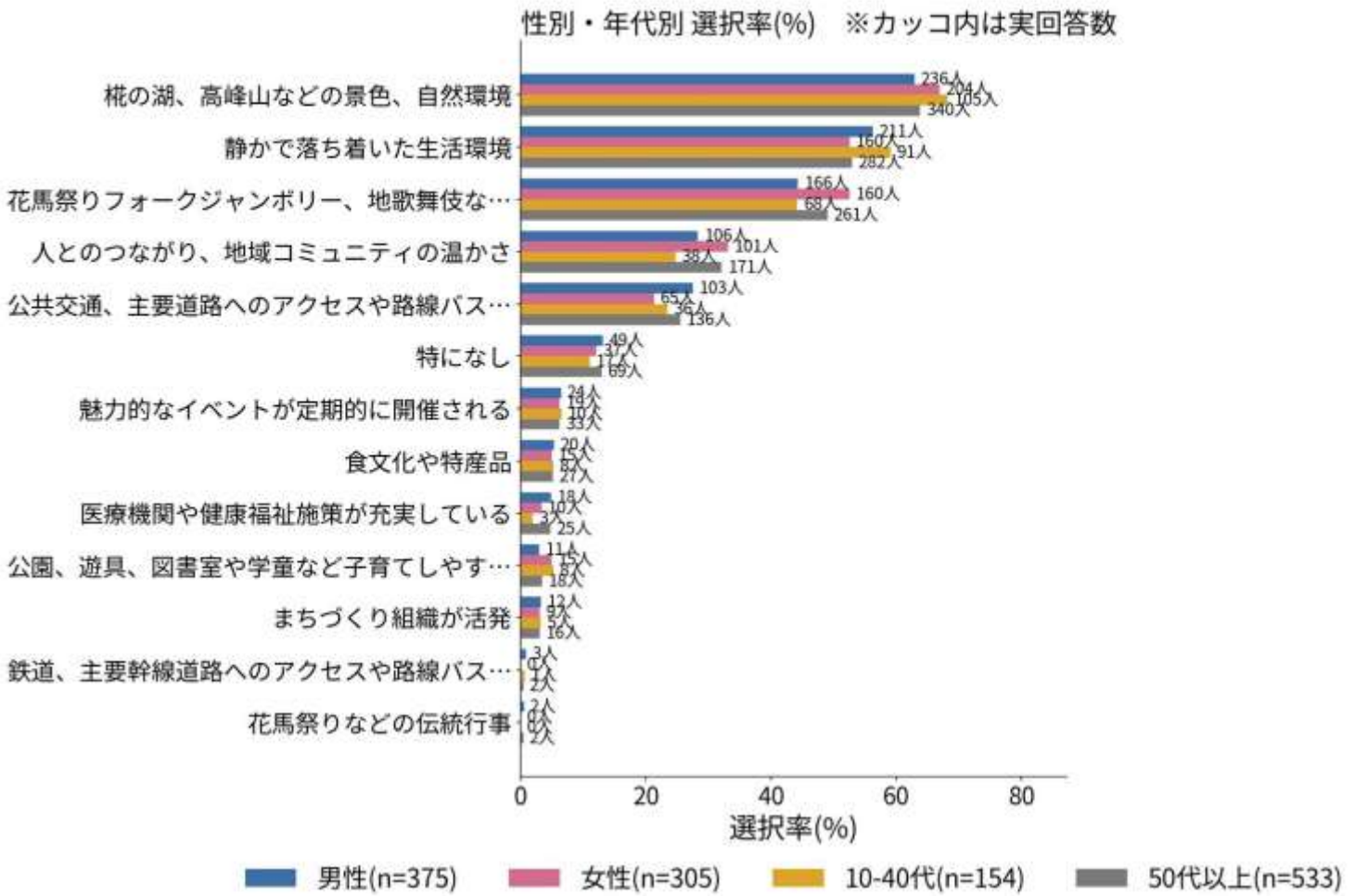
Q4. 坂下地区の良いところ



Q4. 坂下地区の良いところ【性別・年代別】

複数回答

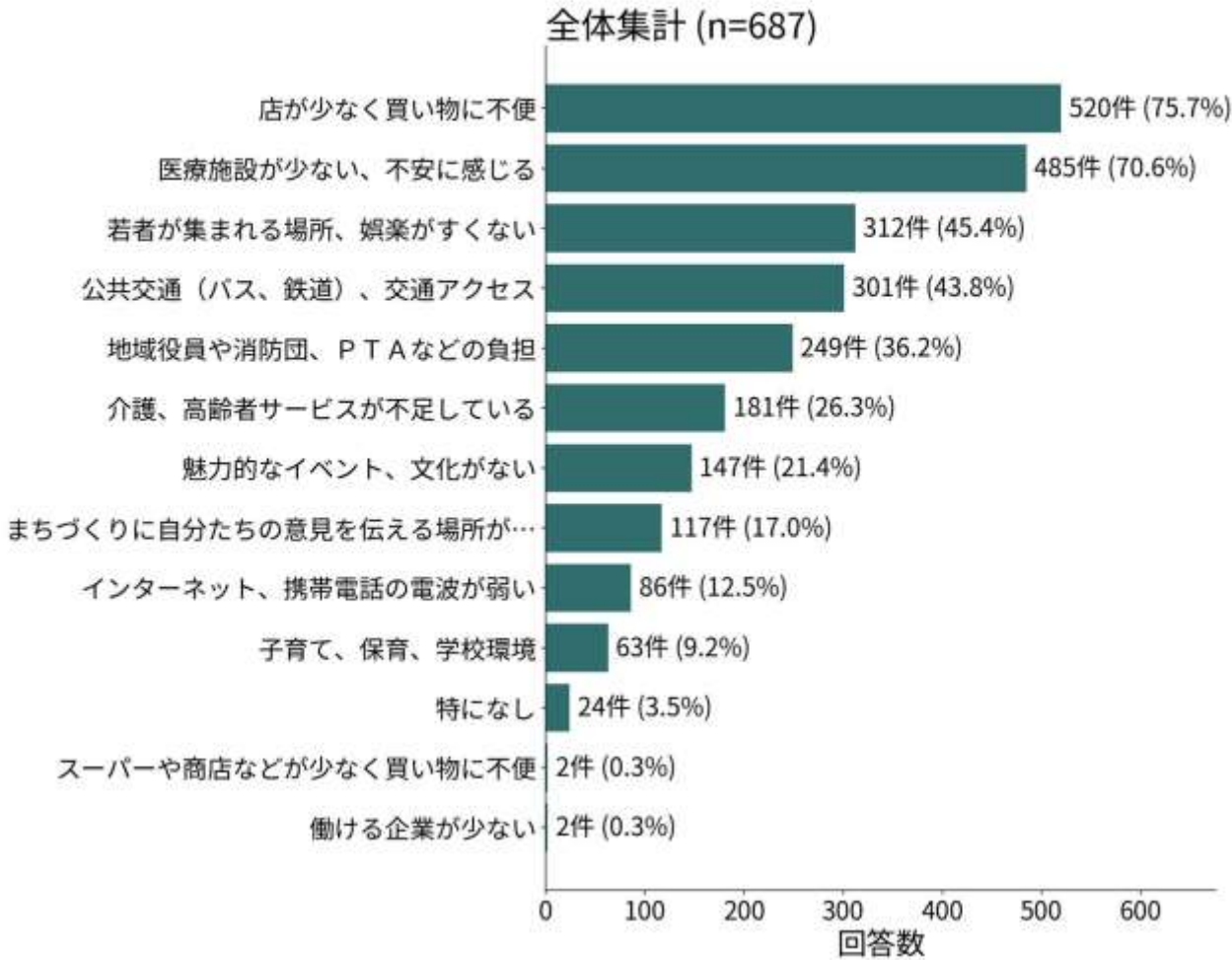
Q4. 坂下地区の良いところ



Q5. 不満な点・困っていること【全体集計】

複数回答

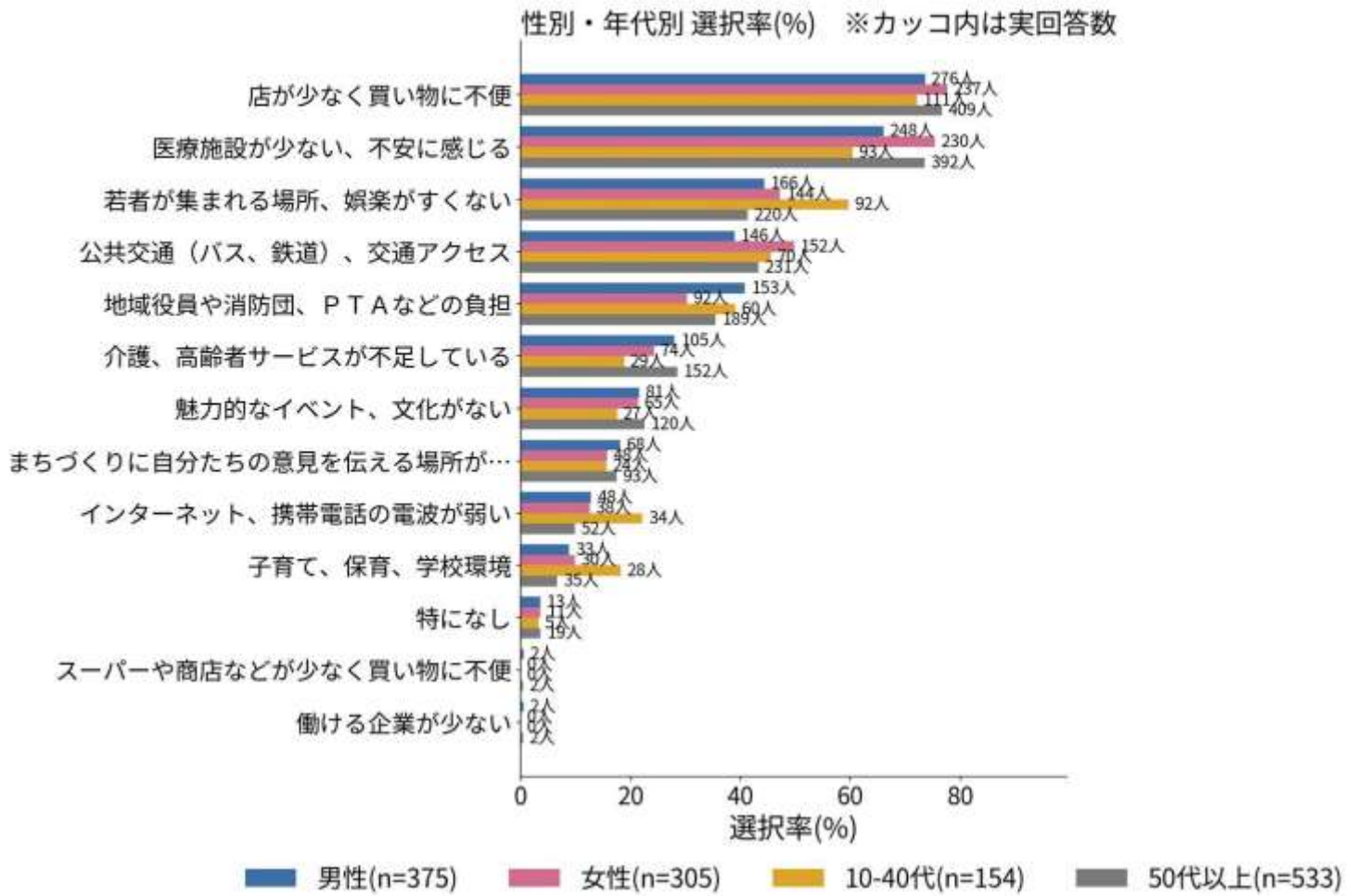
Q5. 不満な点・困っていること



Q5. 不満な点・困っていること【性別・年代別】

複数回答

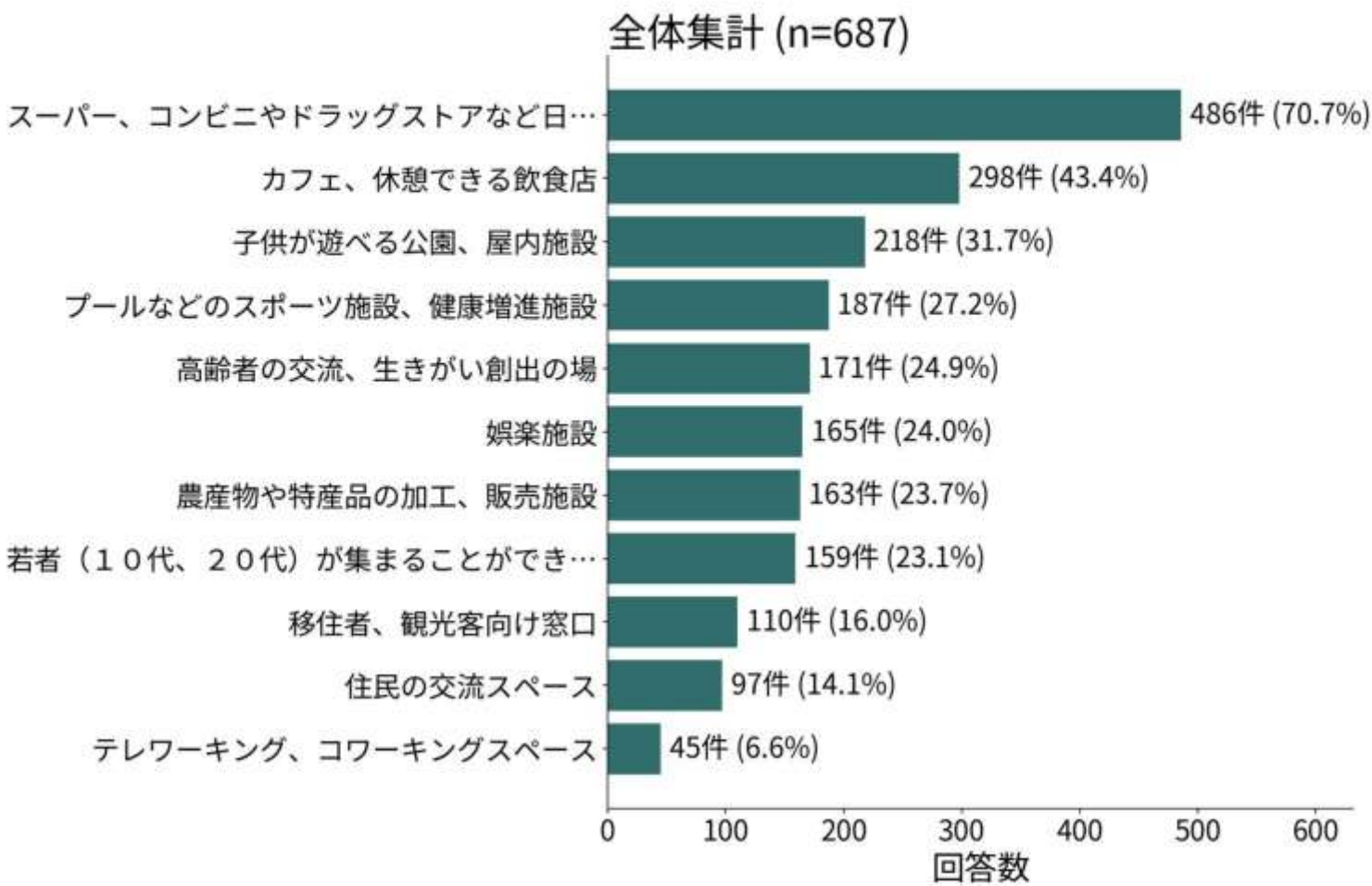
Q5. 不満な点・困っていること



Q6. あったらいいな施設・サービス【全体集計】

複数回答

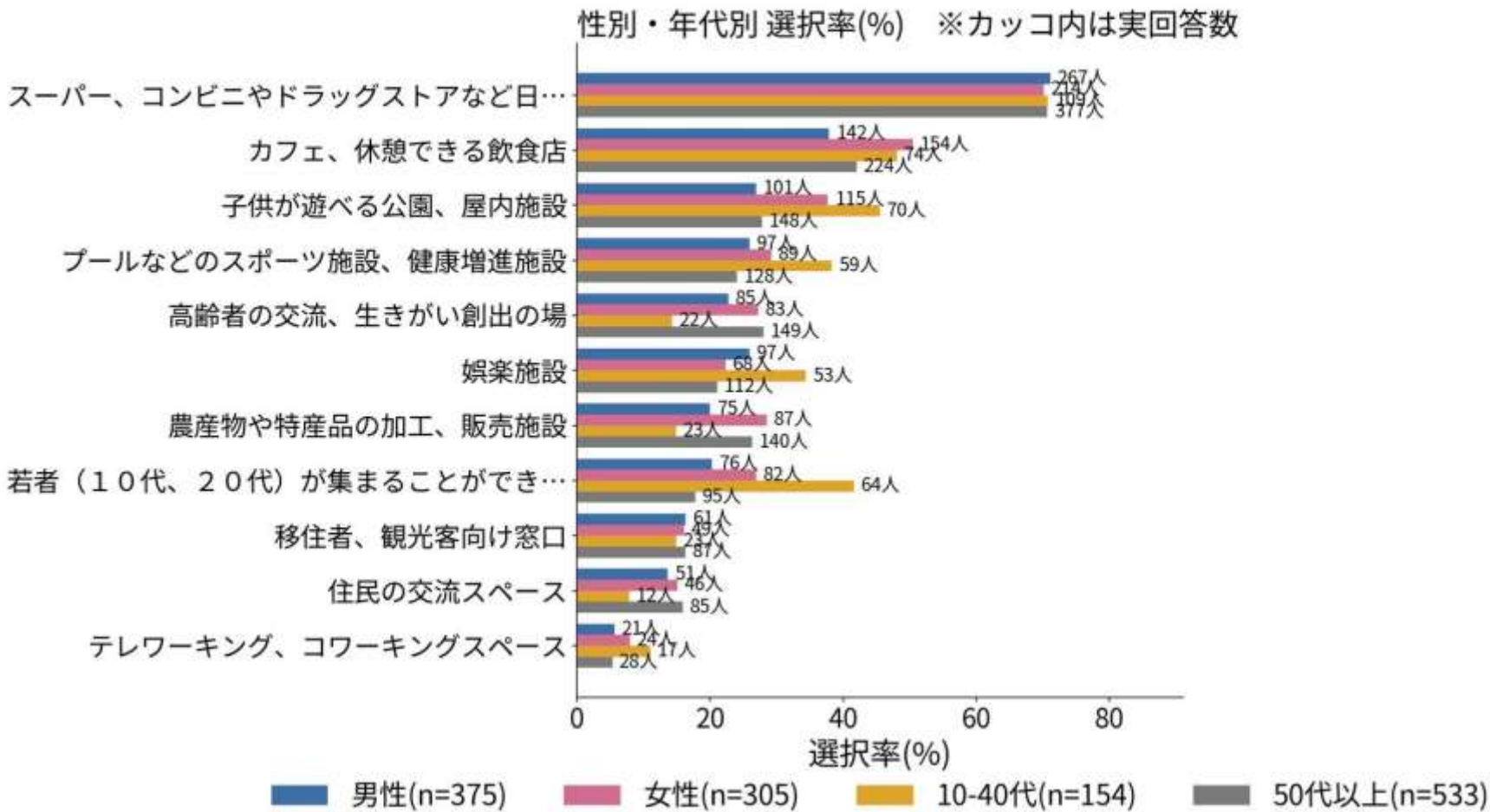
Q6. あったらいいな施設・サービス



Q6. あったらいいな施設・サービス【性別・年代別】

複数回答

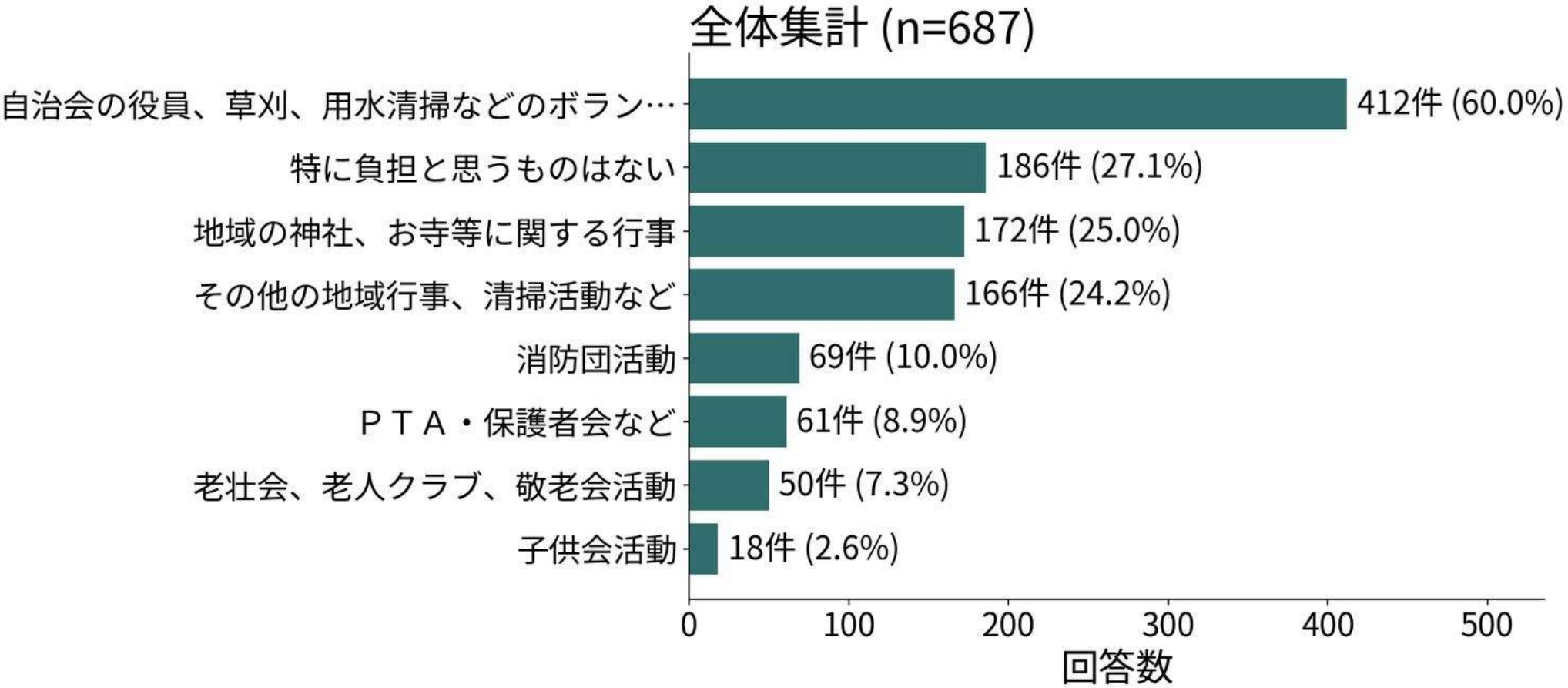
Q6. あったらいいな施設・サービス



Q7. 負担とを感じる地域活動【全体集計】

複数回答

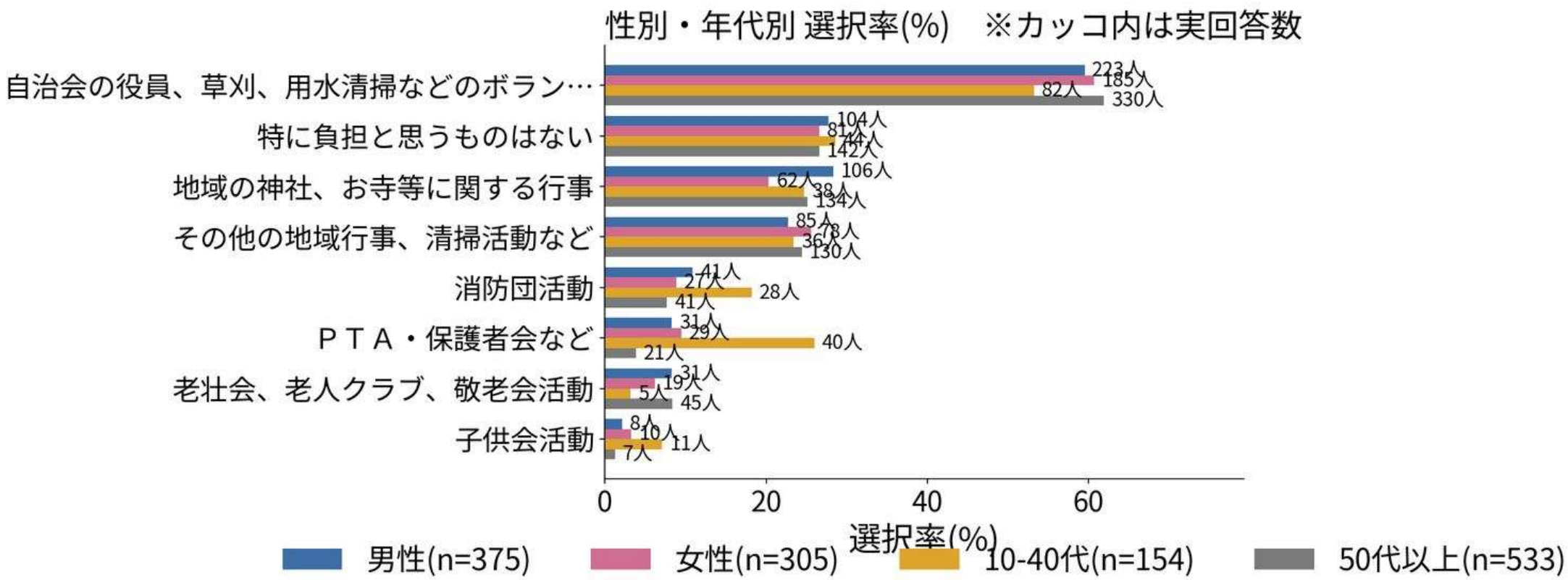
Q7. 負担とを感じる地域活動



Q7. 負担とを感じる地域活動【性別・年代別】

複数回答

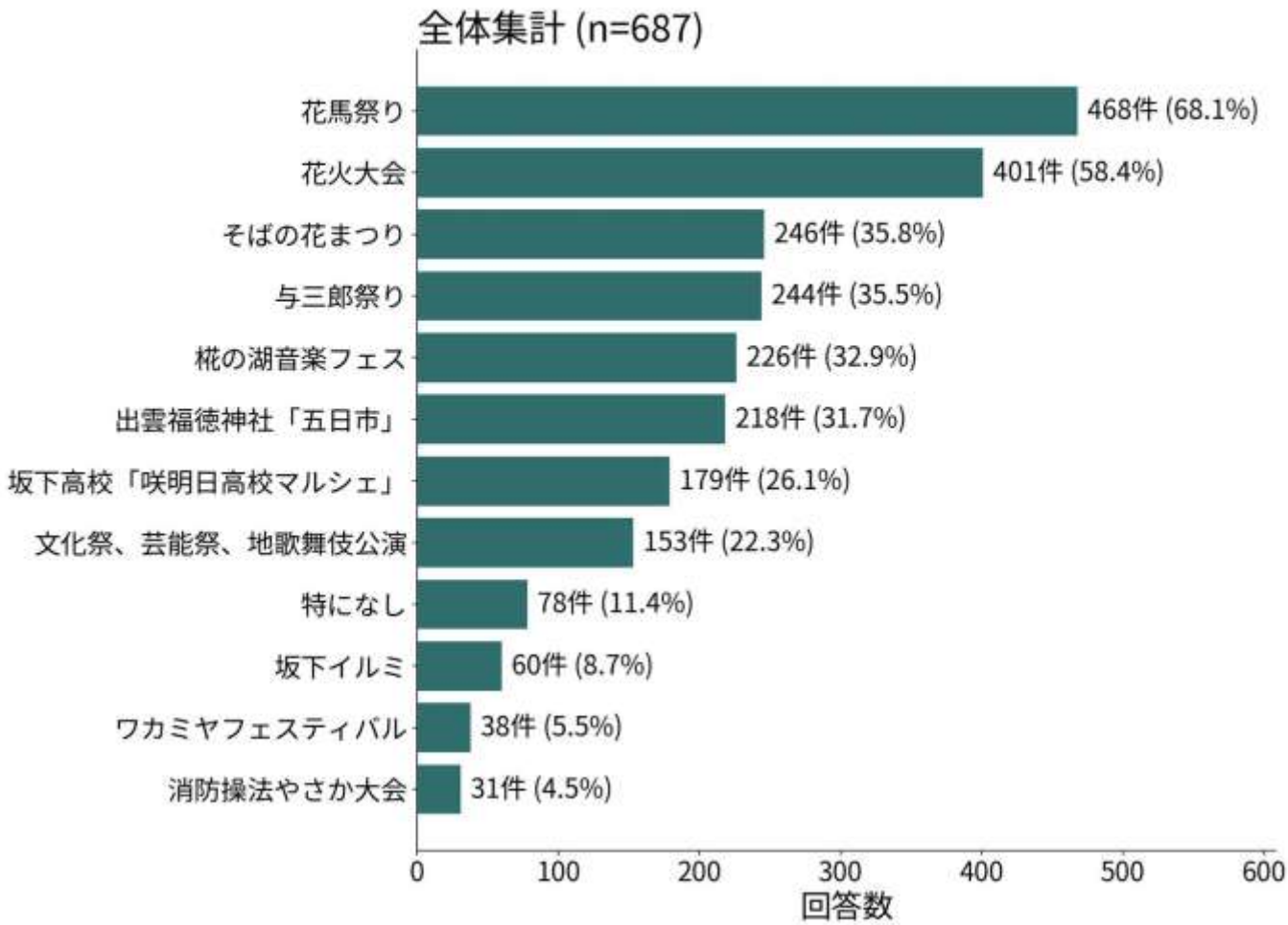
Q7. 負担とを感じる地域活動



Q8. 魅力的なイベント・行事【全体集計】

複数回答

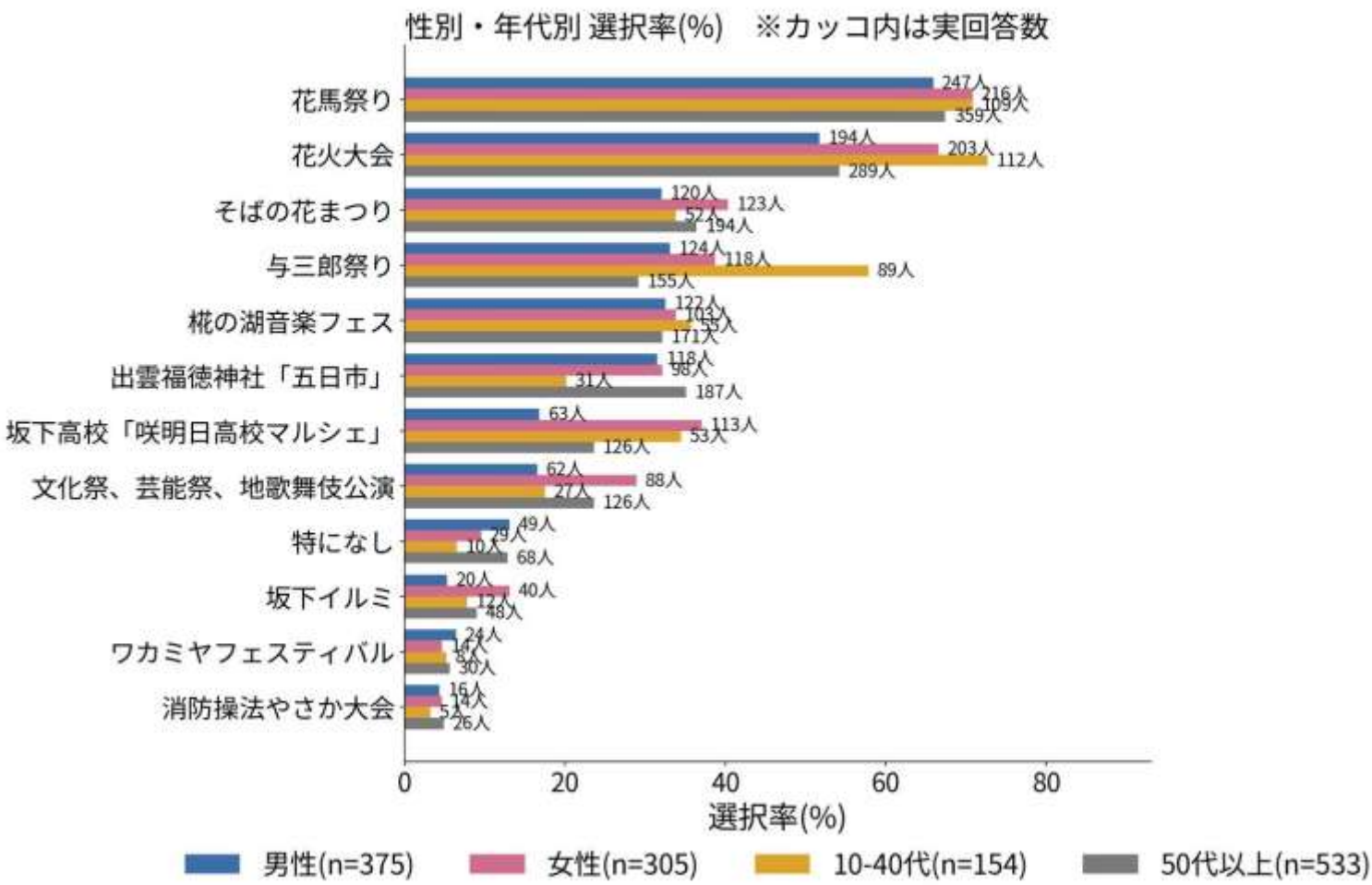
Q8. 魅力的なイベント・行事



Q8. 魅力的なイベント・行事【性別・年代別】

複数回答

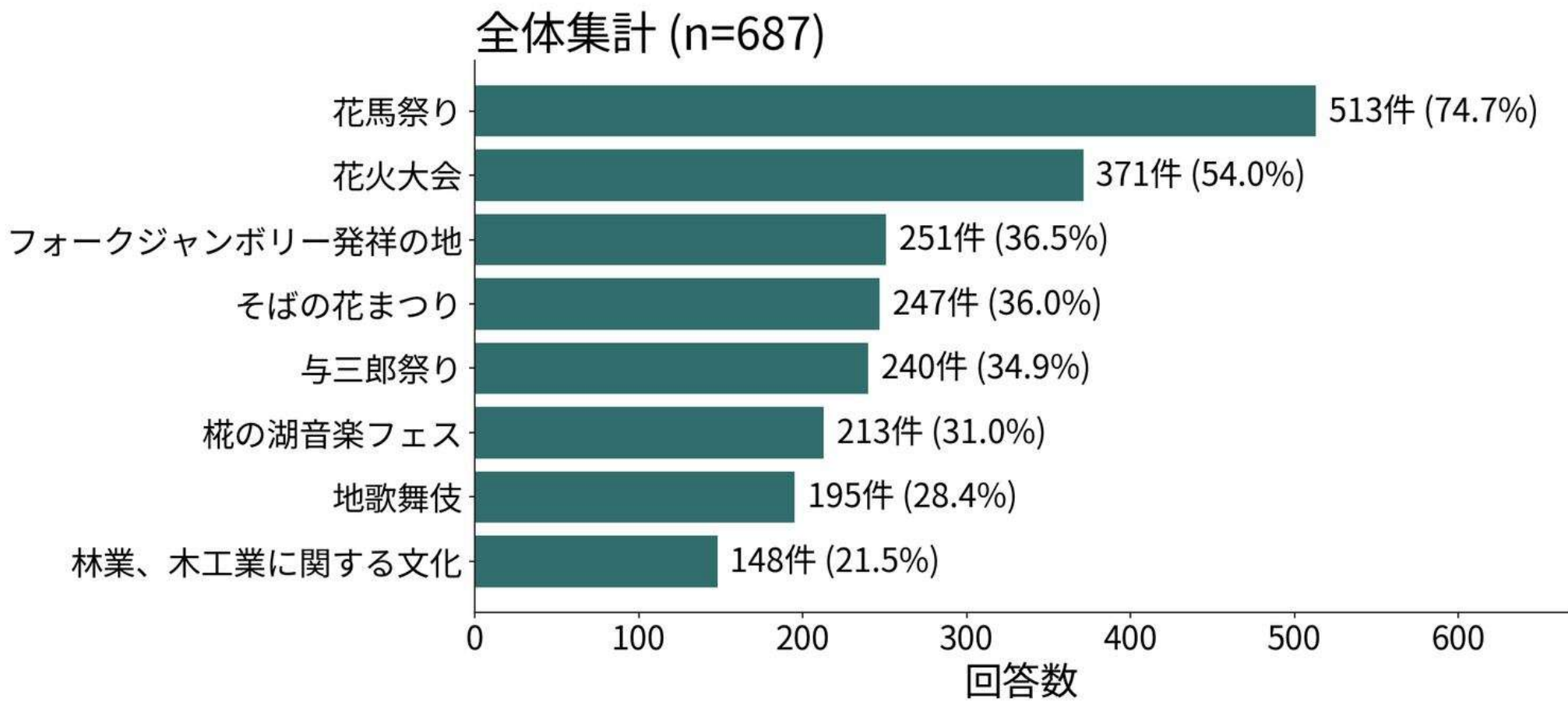
Q8. 魅力的なイベント・行事



Q10. 残したい文化・伝統・イベント【全体集計】

複数回答

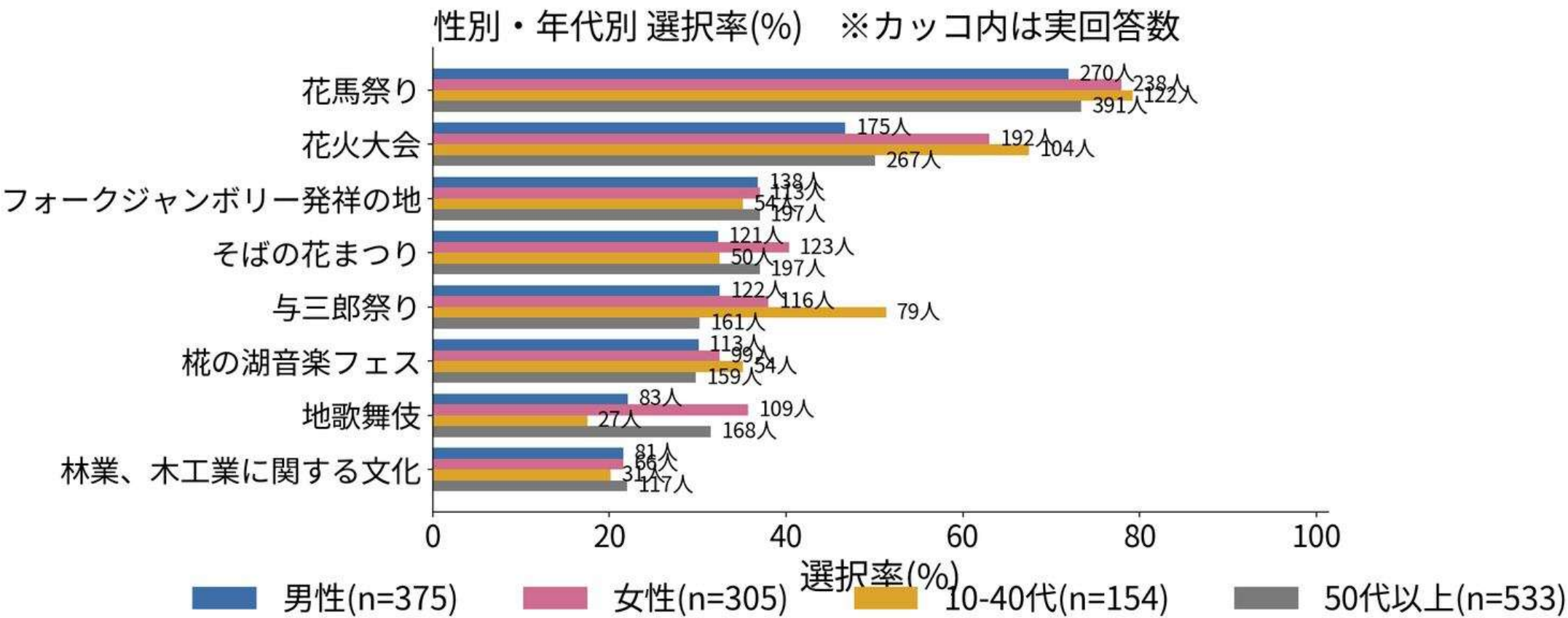
Q10. 残したい文化・伝統・イベント



Q10. 残したい文化・伝統・イベント【性別・年代別】

複数回答

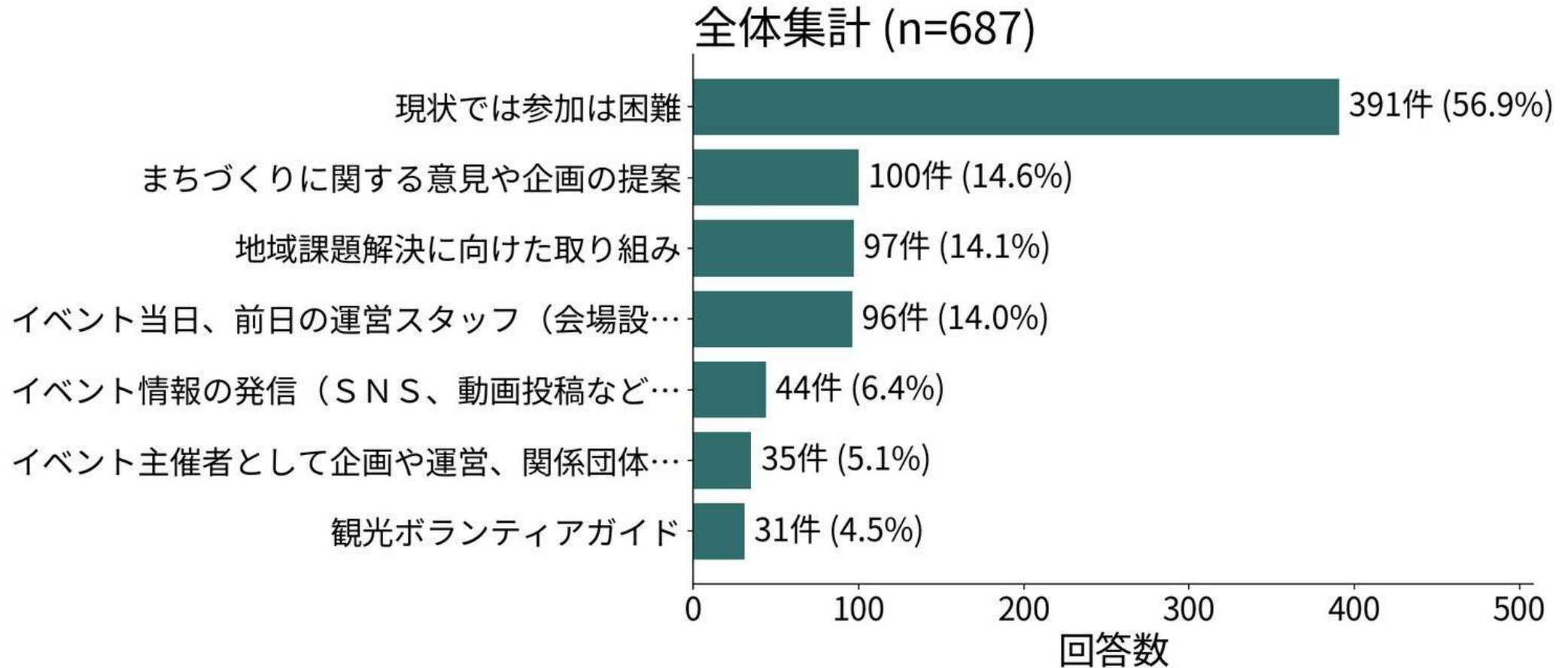
Q10. 残したい文化・伝統・イベント



Q13. まちづくりへの関わり方【全体集計】

複数回答

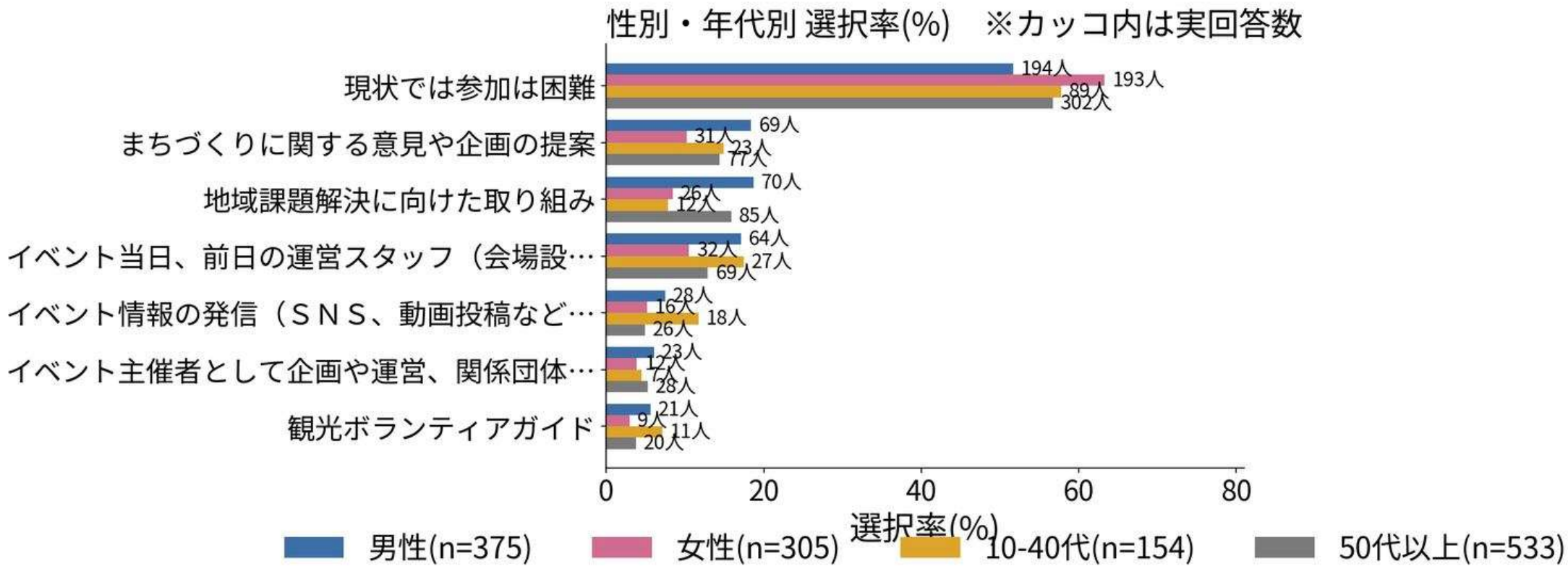
Q13. まちづくりへの関わり方



Q13. まちづくりへの関わり方【性別・年代別】

複数回答

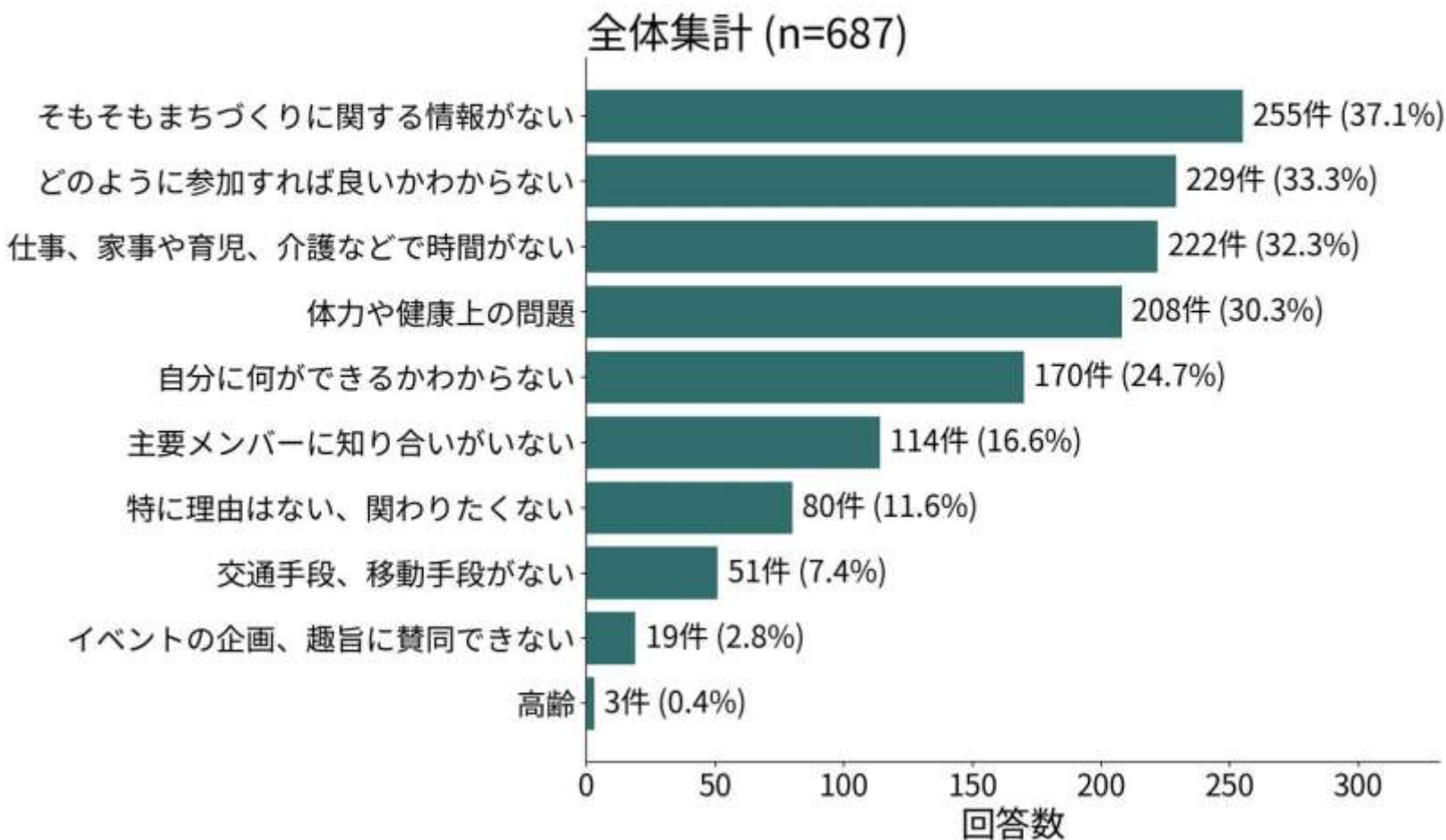
Q13. まちづくりへの関わり方



Q14. まちづくり参加を難しくする要因【全体集計】

複数回答

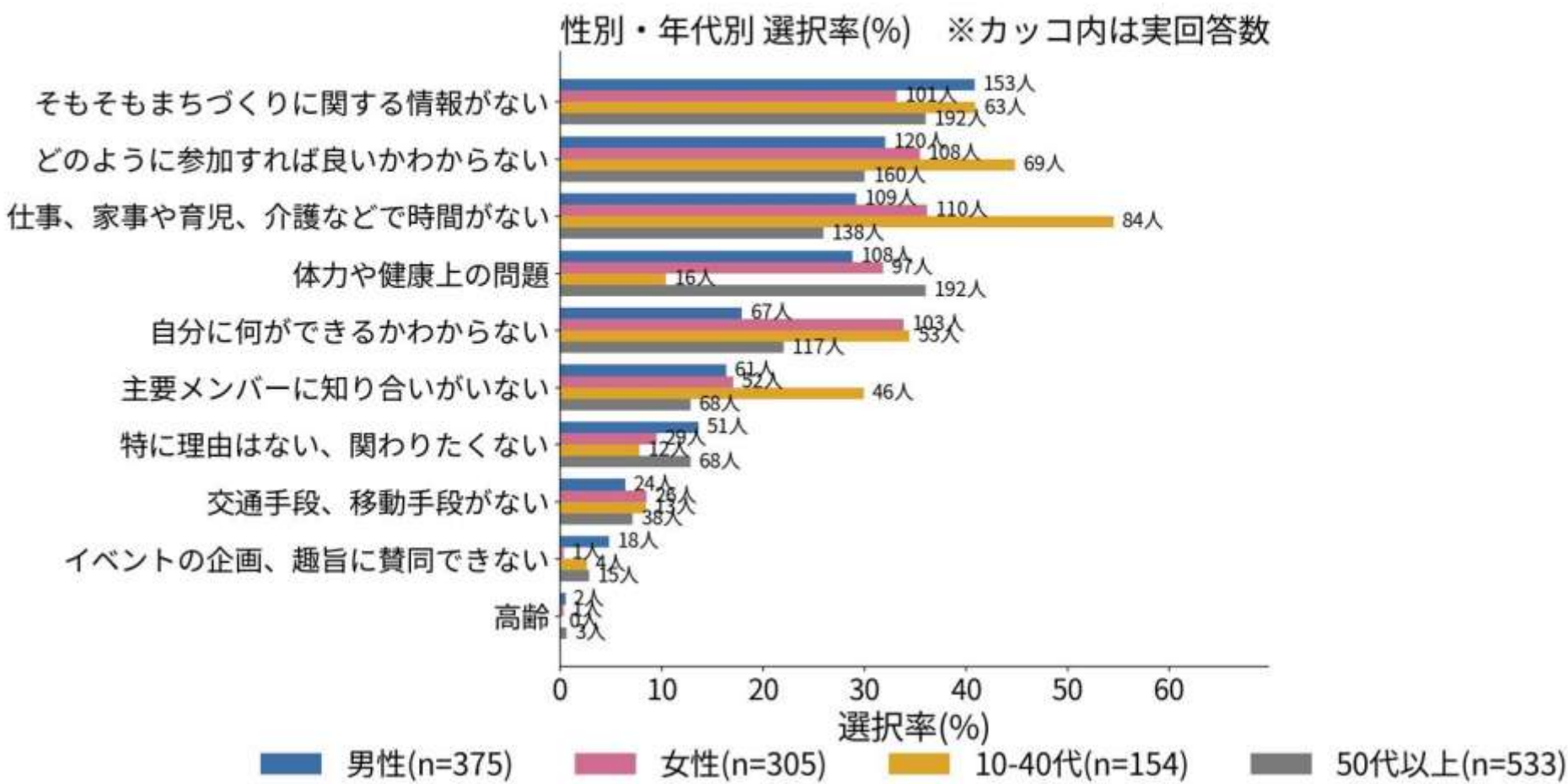
Q14. まちづくり参加を難しくする要因



Q14. まちづくり参加を難しくする要因【性別・年代別】

複数回答

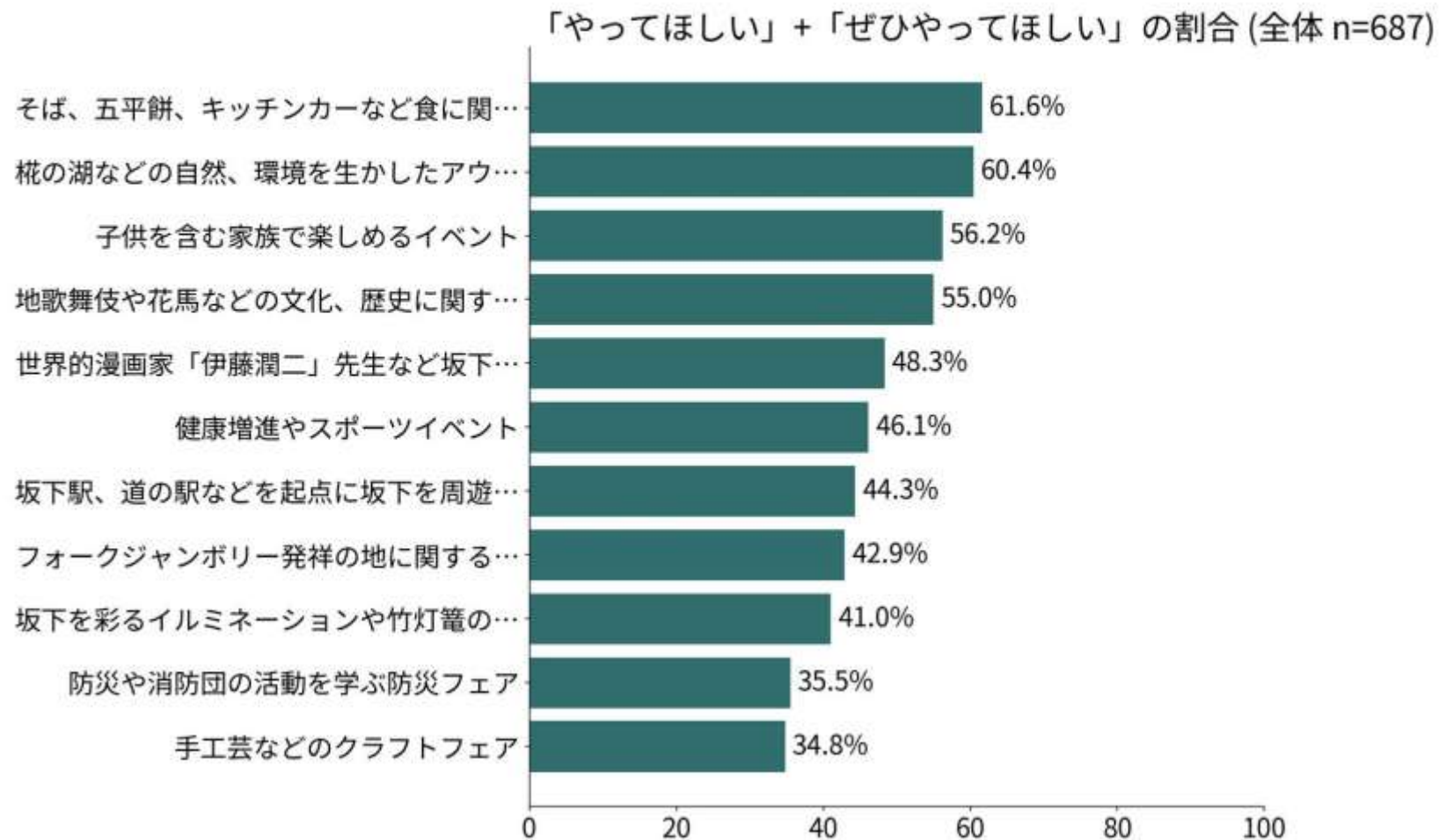
Q14. まちづくり参加を難しくする要因



Q11. 今後やってほしいイベント【全体集計】

「ぜひやってほしい」 + 「やってほしい」の合計割合で集計

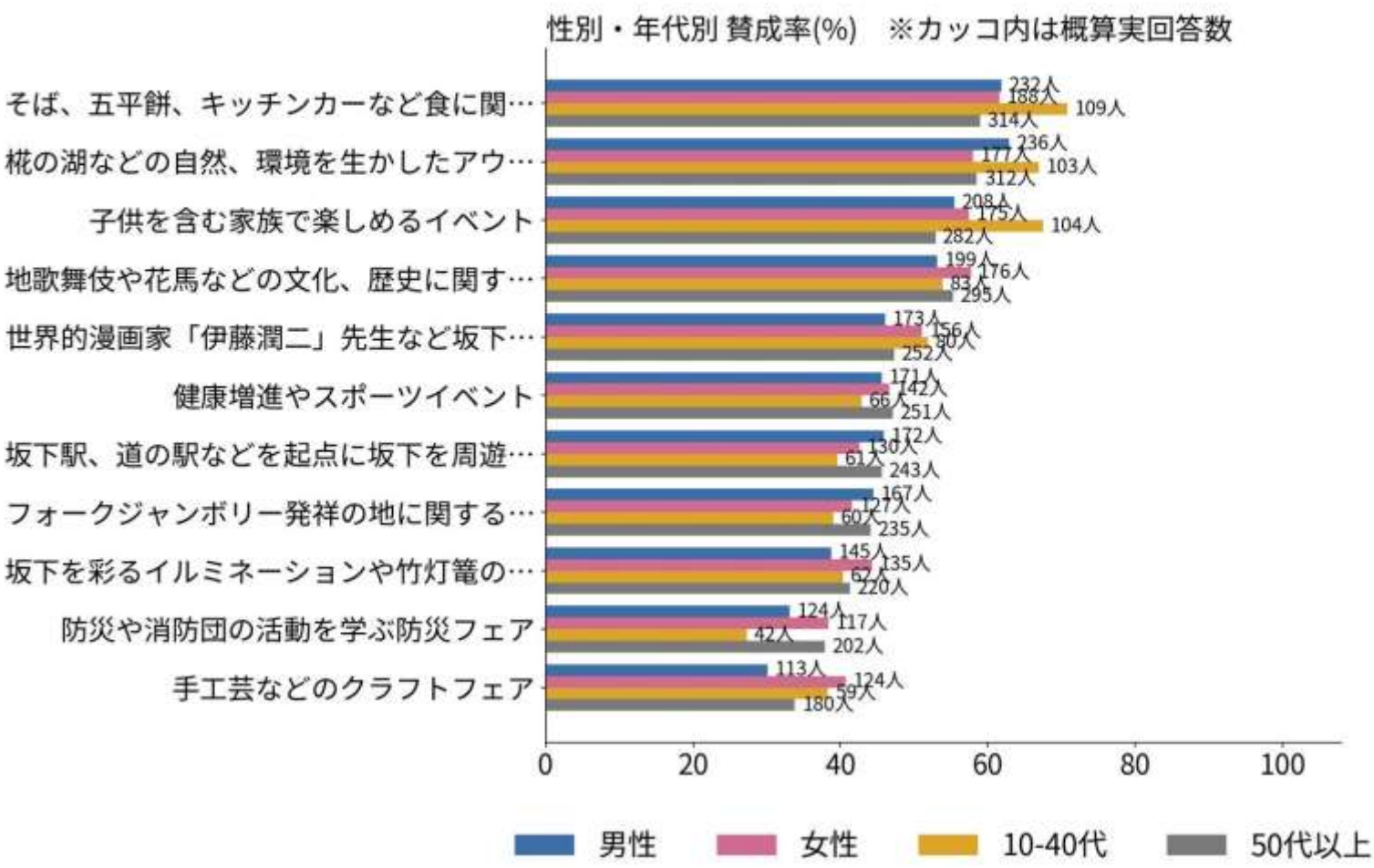
Q11. 今後やってほしいイベント（賛成率）



Q11. 今後やってほしいイベント【性別・年代別】

「ぜひやってほしい」 + 「やってほしい」の合計割合で集計

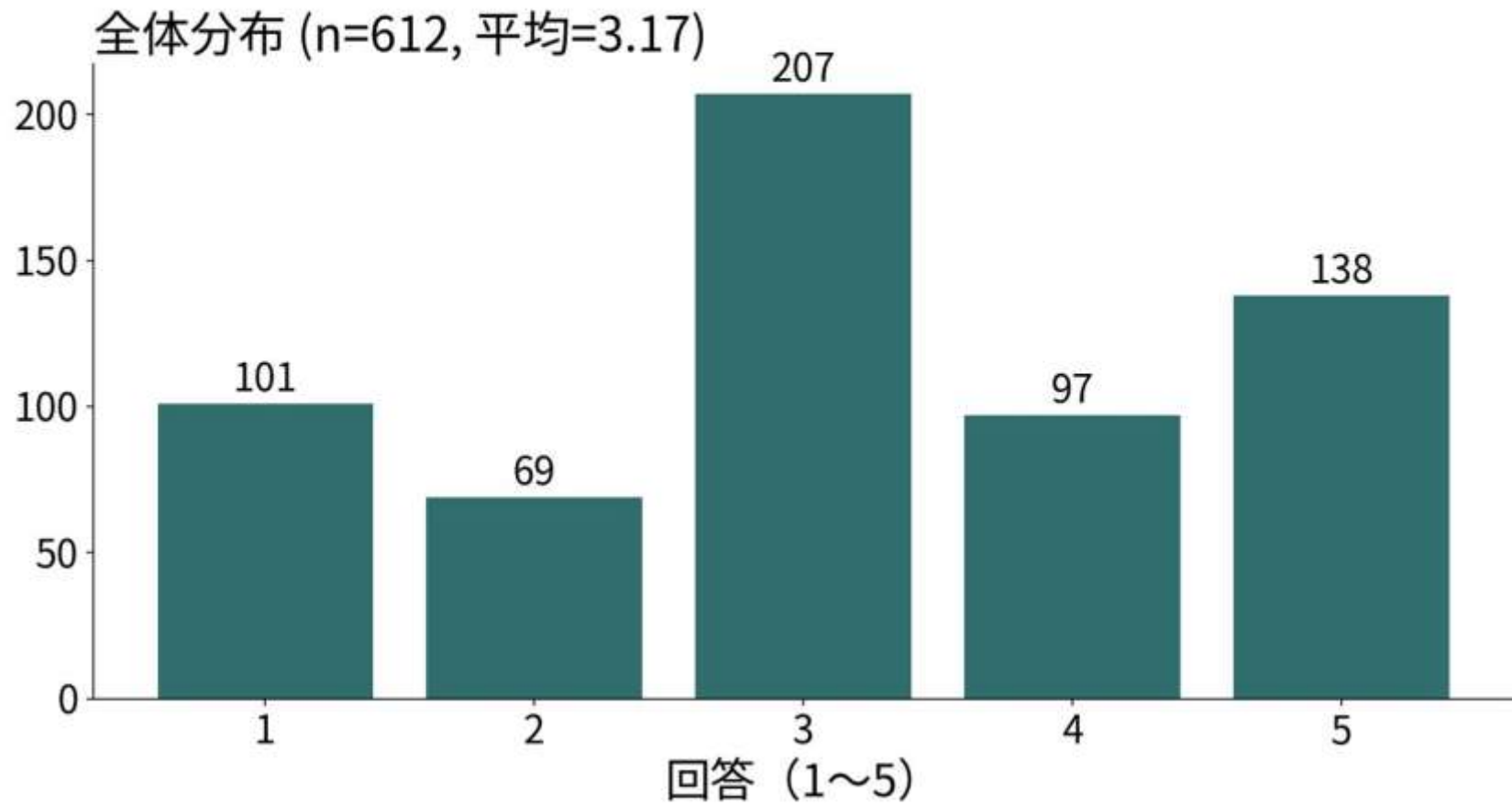
Q11. 今後やってほしいイベント（賛成率）



Q9. 今後イベントに参加したいか【全体分布】

客として参加する意向（1～5の5段階評価）

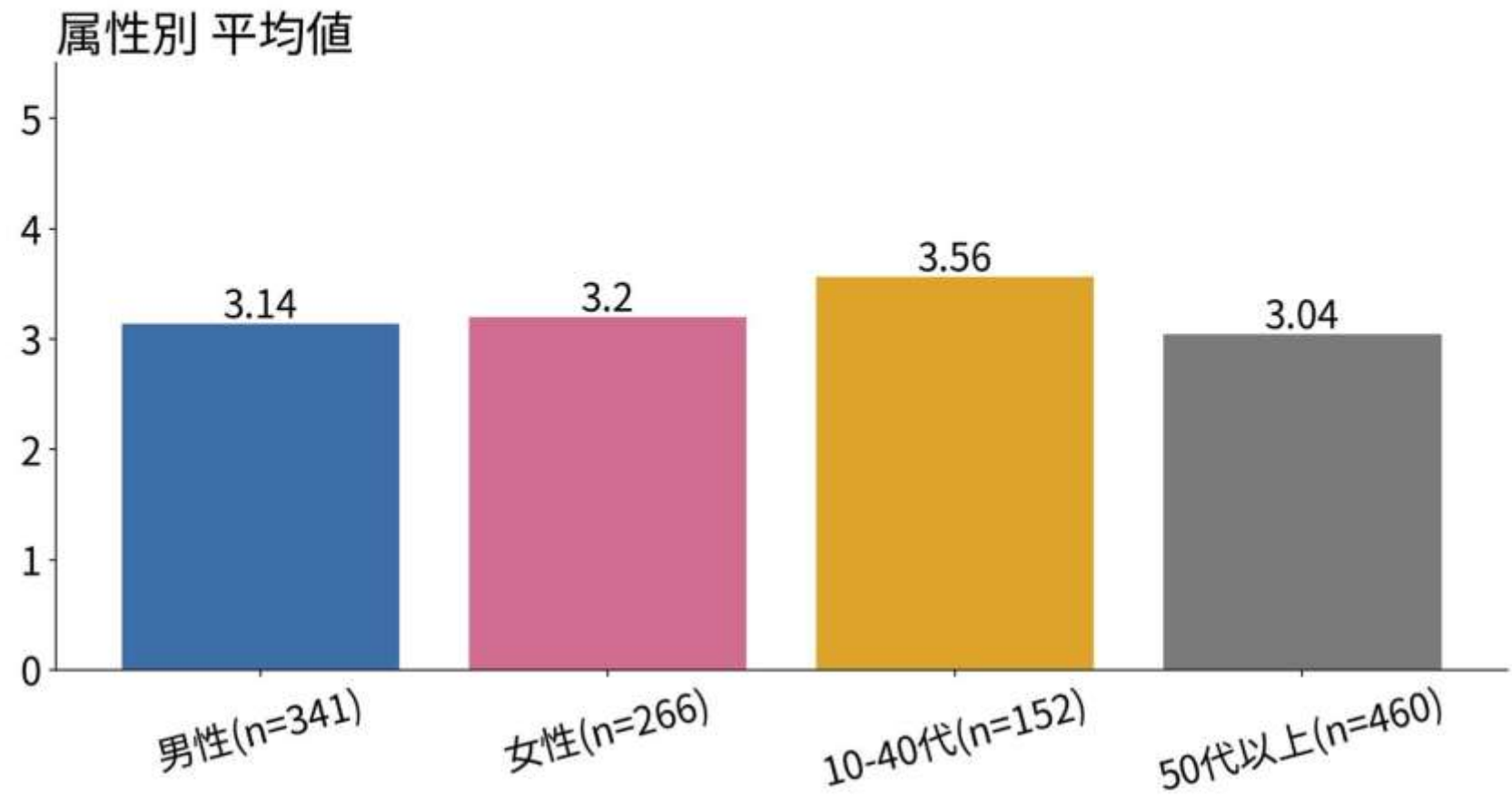
Q9. 今後イベントに参加したいか（5=とても参加したい）



Q9. 今後イベントに参加したいか【属性別平均】

客として参加する意向（1～5の5段階評価）

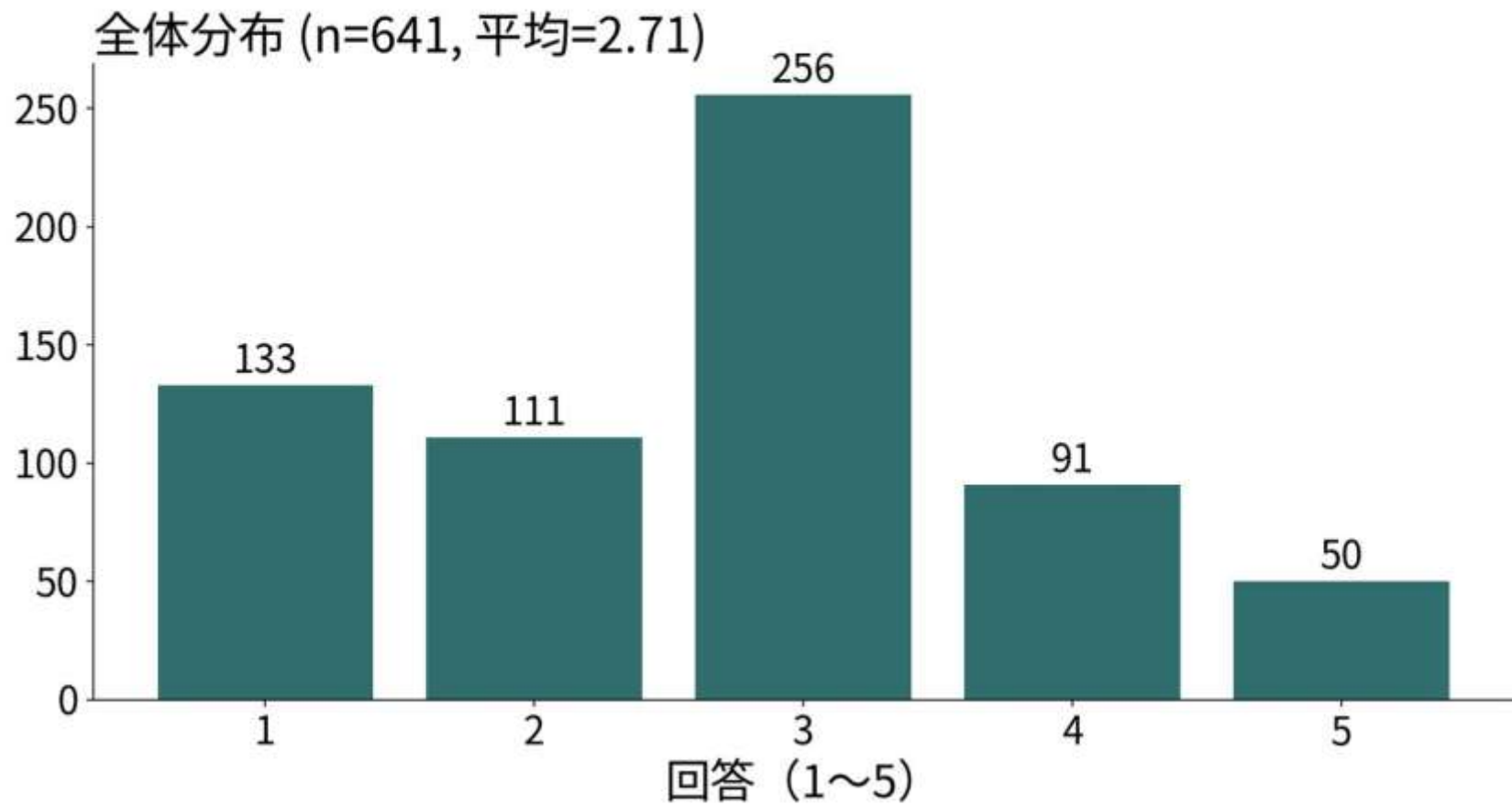
Q9. 今後イベントに参加したいか（5=とても参加したい）



Q12. まちづくりへの参加意欲【全体分布】

1～5の5段階評価

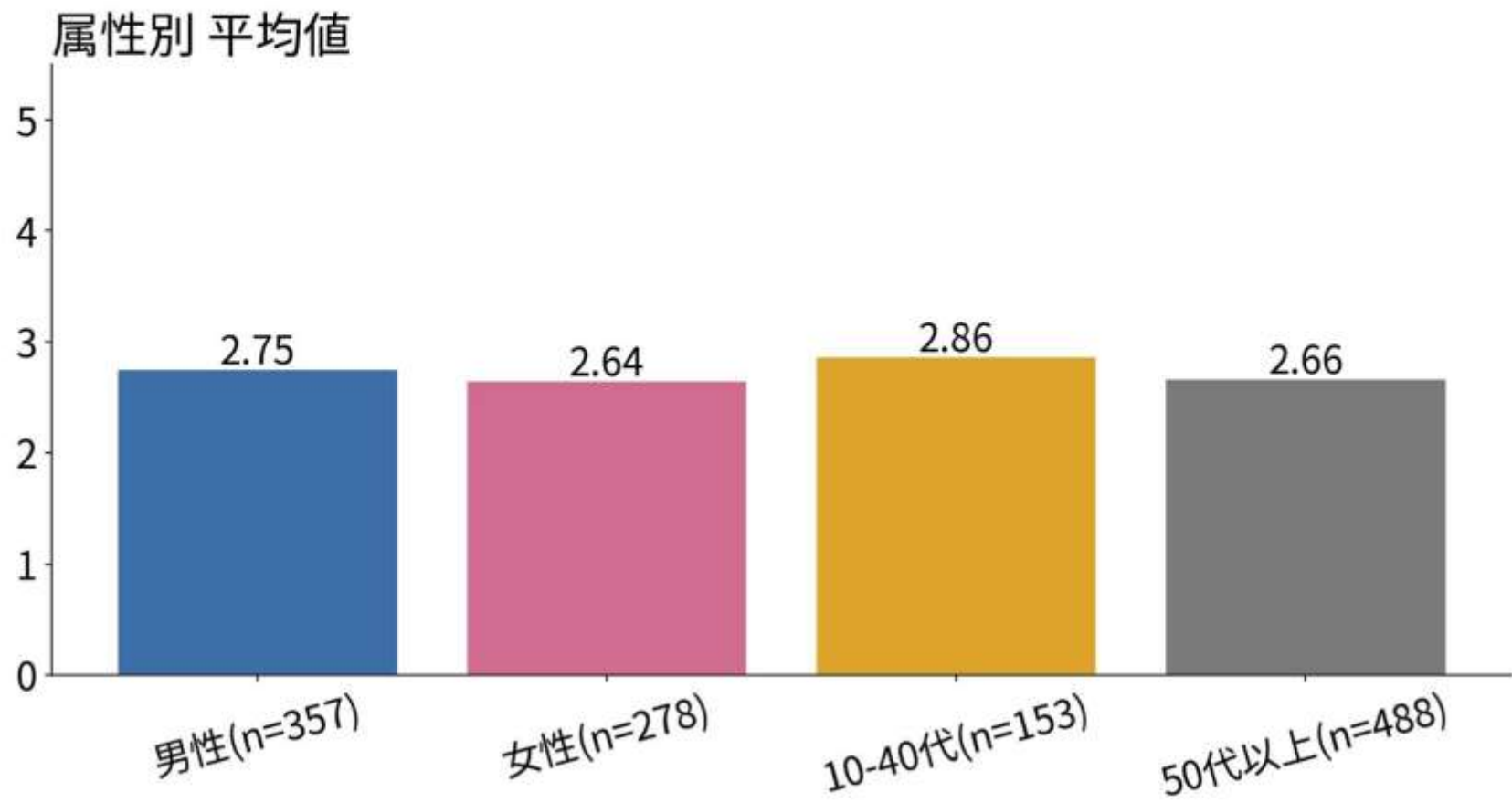
Q12. まちづくりへの参加意欲（5=とても積極的）



Q12. まちづくりへの参加意欲【属性別平均】

1～5の5段階評価

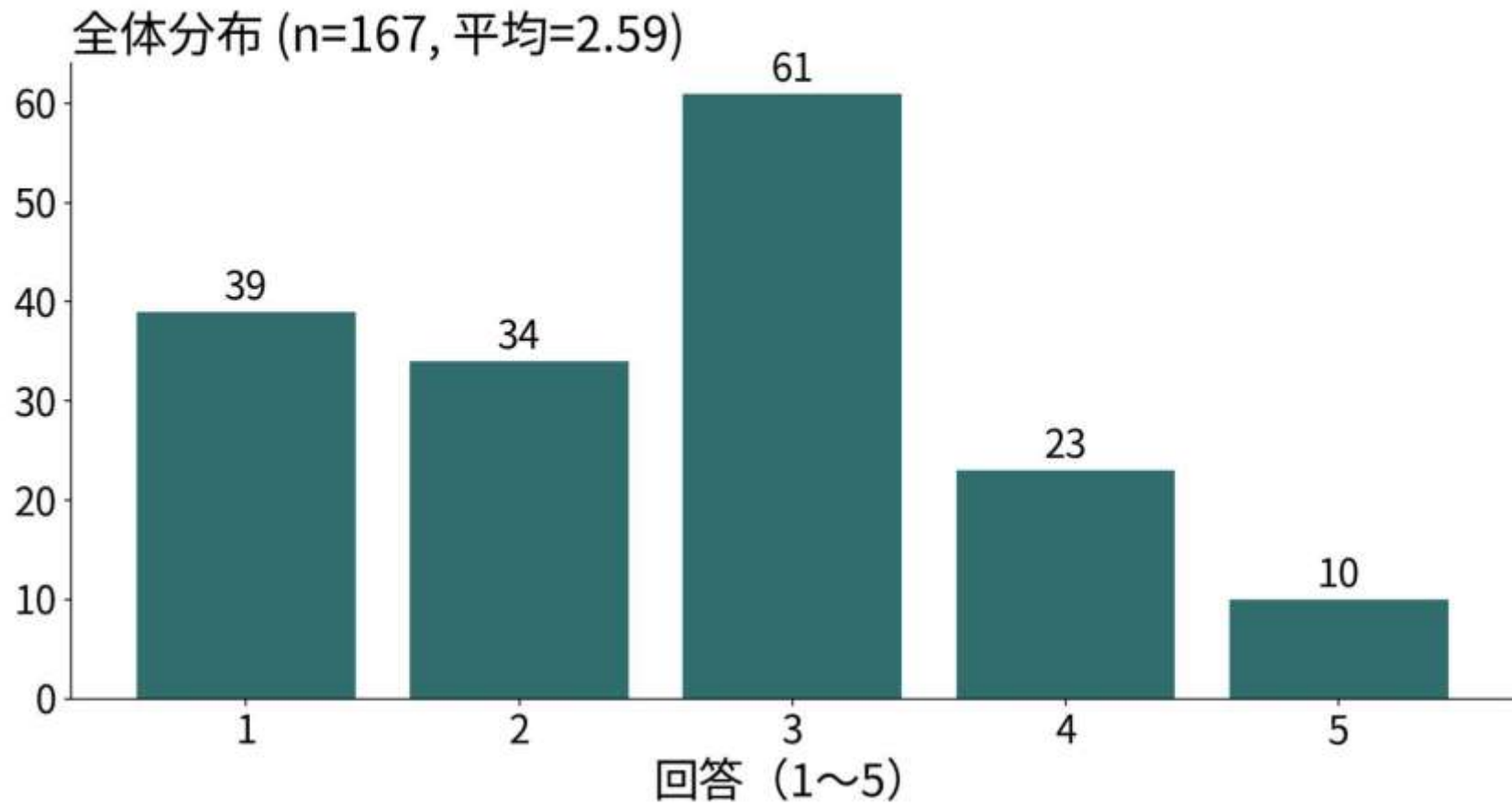
Q12. まちづくりへの参加意欲（5=とても積極的）



Q15. 若者会議への参加意向【全体分布】

10～40代のみ回答（該当者以外は集計対象外）

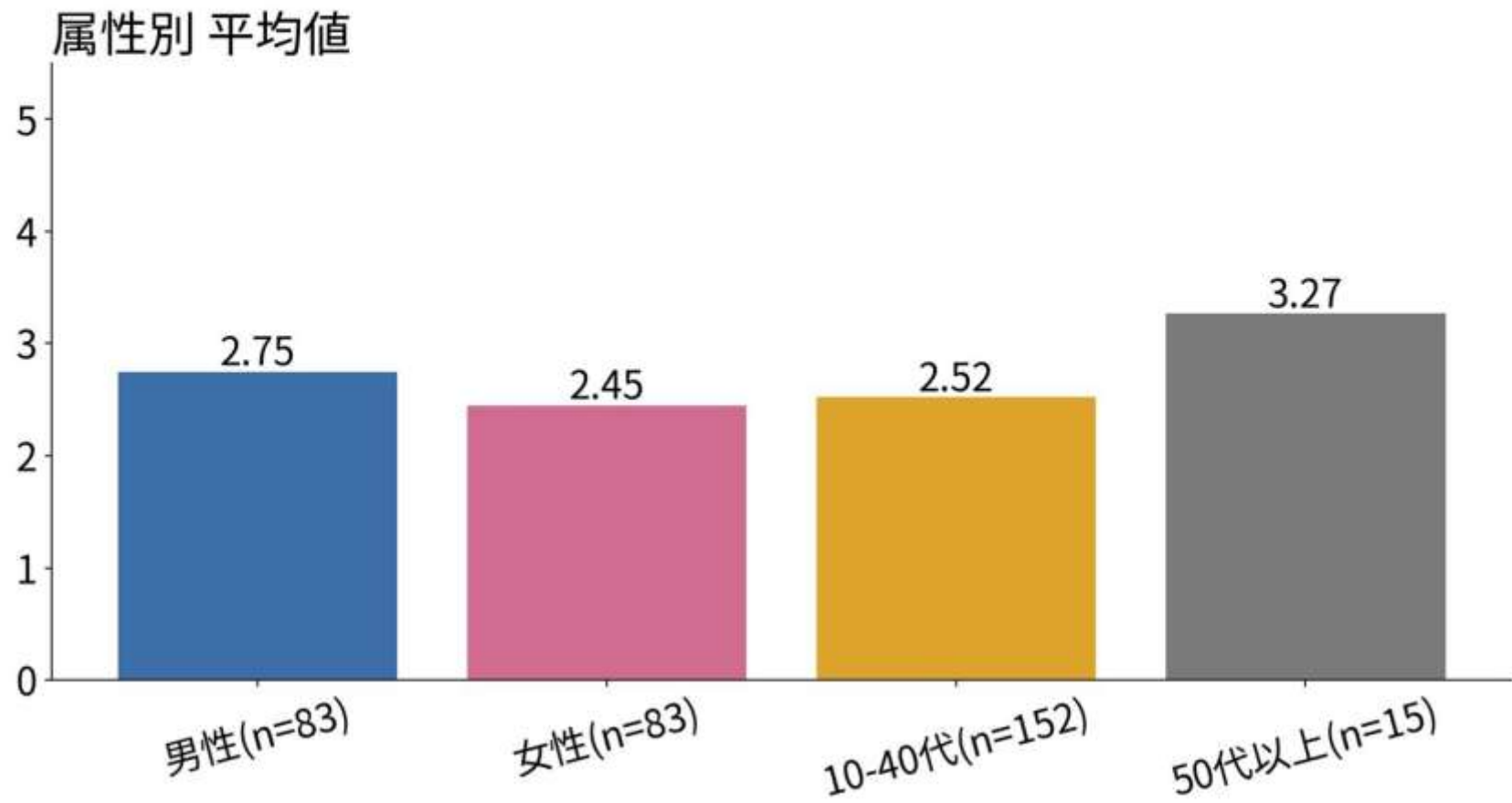
Q15. 若者会議への参加意向（10-40代のみ回答, 5=参加したい）



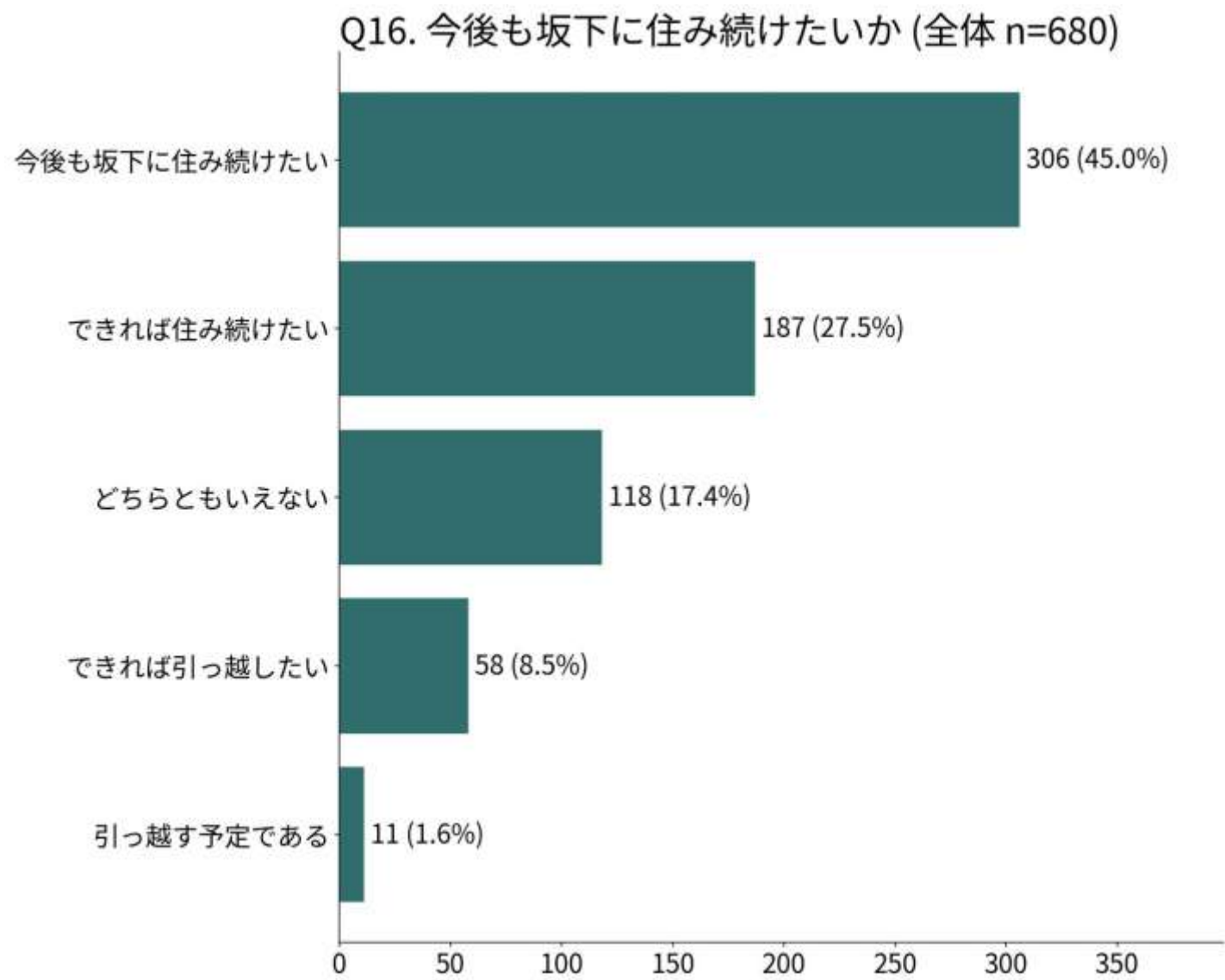
Q15. 若者会議への参加意向【属性別平均】

10～40代のみ回答（該当者以外は集計対象外）

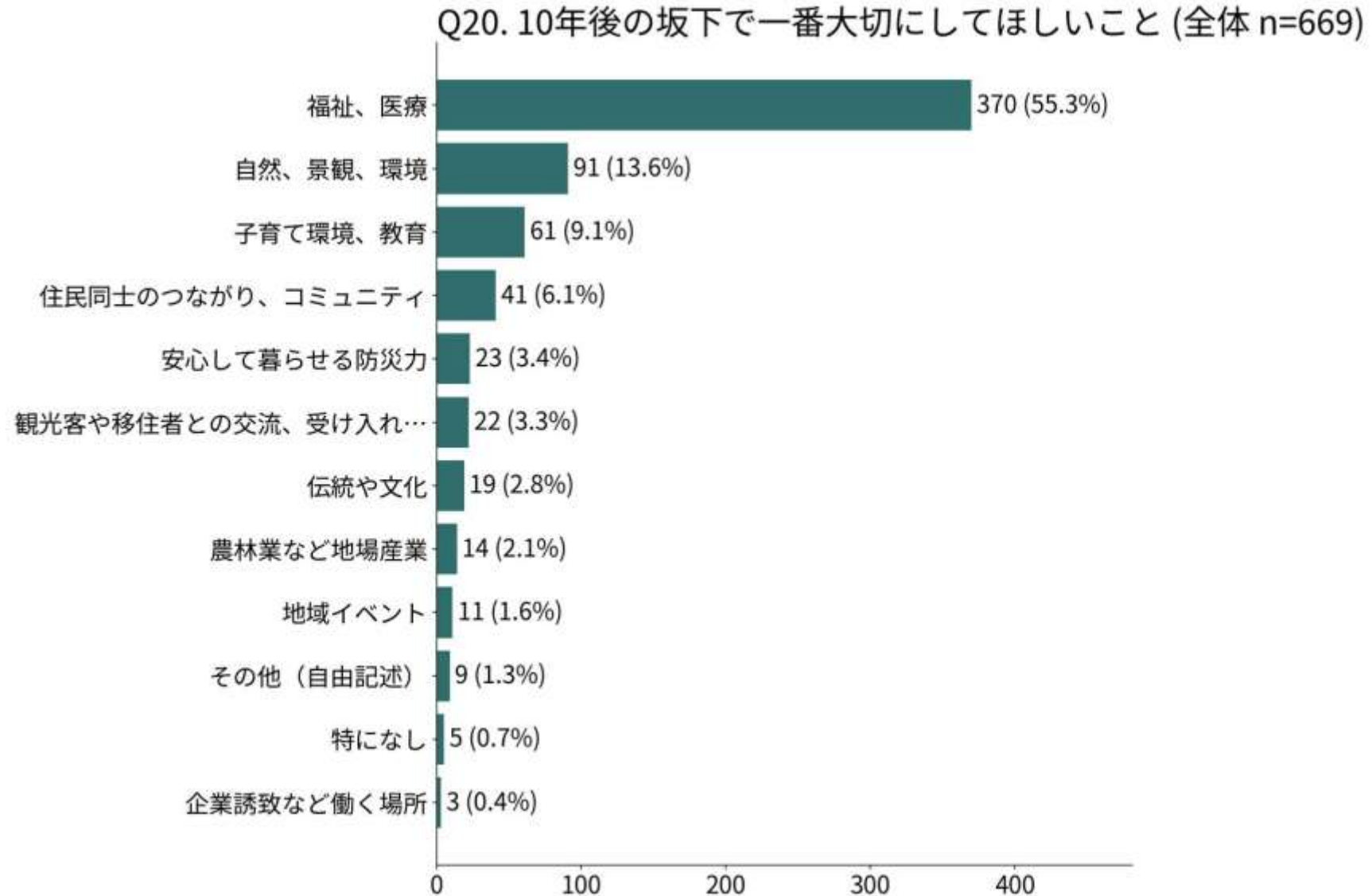
Q15. 若者会議への参加意向（10-40代のみ回答, 5=参加したい）



Q16. 今後も坂下に住み続けたいか



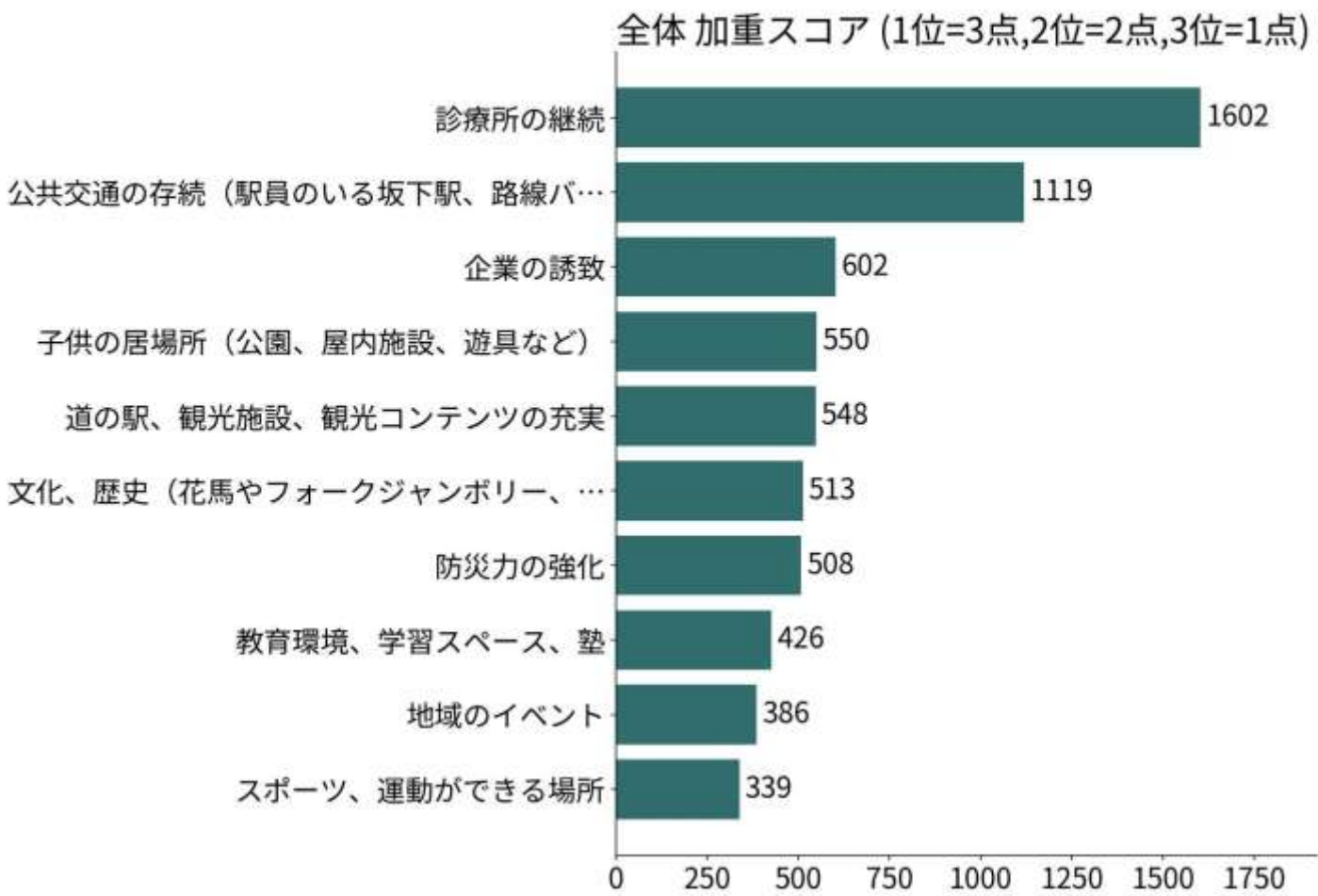
Q20. 10年後の坂下で一番大切にしてほしいこと



Q18. これからの坂下で重視すべきもの【全体】

1位=3点、2位=2点、3位=1点で加重集計

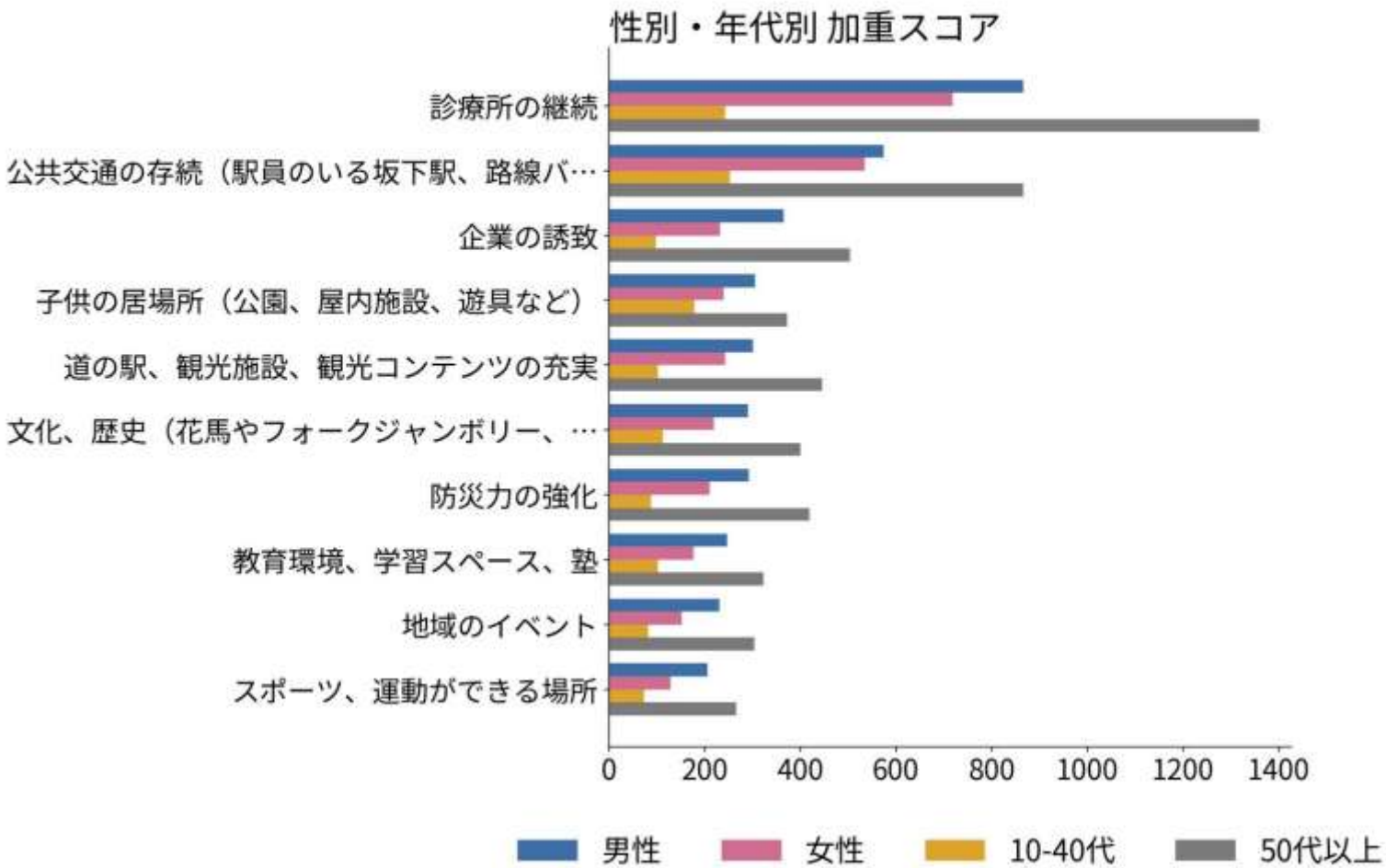
Q18. これからの坂下で重視すべきもの（上位3つ・加重スコア）



Q18. これからの坂下で重視すべきもの【性別・年代別】

1位=3点、2位=2点、3位=1点で加重集計

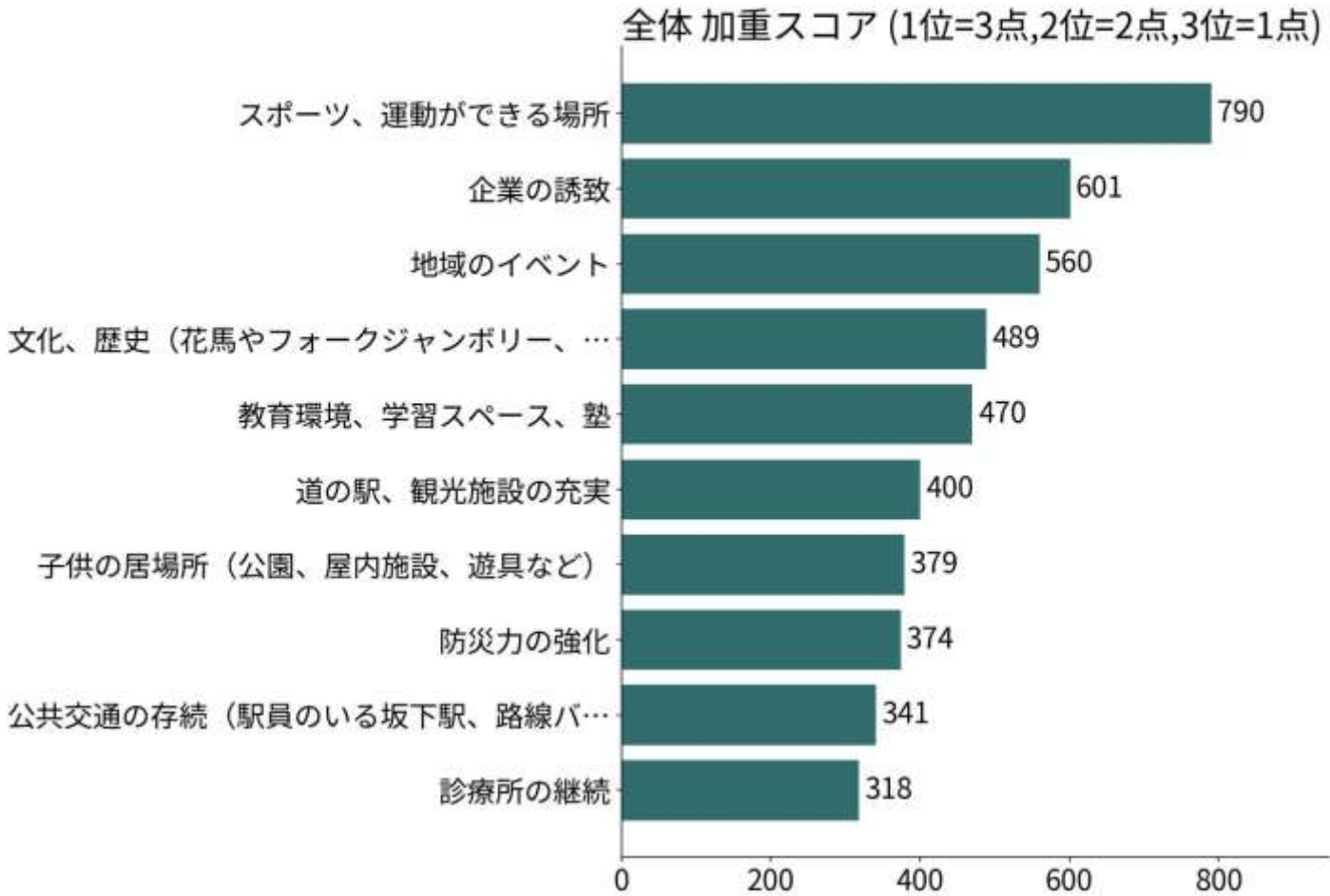
Q18. これからの坂下で重視すべきもの（上位3つ・加重スコア）



Q19. これからの坂下で優先順位が低いもの【全体】

1位=3点、2位=2点、3位=1点で加重集計

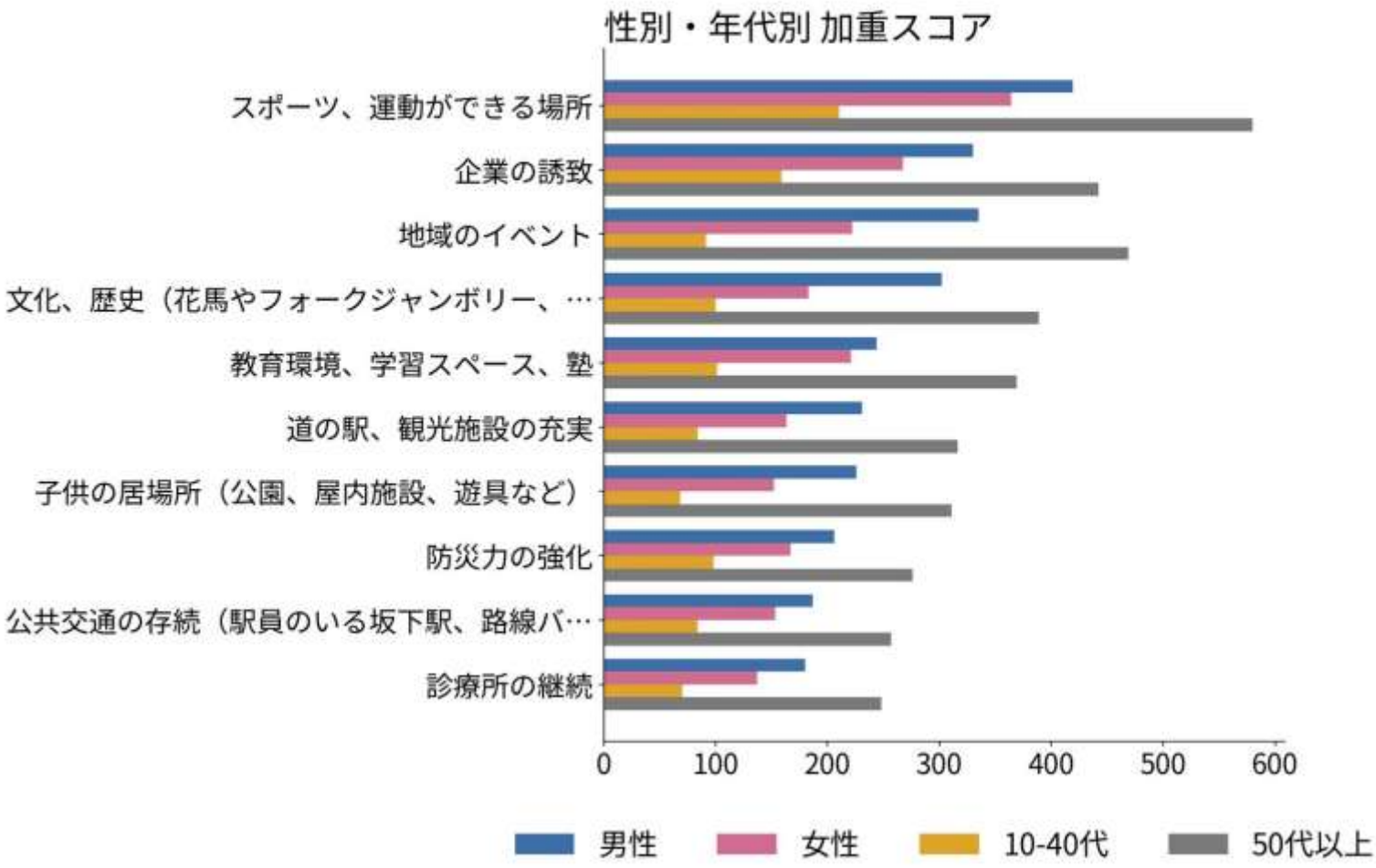
Q19. 優先順位が低いもの（下位3つ・加重スコア）



Q19. これからの坂下で優先順位が低いもの【性別・年代別】

1位=3点、2位=2点、3位=1点で加重集計

Q19. 優先順位が低いもの（下位3つ・加重スコア）



誤差率（標本誤差）について

標本調査には必ず「誤差」が生じます。今回の調査は坂下地区の母数を3,506人とし、そこから687件の回答を得た標本調査です。

誤差率（標本誤差）とは

母集団（3,506人）全員ではなく、その一部（687件）だけを調査しているため、集計結果と「本当の値（全員に聞いた場合の値）」との間には統計的なズレが生じます。このズレの範囲を数値化したものが誤差率（標本誤差、95%信頼区間）です。

例えば「賛成60%、誤差率±3.9%」の場合、本当の値は95%の確率で56.1%～63.9%の範囲に収まると解釈します。

計算方法（有限母集団補正あり）

誤差率 = $1.96 \times \sqrt{p(1-p)/n} \times \sqrt{(N-n)/(N-1)}$ ※ $p=0.5$ （最も誤差が大きくなる想定）, n =回答数, N =母集団数

母数3,506人に対し回答数687件は抽出率19.6%と比較的高いため、有限母集団補正（後半の $\sqrt{(N-n)/(N-1)}$ 部分）を加味することで、より正確な誤差率を算出しています。

区分別の誤差率（標本誤差）一覧

95%信頼区間・有限母集団補正あり。参考として補正なしの単純近似式の値も併記

区分	回答数 n	母集団推定数 N	抽出率	標本誤差(95%,有限母集団)	参考:単純近似式
全体	687件	3506人	19.6%	±3.4%	±3.7%
男性	375件	1696人	22.1%	±4.5%	±5.1%
女性	305件	1810人	16.9%	±5.1%	±5.6%
若年層(10-40代)	154件	1108人	13.9%	±7.3%	±7.9%
それ以外(50代以上)	533件	2398人	22.2%	±3.7%	±4.2%

誤差率の見方（一般的な基準）

誤差率（標本誤差）は「小さいほど信頼度が高い」指標ですが、目安となる一般的な区分は以下の通りです。世論調査・市場調査で広く使われる目安であり、厳密な統計的基準ではない点にご留意ください。

- ±3%程度以下 ：非常に高精度（全国世論調査などで使われる水準）
- ±3～5% ：高い信頼度（一般的な世論調査で十分実用に耐える水準）
- ±5～10% ：中程度の信頼度（大きな傾向の把握には十分だが、僅差の比較は慎重に）
- ±10%超 ：誤差が大きく、あくまで参考値・傾向の目安として扱うべき水準

回答数が少ない区分（年代別・男女別など）ほど誤差率は大きくなる傾向があります。全体の結果と部分集計（クロス集計）の結果を同列に扱わないよう注意が必要です。

全体・世代別・男女別の信頼度

全体（n=687、誤差率±3.4%）

「±3～5%」の範囲に入り、高い信頼度と言えます。全体の傾向（好意度や優先順位の順位など）は安心して読み取ることができます。

男性（n=375、誤差率±4.5%）／女性（n=305、誤差率±5.1%）

いずれも「±5～10%」の範囲に入り、中程度の信頼度です。大きな傾向差（例：10ポイント以上の差）を語る分には十分ですが、数ポイント程度の僅差を「男女で違いがある」と断定するのは慎重が必要です。

若年層(10-40代)（n=154、誤差率±7.3%）

「±5～10%」の範囲の中でも誤差率が大きめで、中程度の信頼度にとどまります。回答数自体が少ないため、若年層の数値は「傾向・参考値」として扱い、断定的な結論は避けるのが望ましいです。

それ以外(50代以上)（n=533、誤差率±3.7%）

「±3～5%」に近く、比較的高い信頼度です。回答数が多いため、全体の結果に近い精度で読み取ることができます。

まとめ：全体・50代以上は高い信頼度、男性・女性・若年層は中程度の信頼度と言えます。特に若年層のデータは、他区分に比べて解釈に幅を持たせて捉えることをおすすめします。

ウェイトバック法とは

回答者の性別・年代構成が、実際の坂下地区の人口構成と異なる場合、単純集計では実態とズレた結果になることがあります。

この調査では、男性（若年層10-40代の割合が少なめ）女性より若年層の回答が少ないなど、実際の人口構成と回答者構成にズレがあります。

ウェイトバック法（Weight Back）とは

回答者一人ひとりに「重み（ウェイト）」を掛けて集計し直すことで、回答者の性別・年代構成を実際の人口構成に合わせて補正する統計手法です。人口が多い割に回答が少なかった層は重みを大きく、回答が多かった層は重みを小さくします。

ウェイト値の算出式

ウェイト = 母集団における該当セルの構成比 ÷ 標本における該当セルの構成比

今回は、ご提供いただいた母集団人数（男性1,696人／女性1,810人、若年層10-40代1,108人／それ以外50代以上2,398人、母数計3,506人）を目標値とし、「性別」と「年代」の両方の構成比が一致するよう、ラウンド式（反復比例調整法／IPF）でウェイトを算出しました。

四則演算により、ウェイトバック後の集計値は「今の坂下地区の人口構成をそのまま反映した場合の結果」に近いものとなります。

ウェイトバック用データ：母集団構成とウェイト値

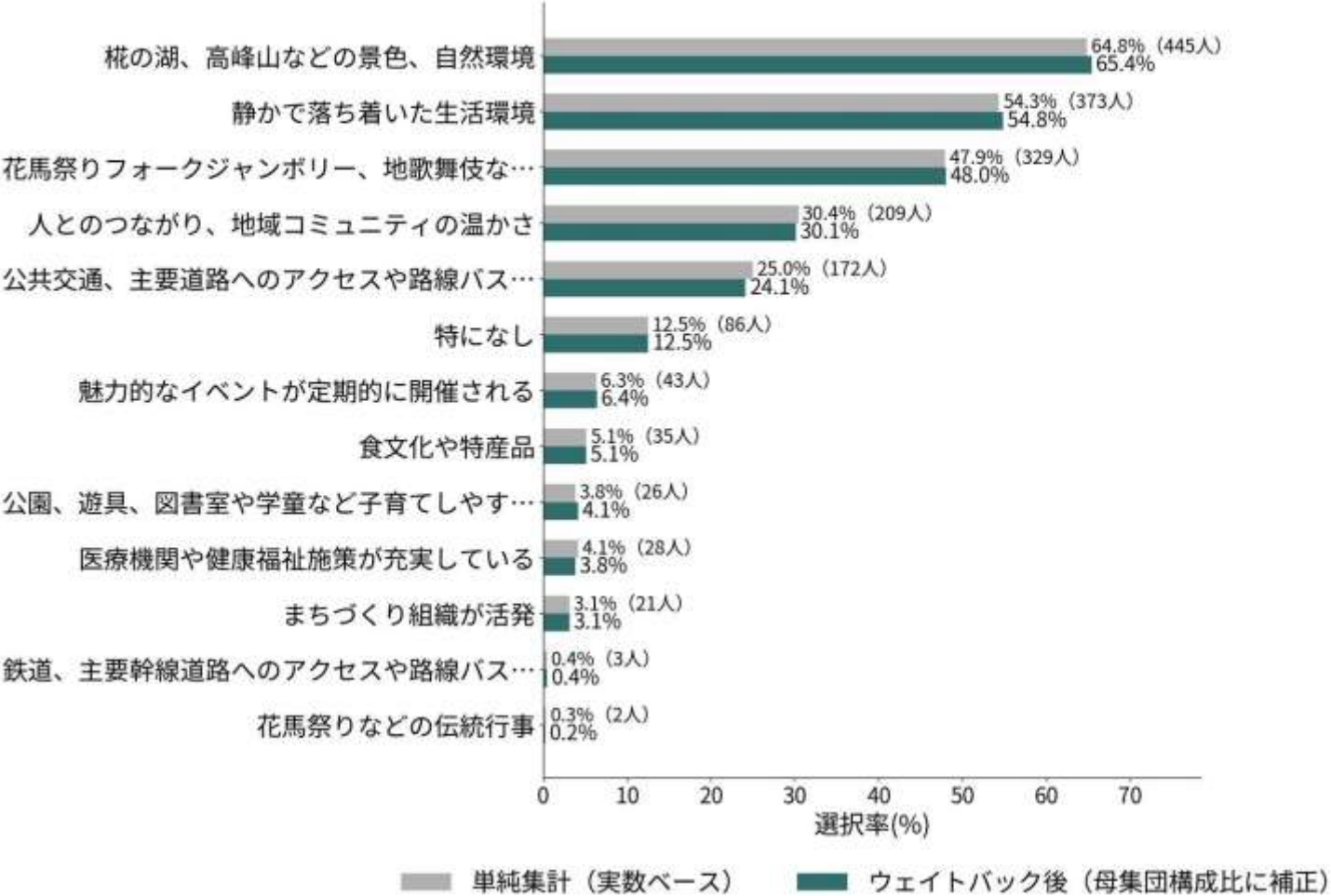
ご提供いただいた母集団人数（男性1,696人／女性1,810人、若年層1,108人／それ以外2,398人、母数3,506人）を目標値としてIPF法でウェイトを算出

セル(性別×年代)	回答数(実数)	平均ウェイト値
男性×若年層(10-40代)	72件	1.231
男性×それ以外(50代以上)	303件	0.793
女性×若年層(10-40代)	81件	1.558
女性×それ以外(50代以上)	224件	1.004

Q4. 坂下地区の良いところ【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

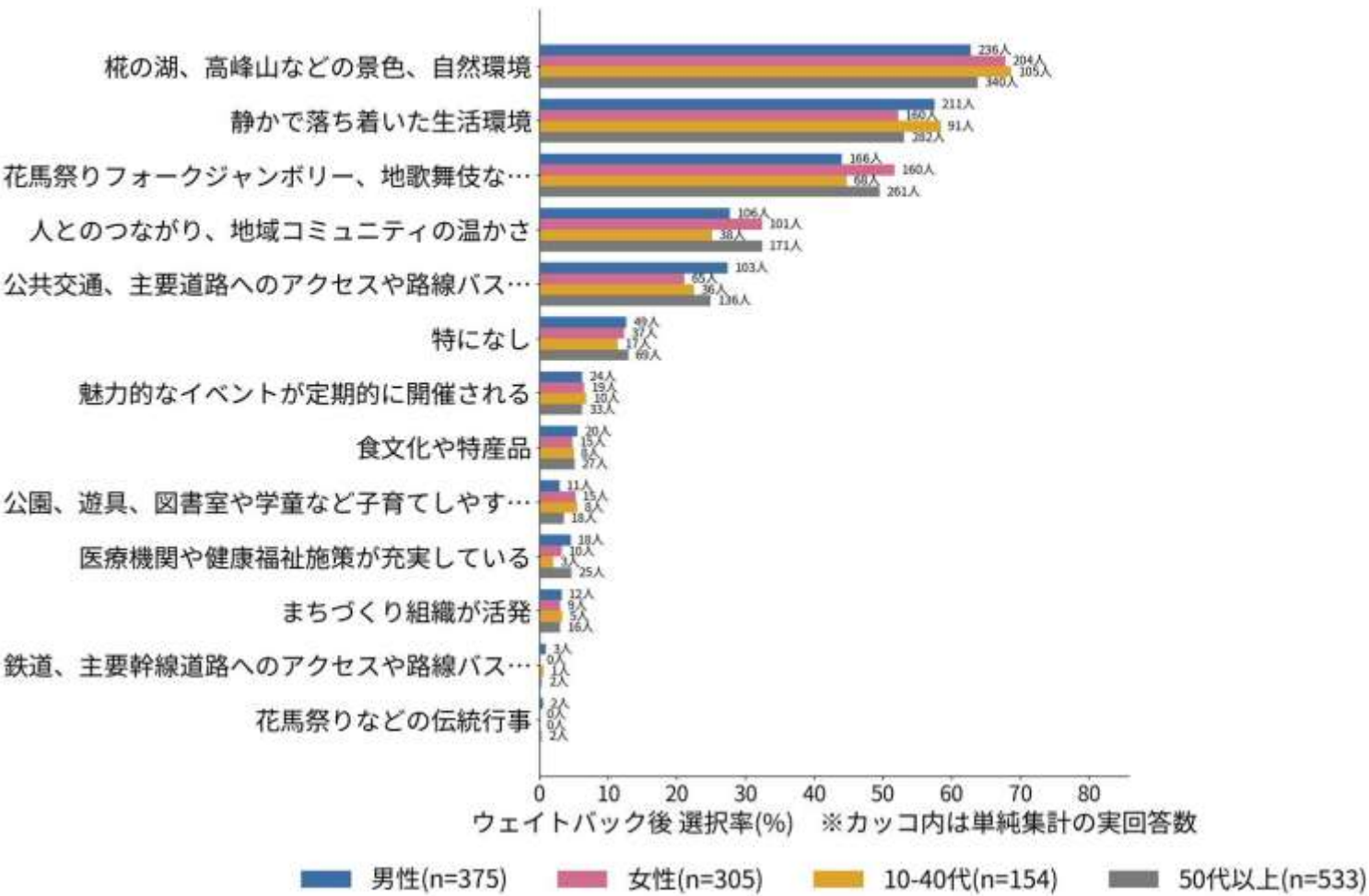
Q4. 坂下地区の良いところ（ウェイトバック前後比較）



Q4. 坂下地区の良いところ【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

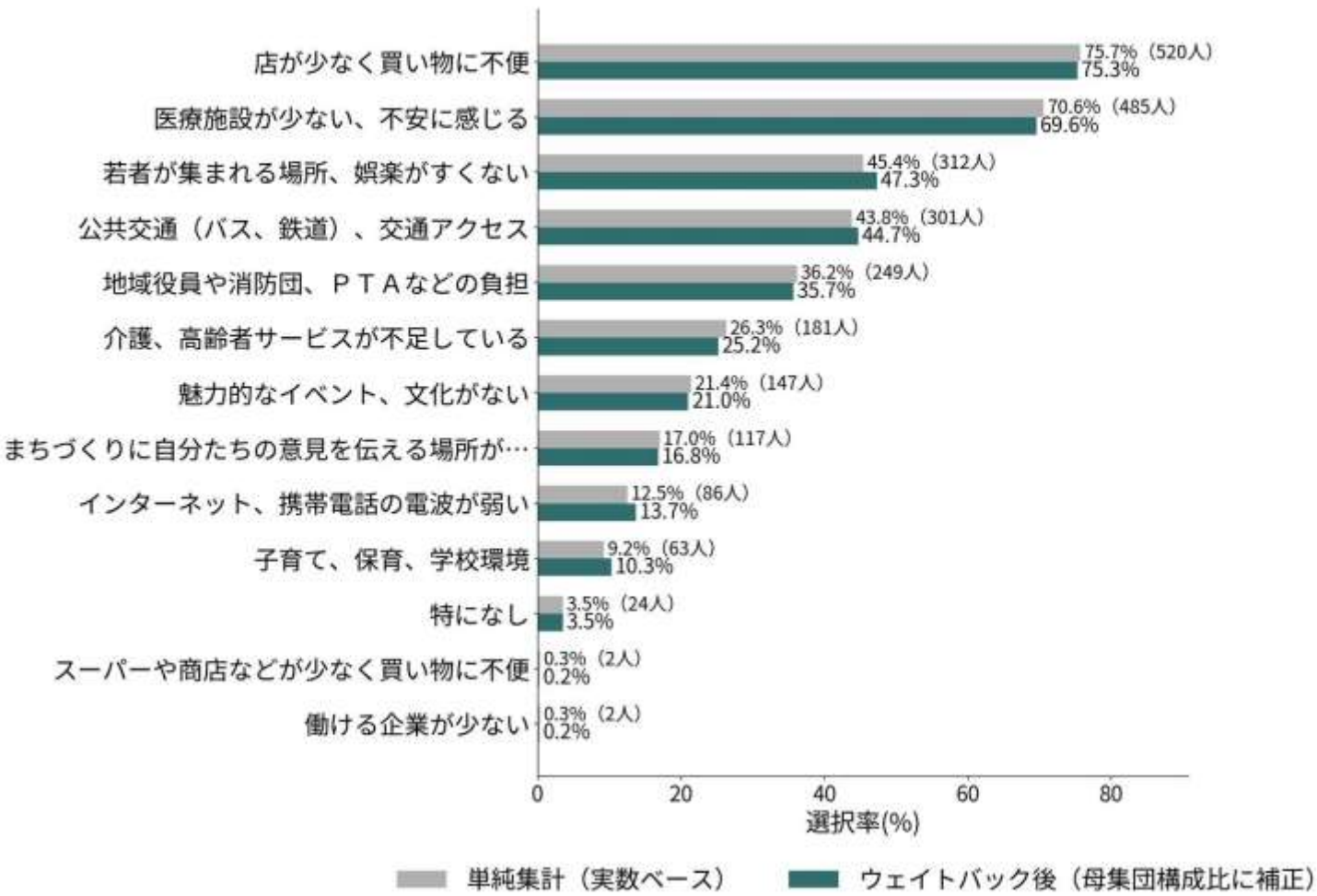
Q4. 坂下地区の良いところ（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q5. 不満な点・困っていること【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

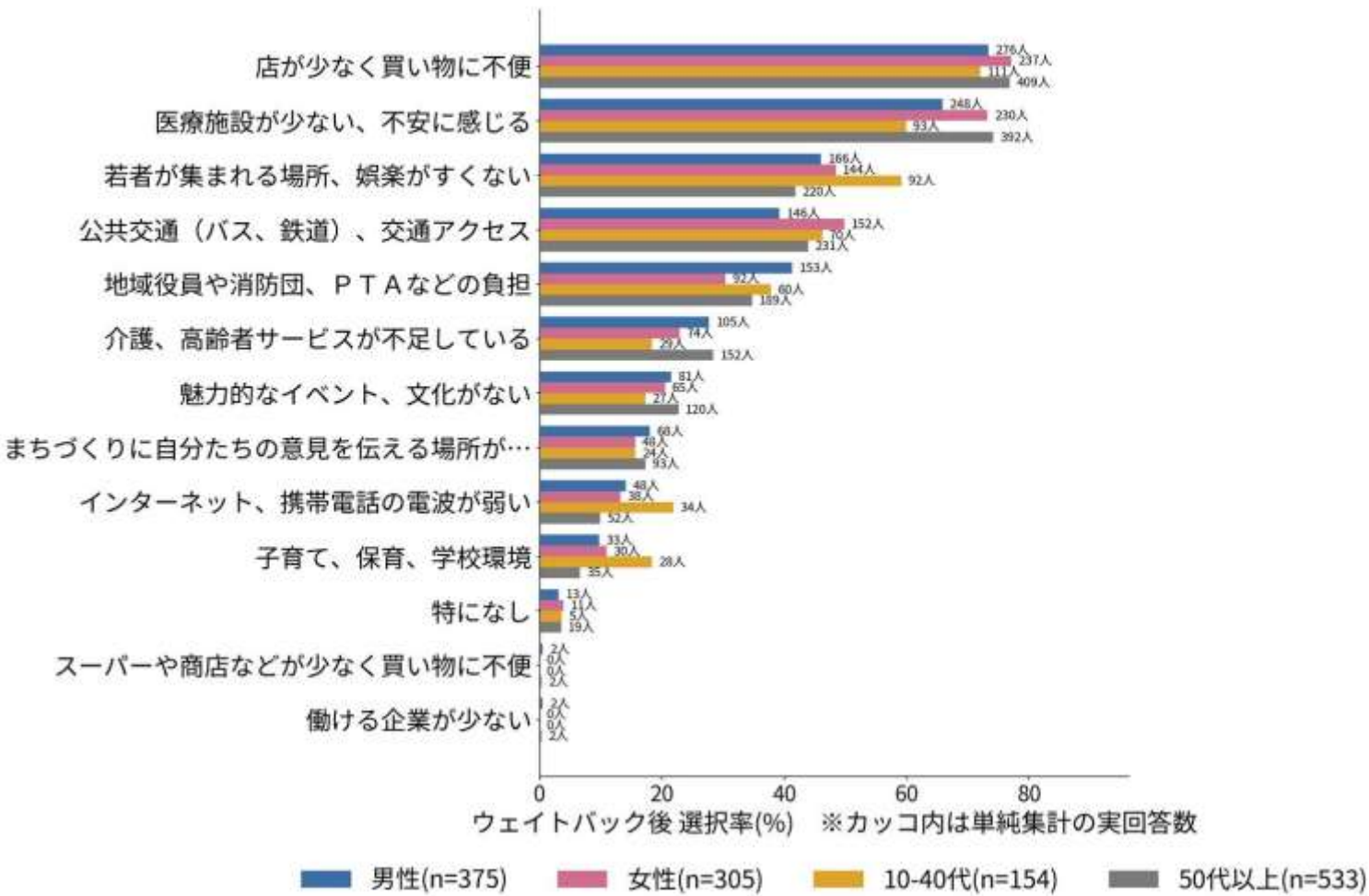
Q5. 不満な点・困っていること（ウェイトバック前後比較）



Q5. 不満な点・困っていること【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

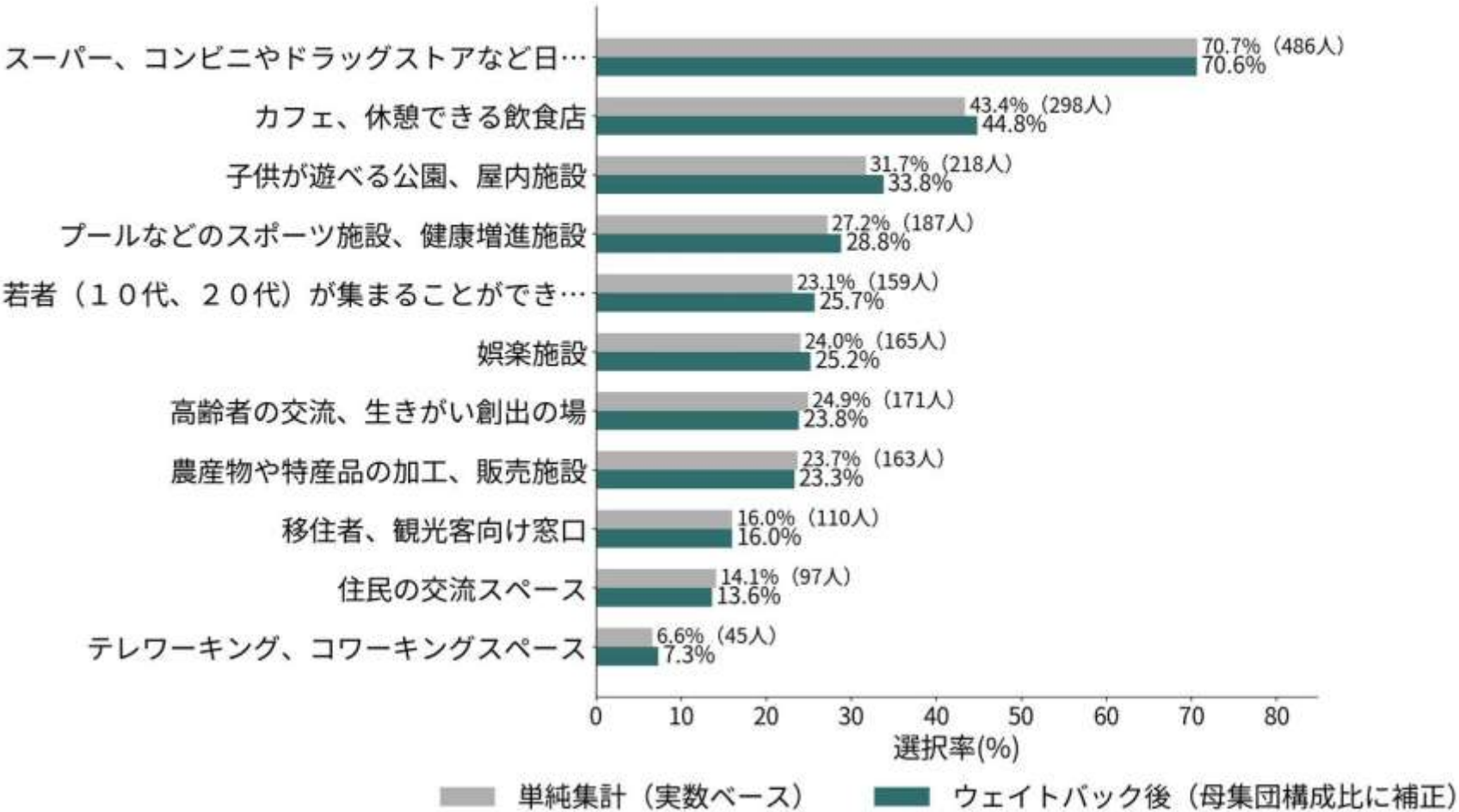
Q5. 不満な点・困っていること（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q6. あったらいいな施設・サービス【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

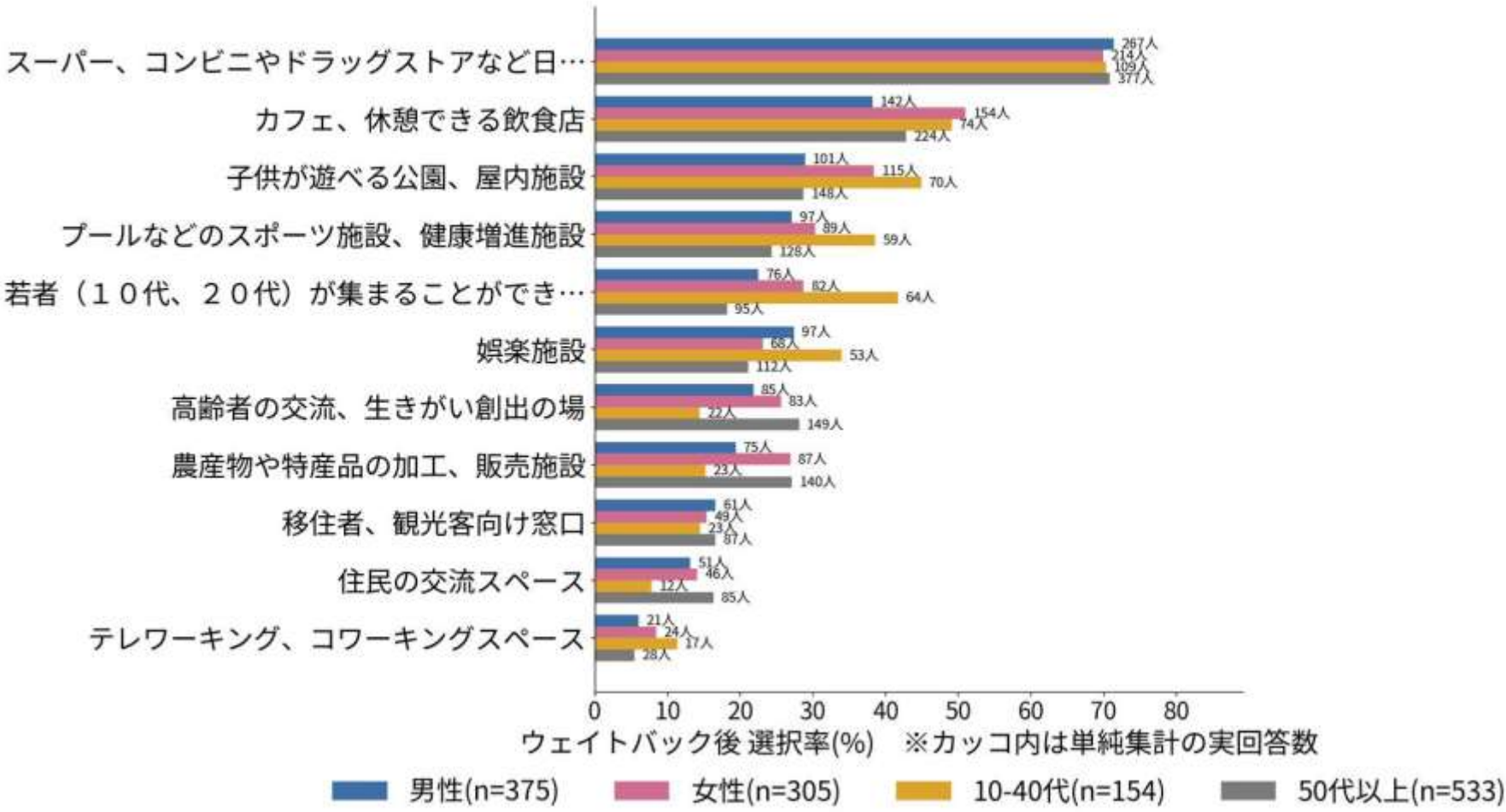
Q6. あったらいいな施設・サービス（ウェイトバック前後比較）



Q6. あったらいいな施設・サービス【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

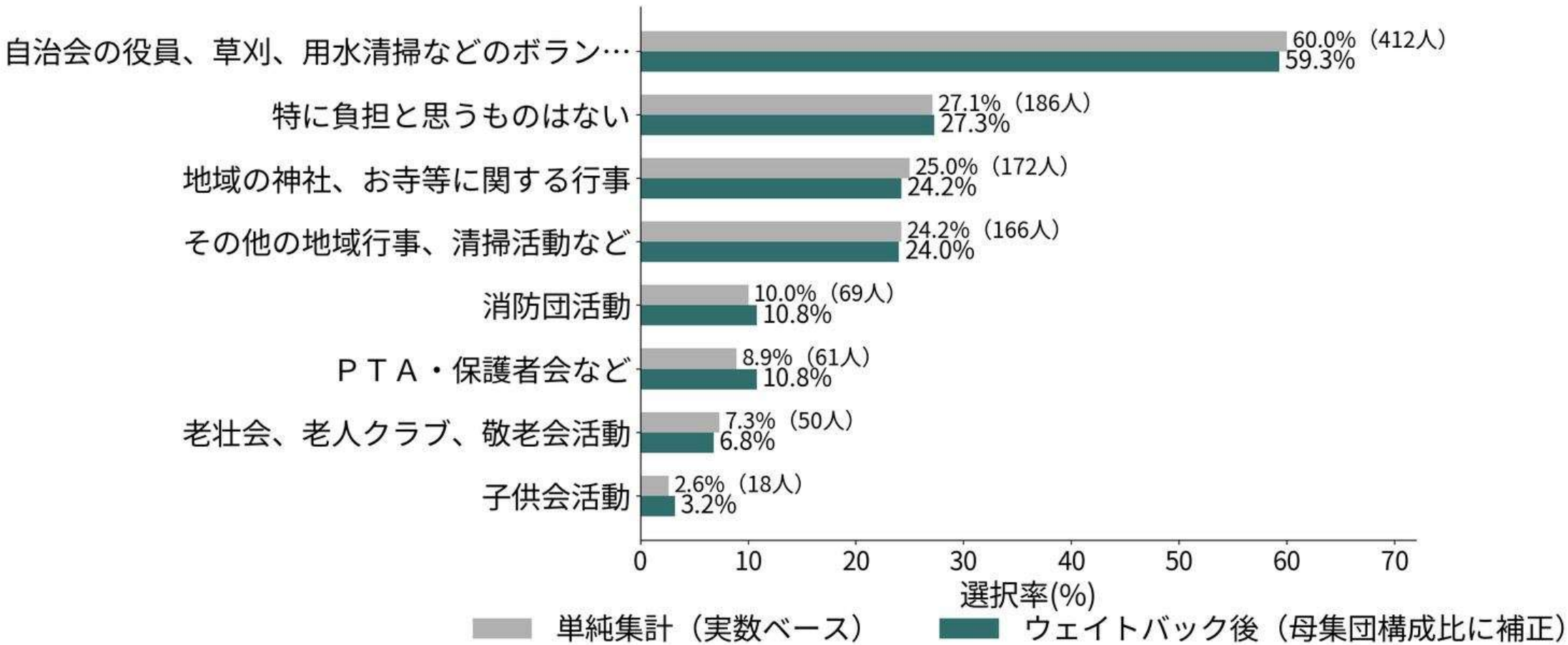
Q6. あったらいいな施設・サービス（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q7. 負担とを感じる地域活動【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

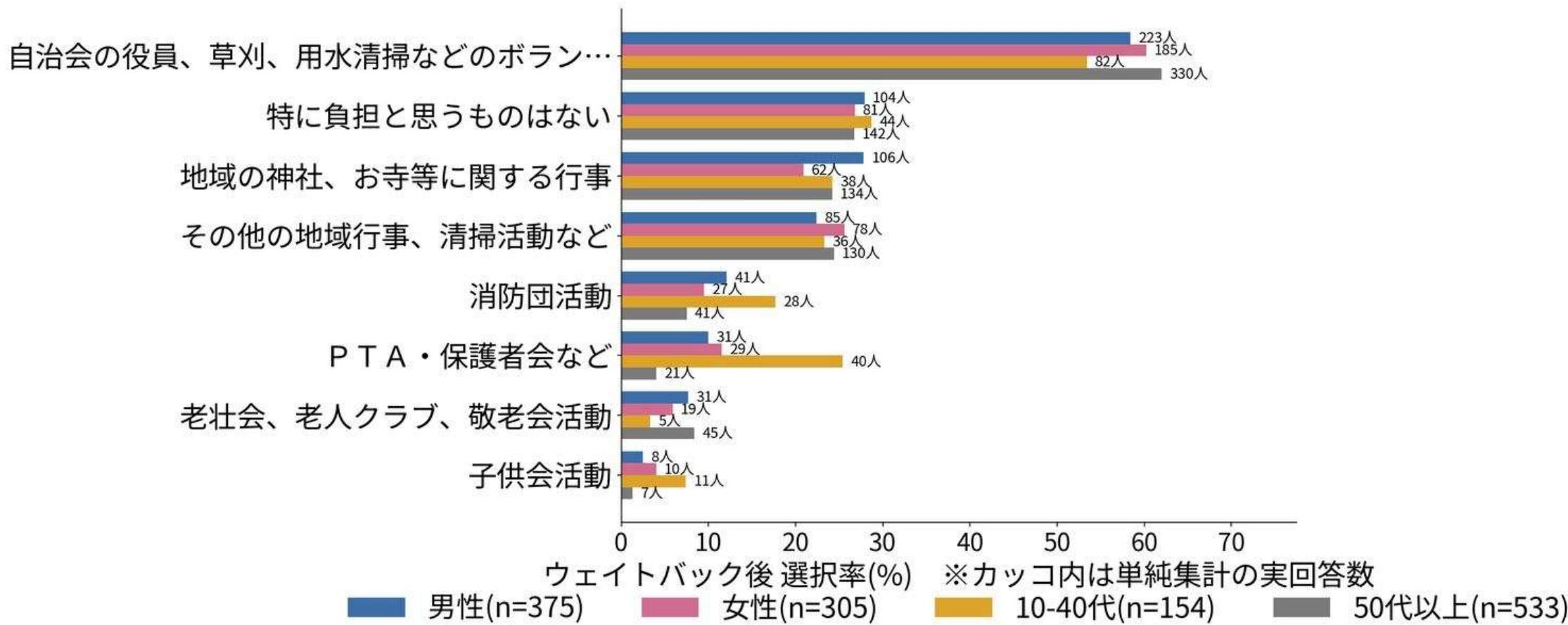
Q7. 負担とを感じる地域活動（ウェイトバック前後比較）



Q7. 負担とを感じる地域活動【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

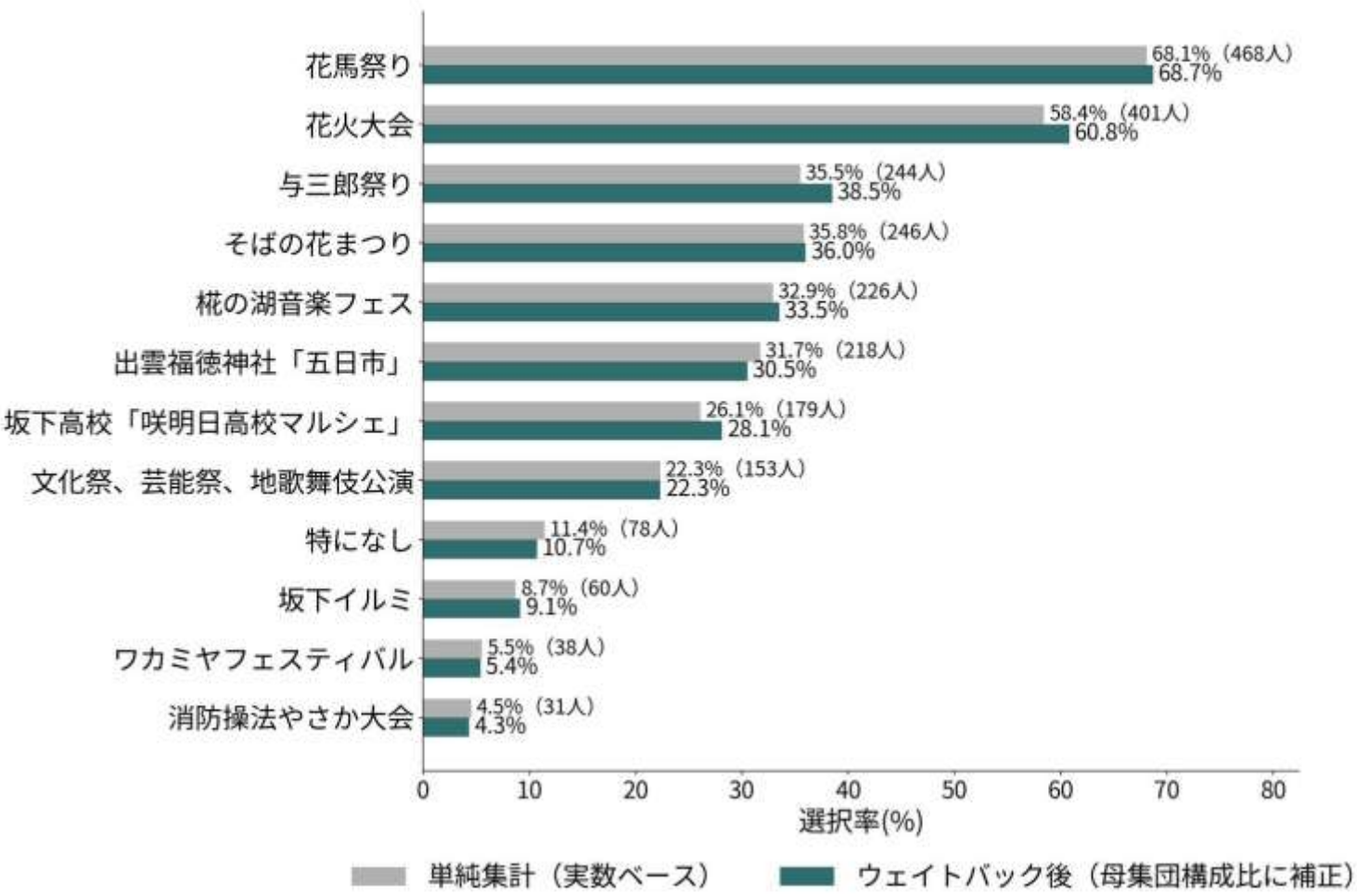
Q7. 負担とを感じる地域活動（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q8. 魅力的なイベント・行事【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

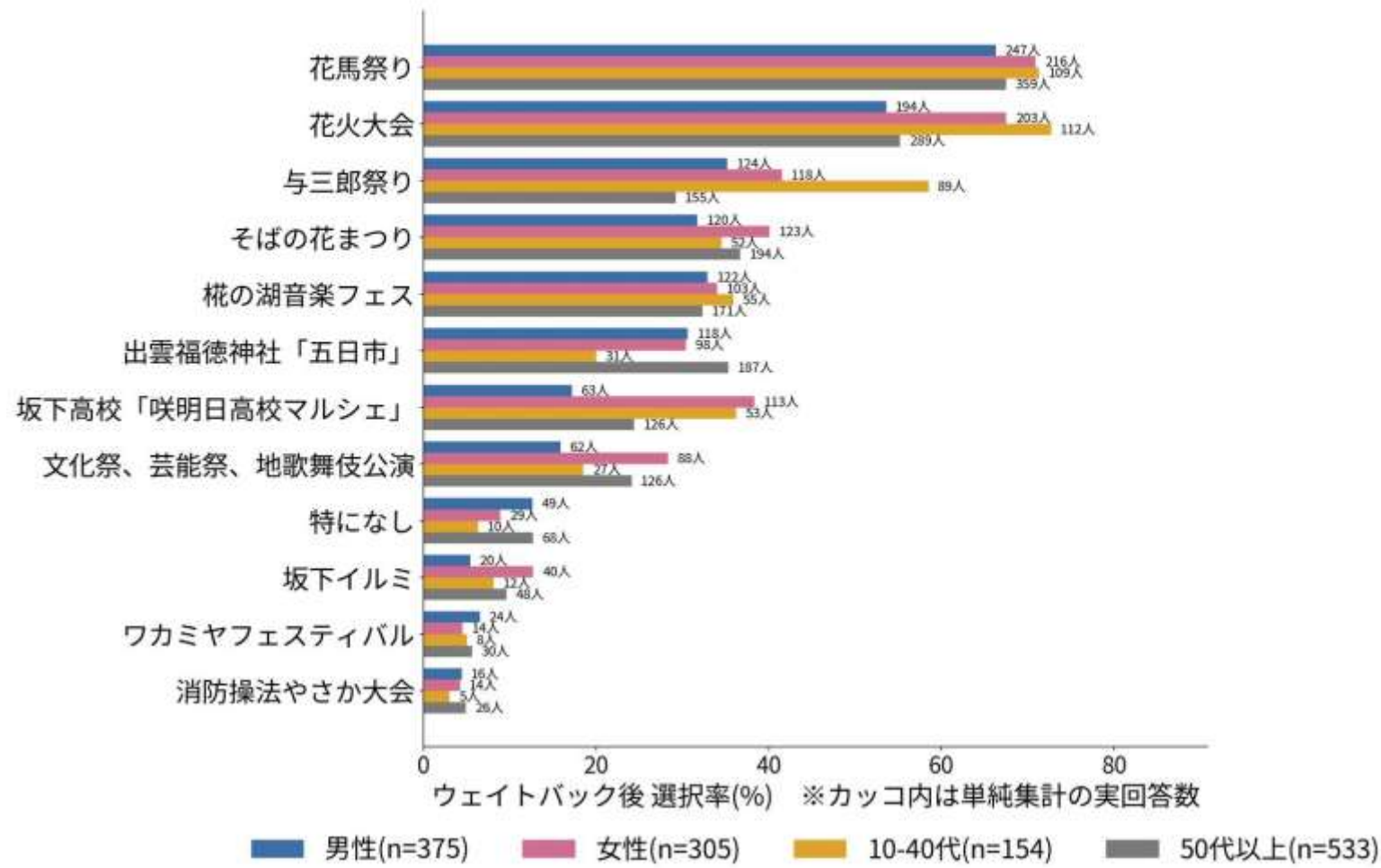
Q8. 魅力的なイベント・行事（ウェイトバック前後比較）



Q8. 魅力的なイベント・行事【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

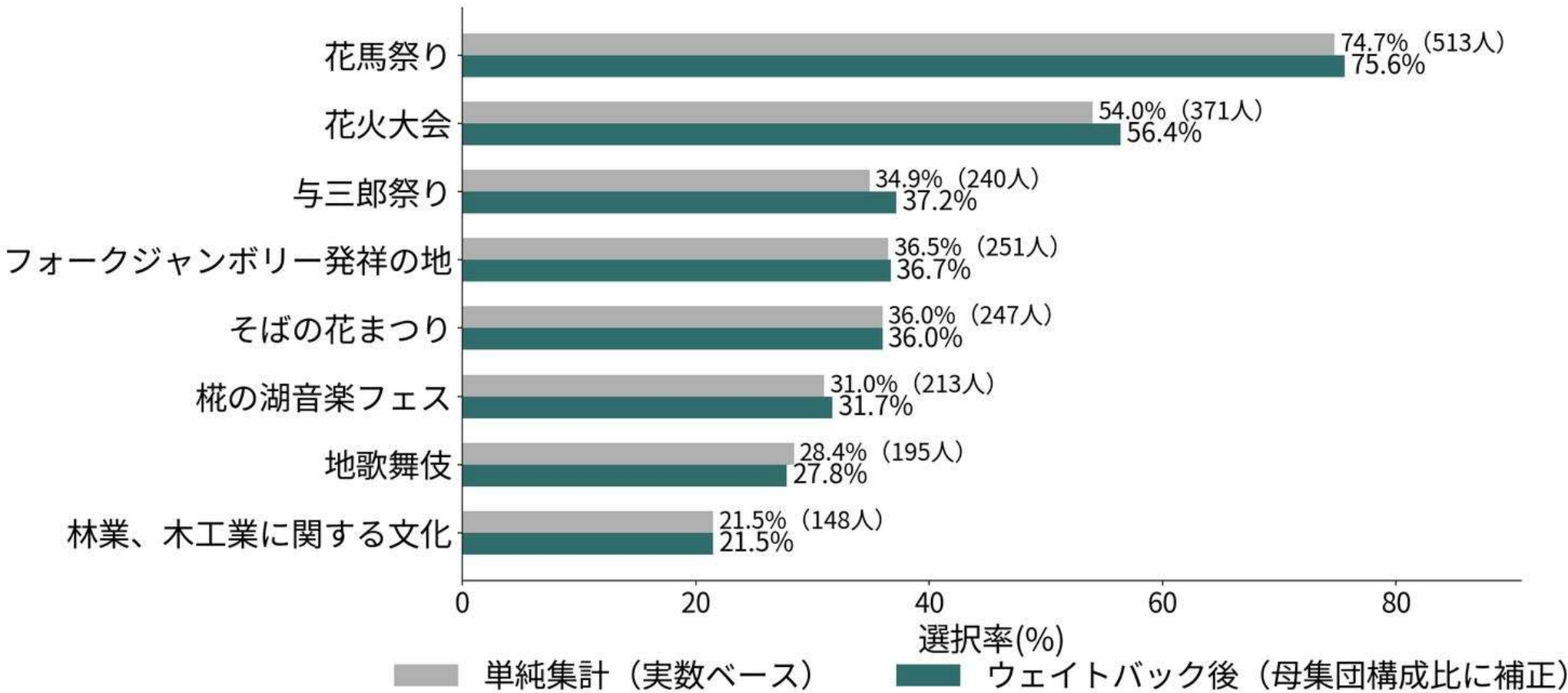
Q8. 魅力的なイベント・行事（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q10. 残したい文化・伝統・イベント【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

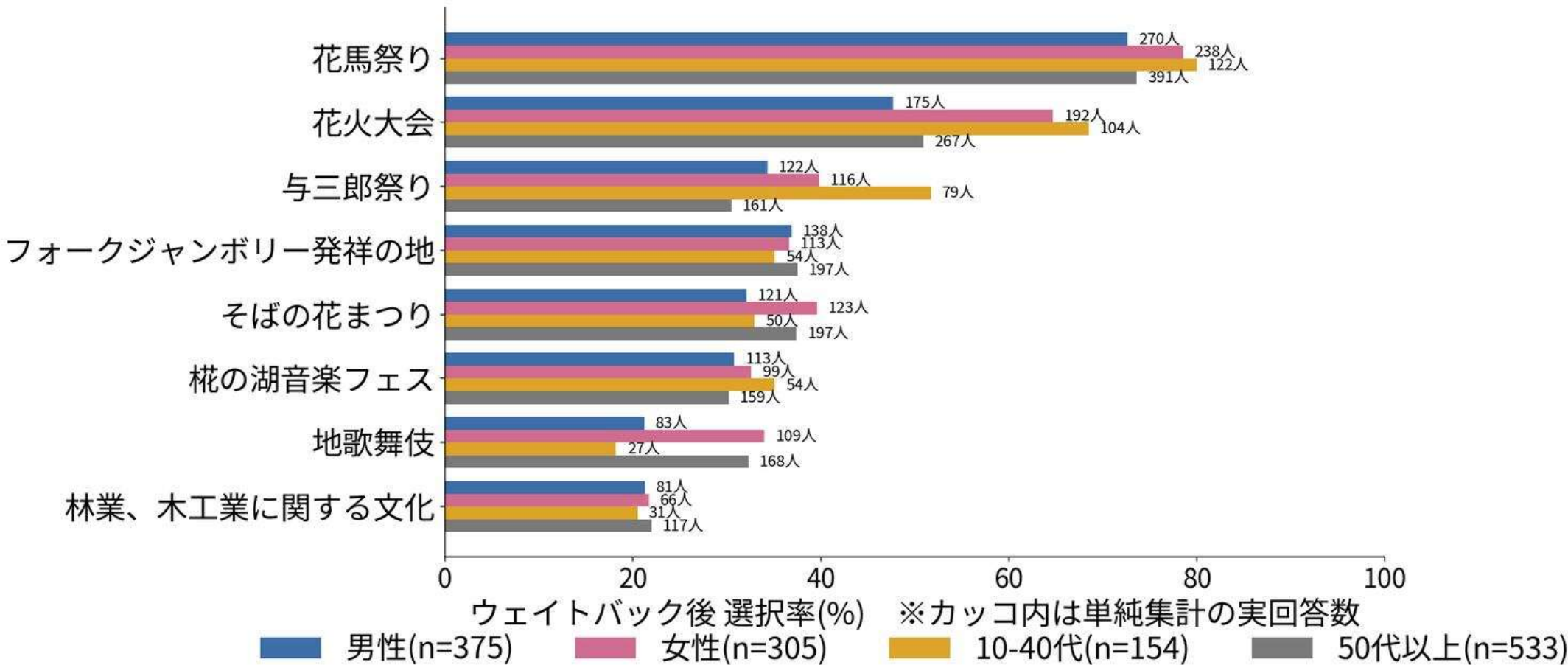
Q10. 残したい文化・伝統・イベント（ウェイトバック前後比較）



Q10. 残したい文化・伝統・イベント【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

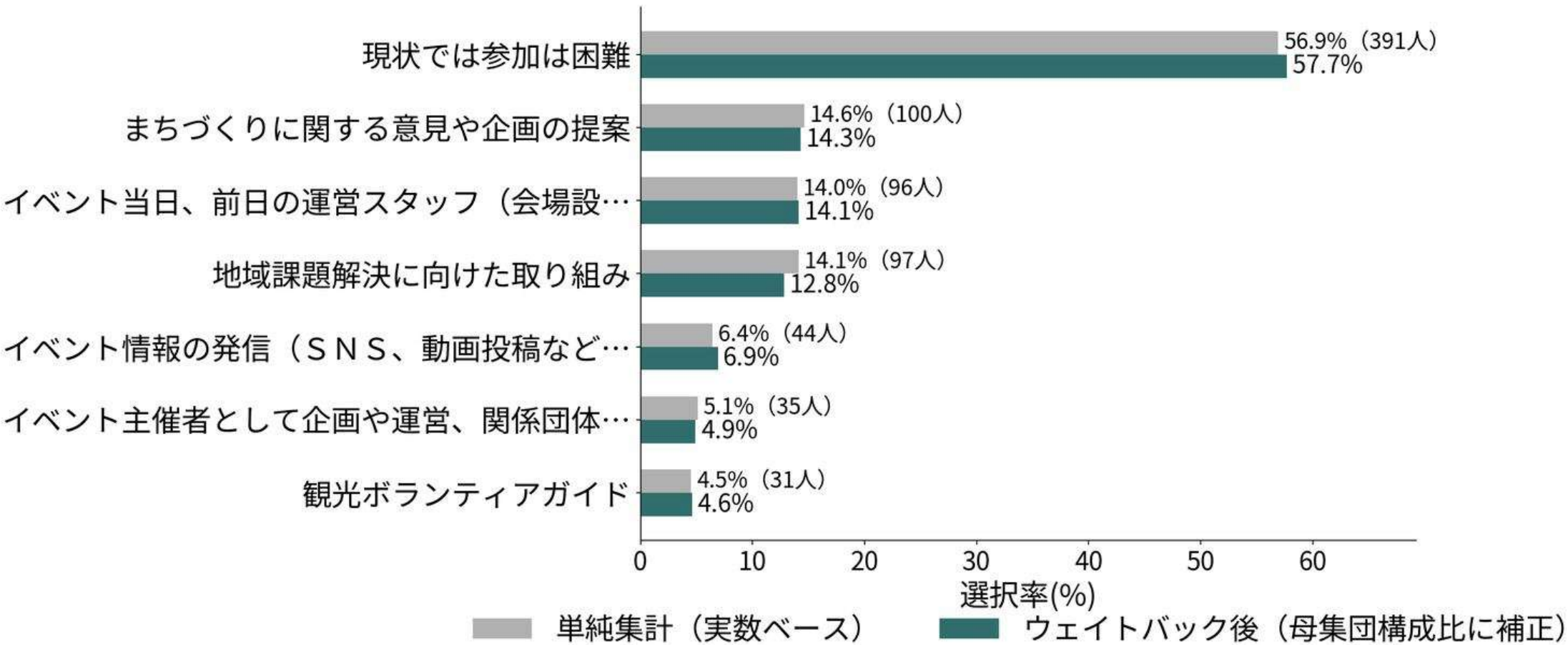
Q10. 残したい文化・伝統・イベント（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q13. まちづくりへの関わり方【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

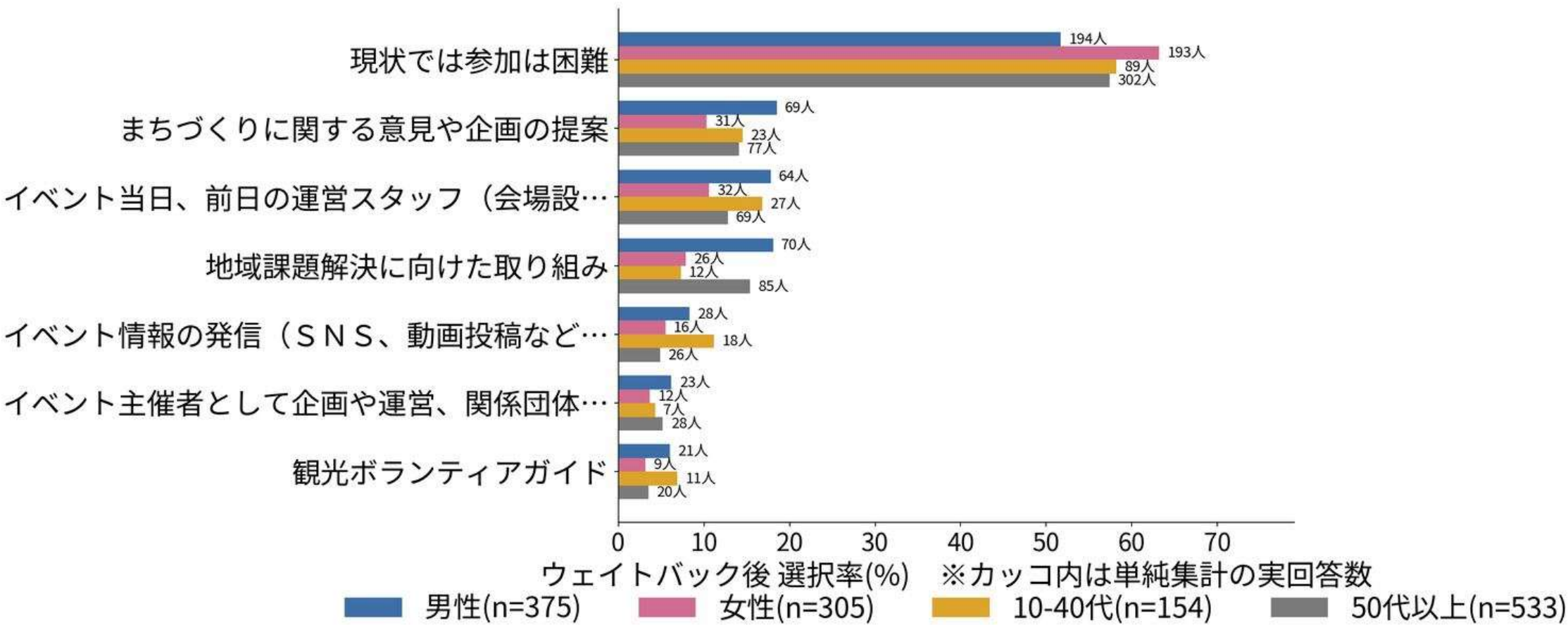
Q13. まちづくりへの関わり方（ウェイトバック前後比較）



Q13. まちづくりへの関わり方【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

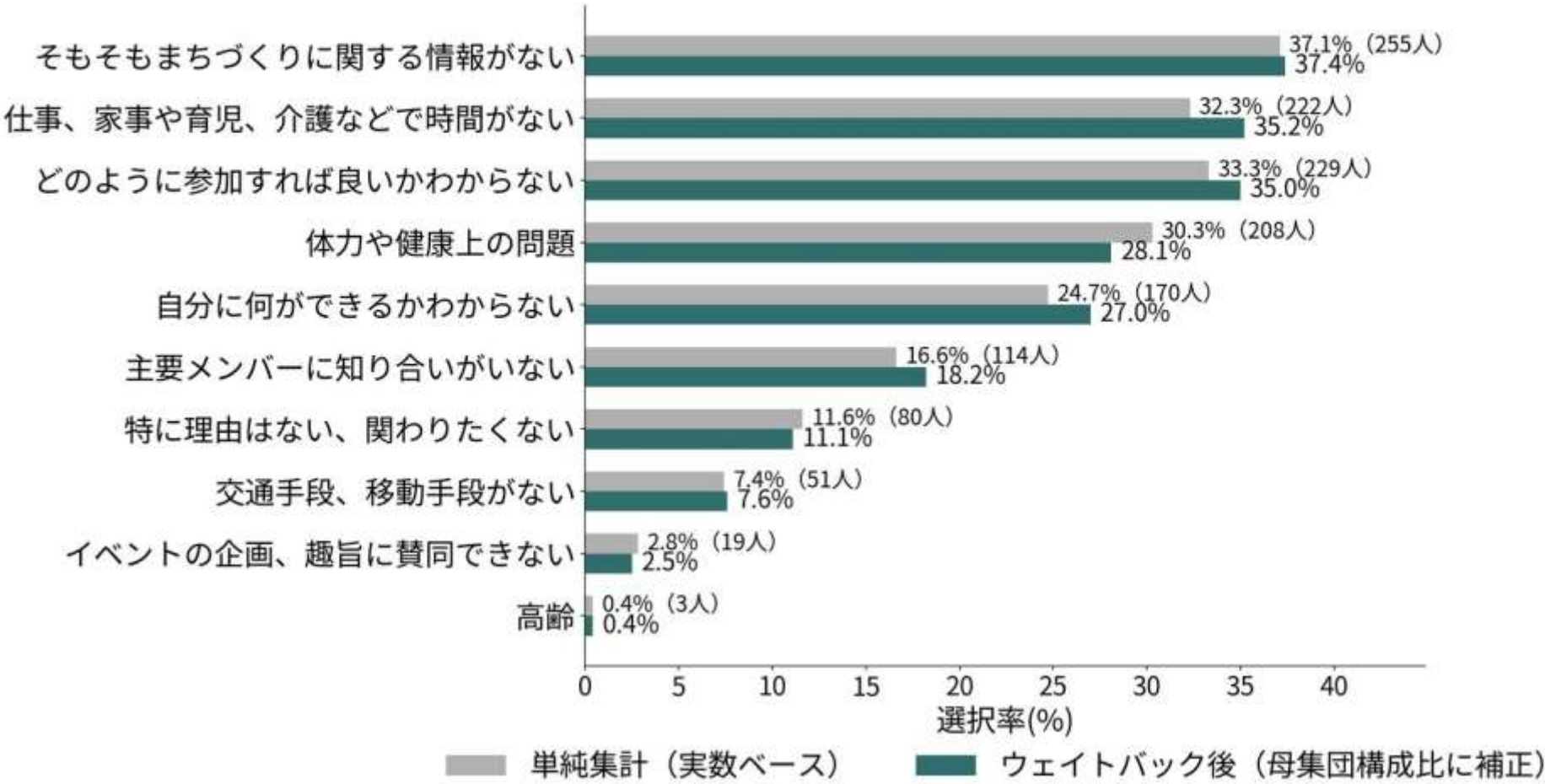
Q13. まちづくりへの関わり方（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q14. まちづくり参加を難しくする要因【ウェイトバック集計】

灰色＝単純集計（実数ベース） / 緑＝ウェイトバック後（母集団構成比に補正）

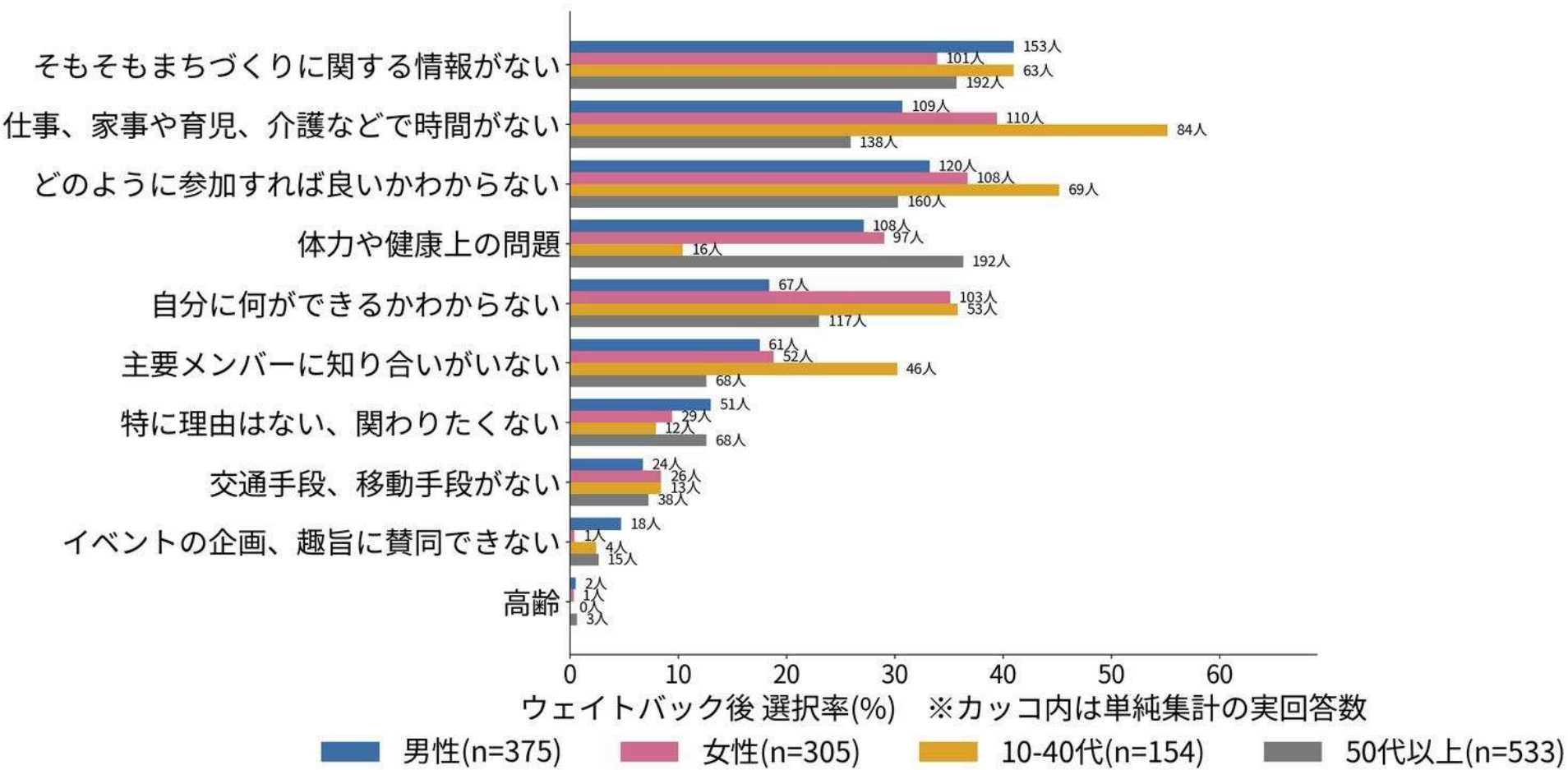
Q14. まちづくり参加を難しくする要因（ウェイトバック前後比較）



Q14. まちづくり参加を難しくする要因【ウェイトバック後・性別/年代別】

ウェイトバック後の値をもとに性別・年代別に再集計

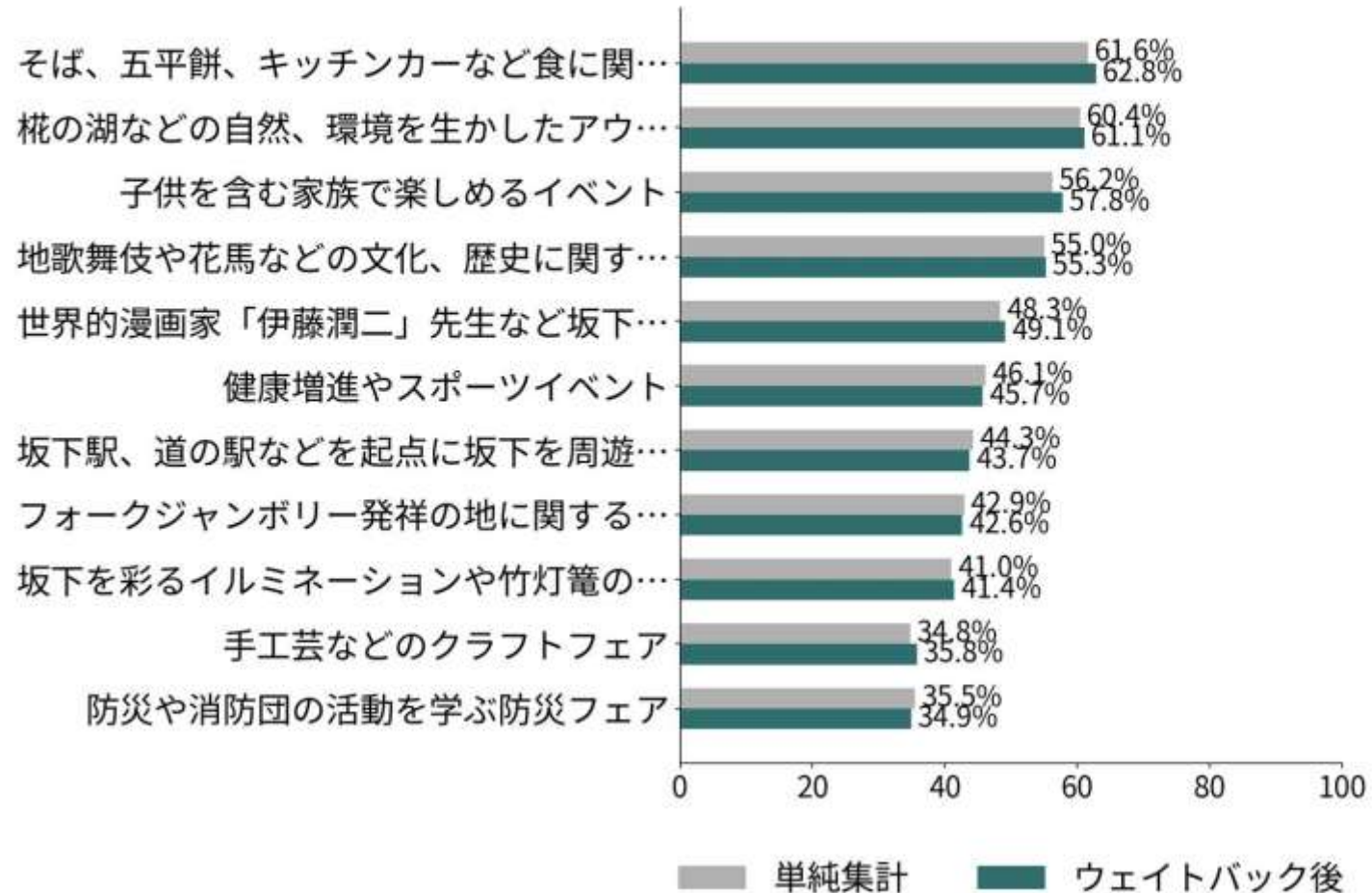
Q14. まちづくり参加を難しくする要因（ウェイトバック後・性別/年代別）



Q11. 今後やってほしいイベント【ウェイトバック集計】

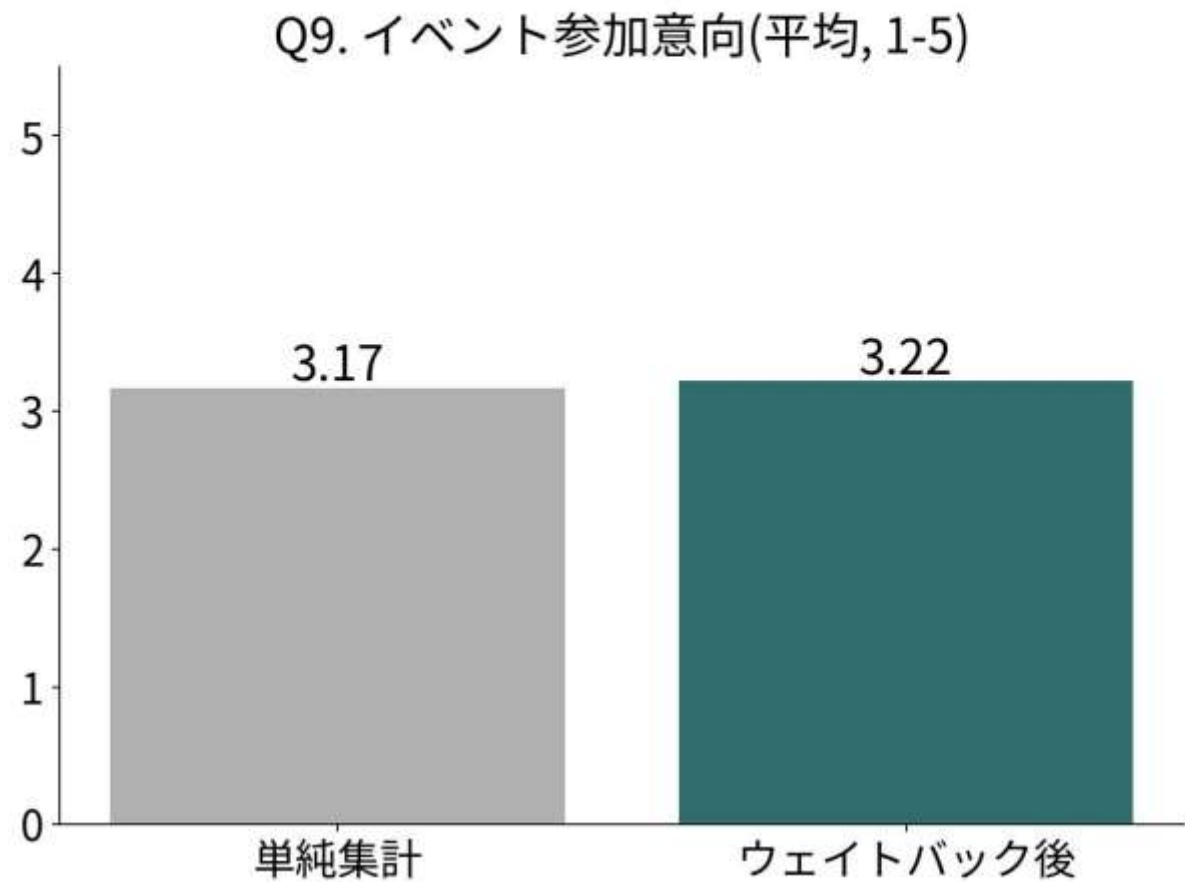
「ぜひやってほしい」+「やってほしい」の合計割合。灰色＝単純集計 / 緑＝ウェイトバック後

Q11. 今後やってほしいイベント（賛成率・ウェイトバック前後比較）



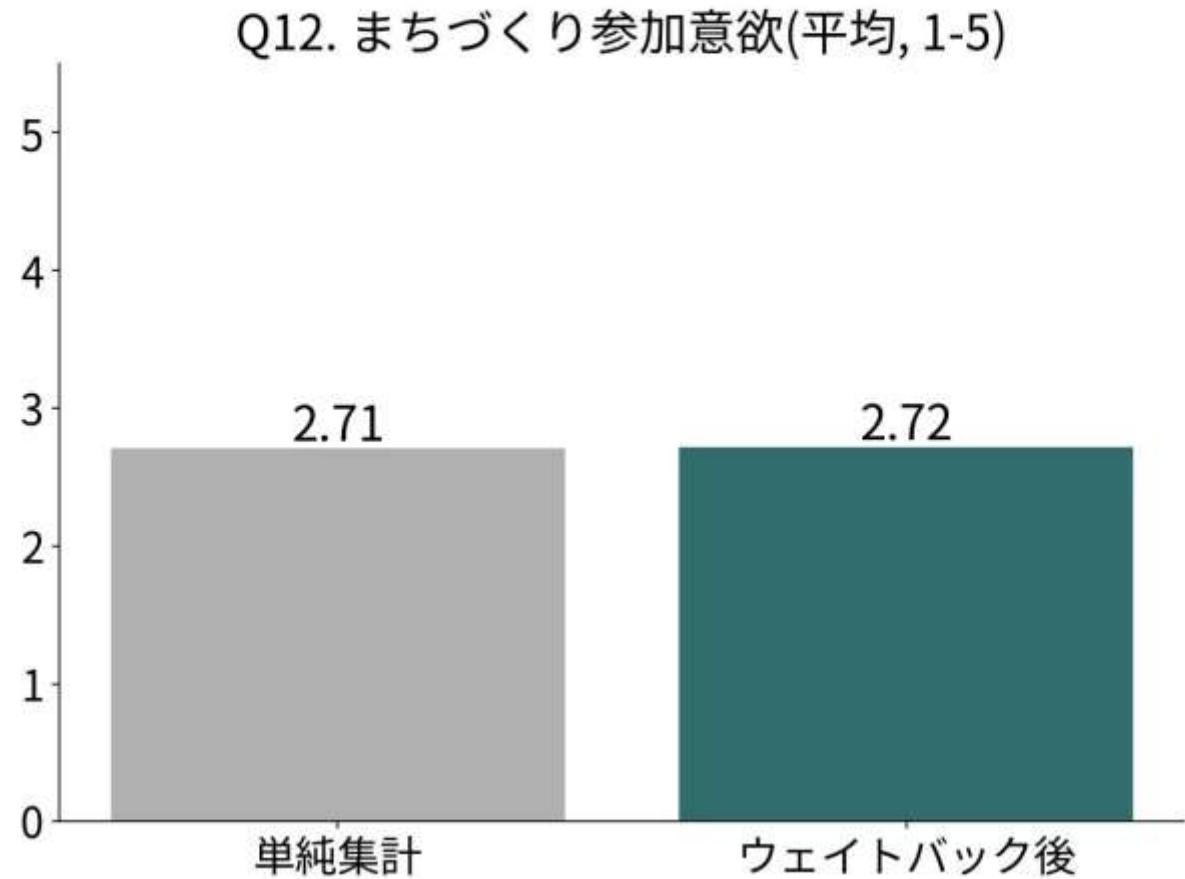
Q9. イベント参加意向【ウェイトバック前後比較】

Q9. イベント参加意向(平均, 1-5)：ウェイトバック前後の平均値比較



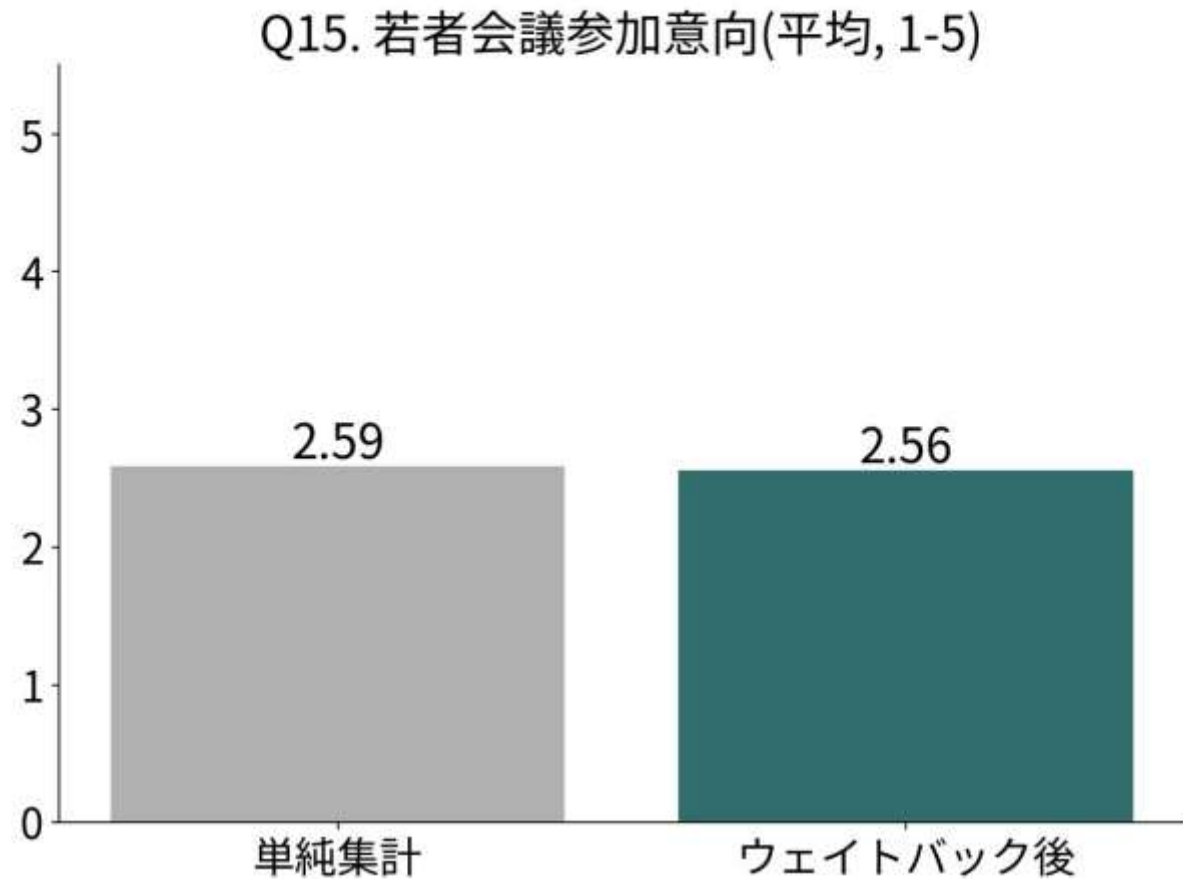
Q12. まちづくり参加意欲【ウェイトバック前後比較】

Q12. まちづくり参加意欲(平均, 1-5)：ウェイトバック前後の平均値比較



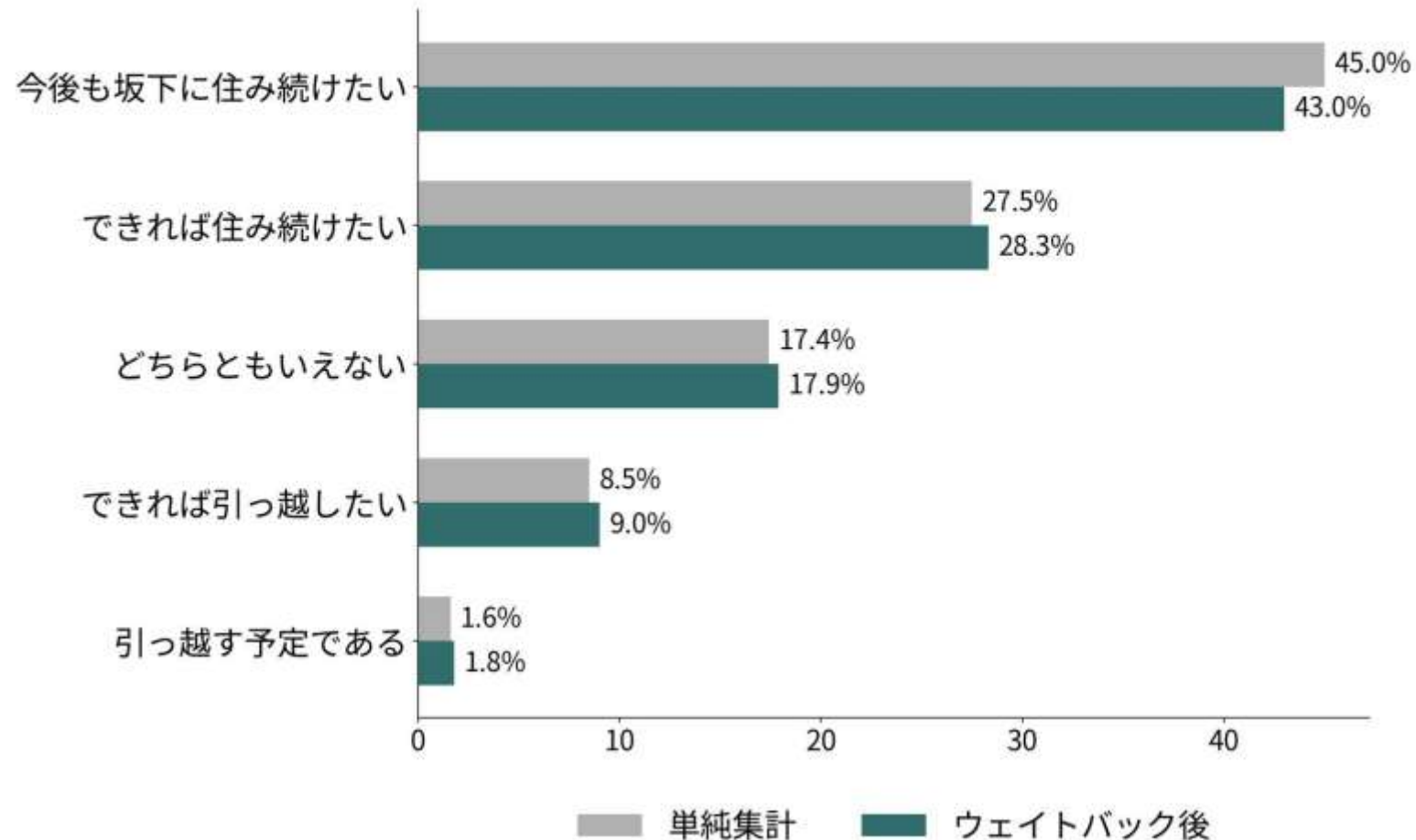
Q15. 若者会議参加意向【ウェイトバック前後比較】

Q15. 若者会議参加意向(平均, 1-5)：ウェイトバック前後の平均値比較



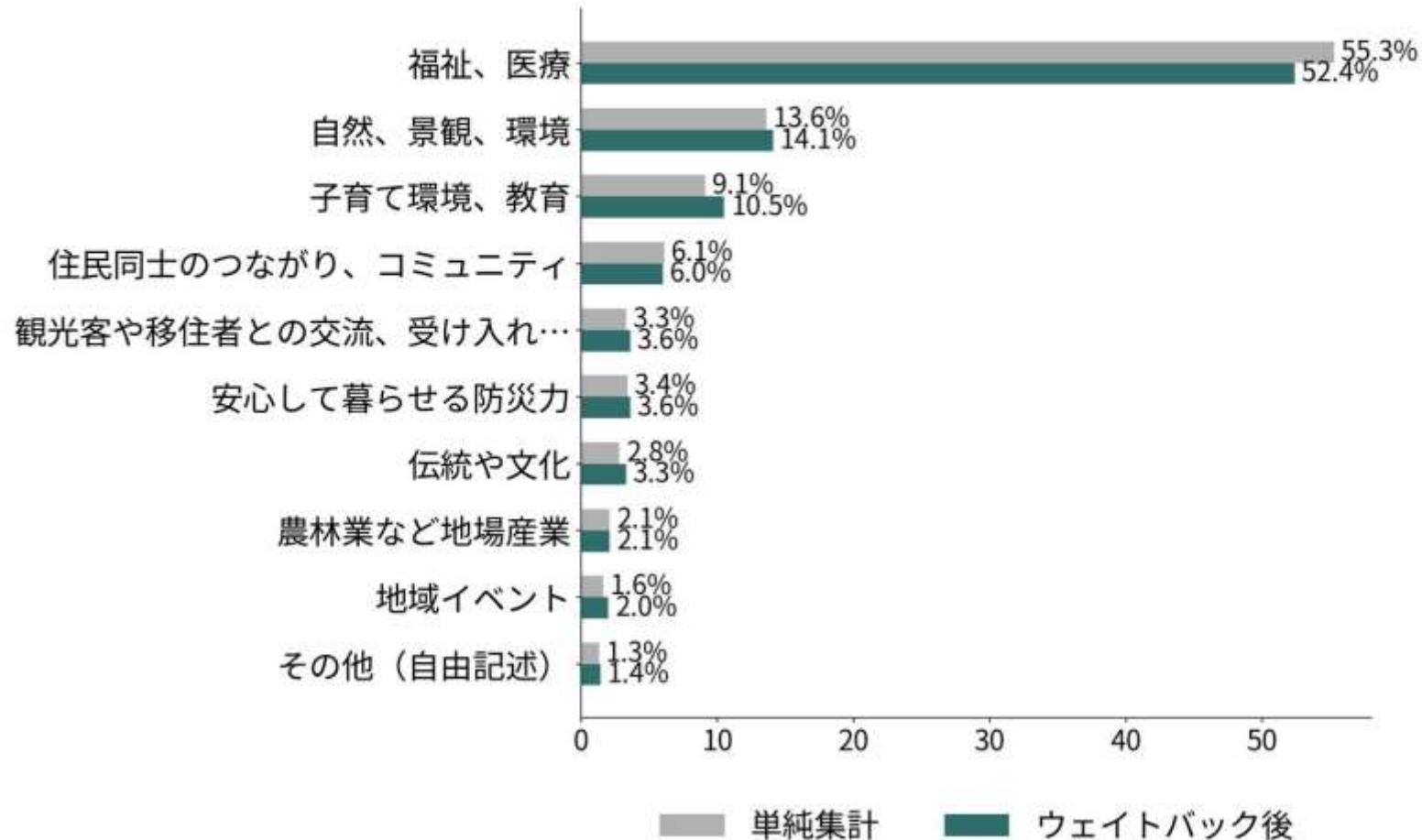
Q16. 今後も坂下に住み続けたいか【ウェイトバック集計】

Q16. 今後も坂下に住み続けたいか（ウェイトバック前後比較）



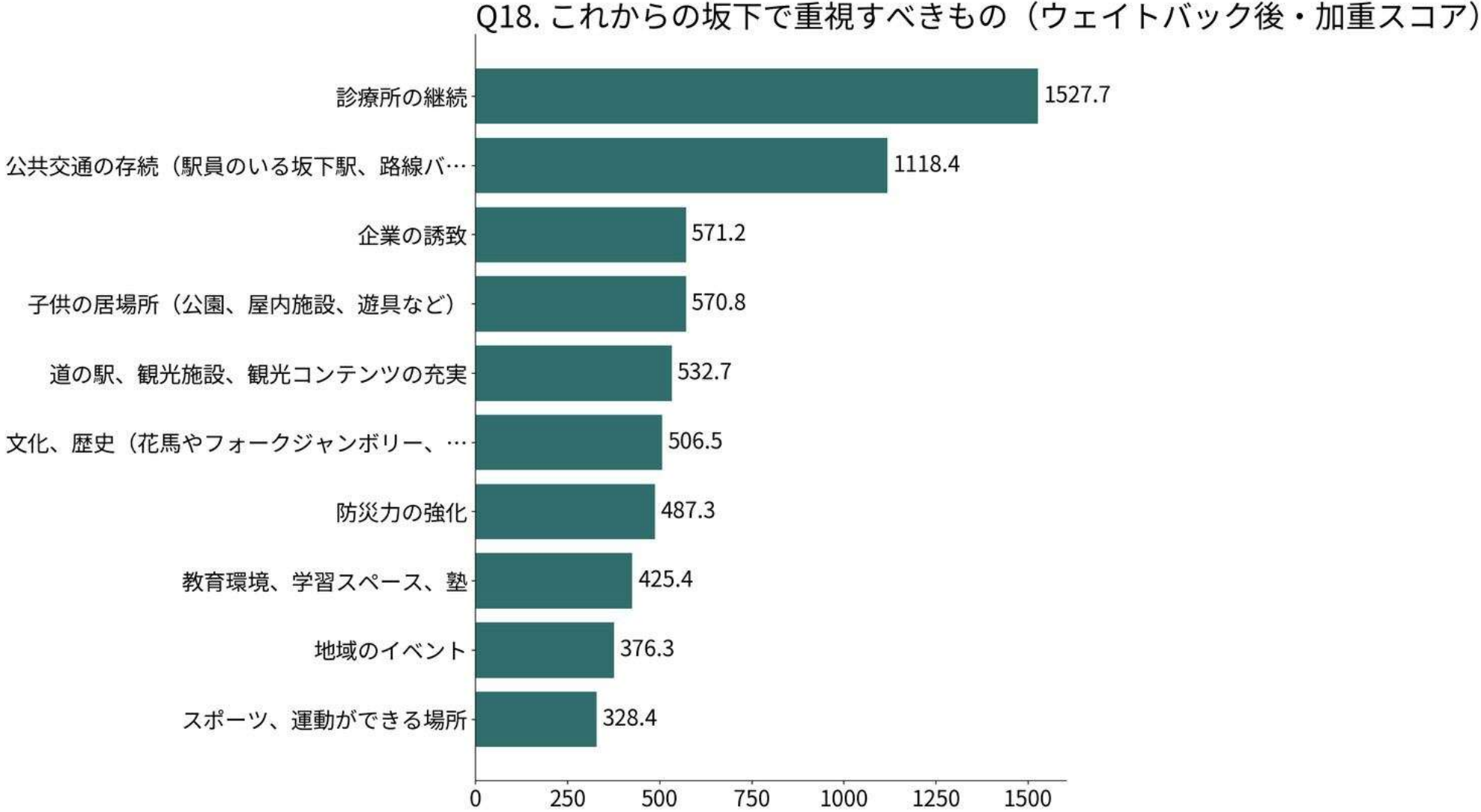
Q20. 10年後の坂下で一番大切にしてほしいこと【ウェイトバック集計】

Q20. 10年後の坂下で一番大切にしてほしいこと（ウェイトバック前後比較）



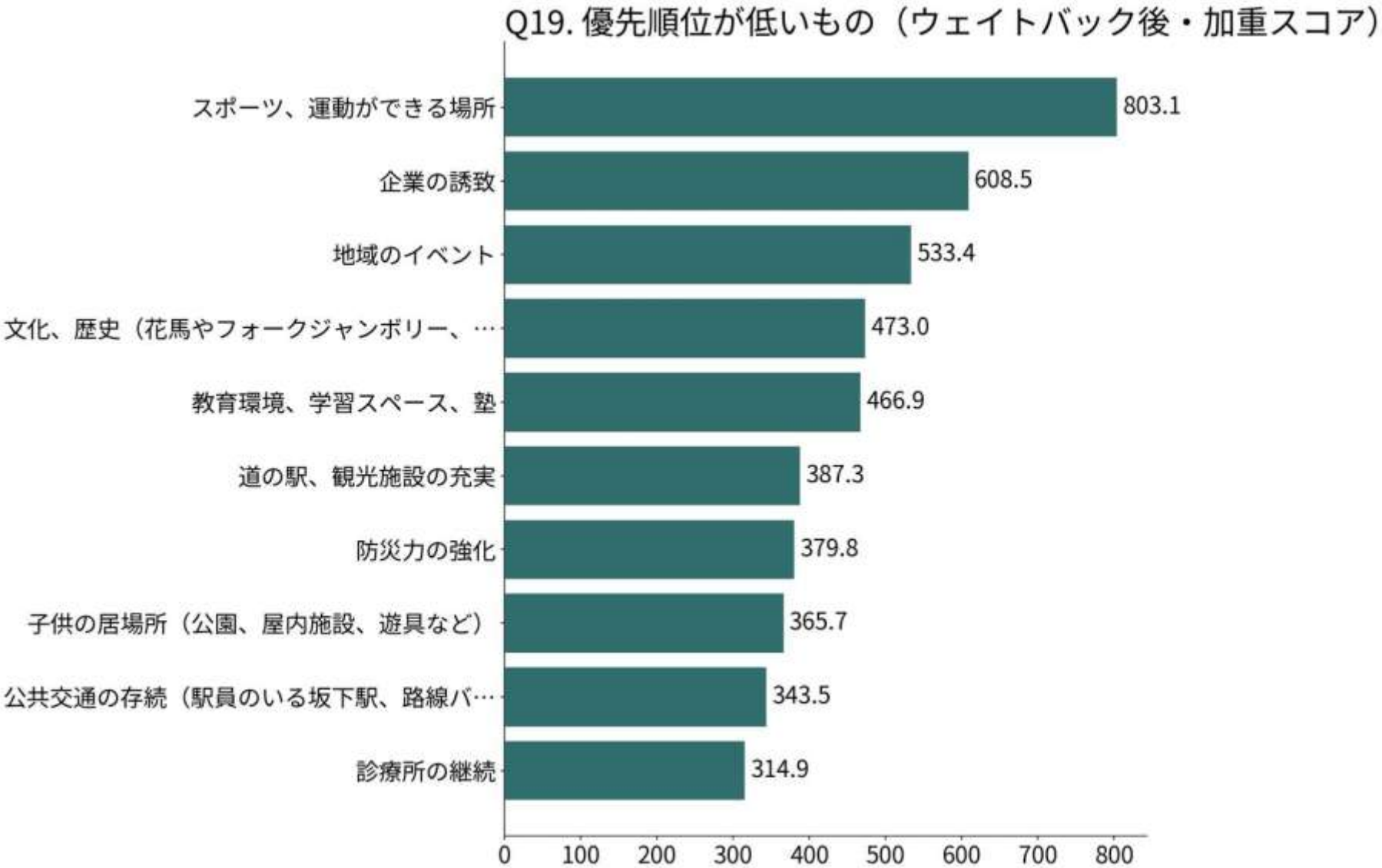
Q18. これからの坂下で重視すべきもの【ウェイトバック集計】

1位=3点,2位=2点,3位=1点で加重、ウェイトバック後のスコア



Q19. これからの坂下で優先順位が低いもの【ウェイトバック集計】

1位=3点,2位=2点,3位=1点で加重、ウェイトバック後のスコア



自由意見・その他の声について

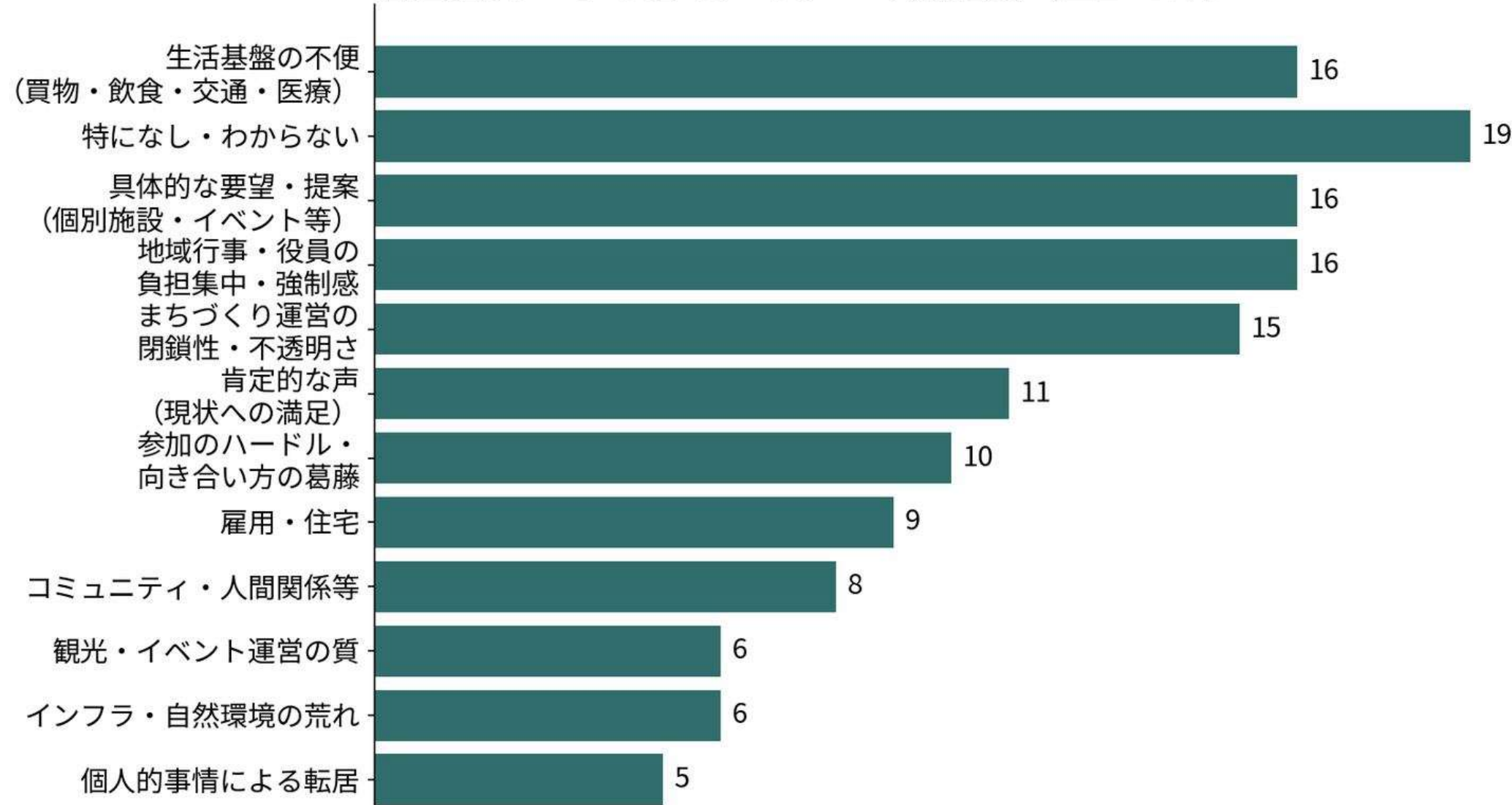
各設問の選択肢に加えて記入された自由記述・その他意見のうち、内容が既存の選択肢と明らかに一致するものはこれまで通り選択肢の集計に統合済みです。

以下は、既存の選択肢に当てはまらない・統合できなかった自由意見をそのまま掲載したものです。定量集計では拾いきれない具体的な声として、参考情報にご活用ください。各意見の末尾には発言者の年代・性別を付記しています。

自由意見の傾向（サマリー）

既存の選択肢に当てはまらない自由記述・その他意見141件を内容ごとに分類

自由意見・その他の声のテーマ別分類（全141件）



自由意見から見える主なポイント

- 生活基盤の不便（16件）が最多で、「特になし・わからない」（19件）、「具体的な要望・提案」（16件）、「地域行事・役員の負担集中」（16件）が僅差で続く。数値集計で見えていた「医療・買い物・交通への不満」「まちづくり参加の壁」を、より具体的な生活実感として裏付ける内容が多い。
- 「地元メンバーで固定されている」「よそ者には参加しづらい」「若者の意見を受け付けない体質」など、まちづくり運営の閉鎖性を指摘する声が目立つ。役員の高齢化・固定化への言及も複数あり、担い手の新陳代謝が課題として認識されている。
- 地域行事・役員の負担集中や強制感（16件）も多数。「役をやる人はいつも一緒」「なり手がいなくて続けざるを得ない状況が見過ごされている」など、負担の偏りを制度的に解消してほしいという声が具体的に表れている。
- 特に注目すべき個別の声：坂下病院の縮小をめぐり「区長会と病院を守る会が別々に署名活動を行い、地域が一丸となって取り組めなかった」という指摘があり、医療不安の背景に地域内の連携不足という構造的な課題がうかがえる。
- 一方で「肯定的な声」も10件あり、公民館・図書館・スポーツ施設など既存の生活基盤を評価する声や、新しいイベントが増えていることへの好意的な反応も見られる。
- 「特になし・わからない」も19件あり、関心の薄さというより「聞かれても答えづらい」層が一定数存在することを示唆している。

Q4. 坂下地区の良いところ（1/2）

選択肢に含まれない自由意見（11件中）

- ・災害対策に力を入れており安心して暮らせる（60代・男性）
- ・公民館など住民交流や趣味の発表の場が整備されている（60代・男性）
- ・スポーツ施設が充実している（60代・男性）
- ・ゲンキーができること（40代・男性）
- ・公民館に図書館があるところ(ずっとあってほしい)（30代・女性）
- ・JRが通っている所。キレイな山や川が近くにある事。県立高校がある事。（50代・男性）
- ・昔から住んでいるから（60代・男性）
- ・新しいイベントがどんどん増えていっているところ（20代・男性）
- ・良いところ無し（60代・男性）
- ・災害が少ない 住みやすい（70代・性別不明）

Q4. 坂下地区の良いところ（2/2）

選択肢に含まれない自由意見（11件中）

- ・災害が少ない（70代・性別不明）

Q5. 不満な点、困っているところ（1/4）

選択肢に含まれない自由意見（38件中）

- ・住民同士の距離感、近所付き合い（40代・男性）
- ・子供が遊べるところがない（40代・男性）
- ・大学や塾、研究所など高度教育や先進的な学習できる場所が少ない（40代・男性）
- ・観光客の受け入れ態勢や案内、情報発信が不十分（60代・男性）
- ・意見をあげても反映されない。あげた意見がどの様に検討されたのか等全く透明化されていない。市政の決定ありきで、住民に話を下ろされても覆らない。(坂下病院・保育園・小学校統合等)（50代・男性）
- ・祭り、行事はやりたい人でやればいい、今は強制（50代・男性）
- ・地域コミュニティに対する視野が低い、地域活性化に本腰を入れた活動が無さ過ぎる。若い人の意見を取り入れる気も少なく、小さい地域特有の考え方に固執し過ぎて話にならない。（30代・男性）
- ・地域行事の参加が強制的（50代・女性）
- ・住民も含め、なにもかも考え方が古すぎる（50代・男性）
- ・家を建てたいが土地がないし高い（30代・男性）

Q5. 不満な点、困っているところ（2/4）

選択肢に含まれない自由意見（38件中）

- ・ 職場から遠い（60代・女性）
- ・ 自治会などすごく面倒（40代・男性）
- ・ 地域の環境整備が悪い(個人、公共共)（50代・男性）
- ・ 全く魅力が無い（50代・男性）
- ・ お墓の維持、管理（60代・男性）
- ・ タクシーは 土曜日と日曜日はやってほしい（50代・男性）
- ・ 新聞の回収をしない。持って来いと言うスタンスで、運転の出来ない高齢者には不便。水道代が高く、以前住んでいた所の2倍。真夜中なのに警報や火事の消防団の出動についての放送をするので、寝てられない。（60代・性別不明）
- ・ なんとなくですが排他的な雰囲気を感じられます。（50代・男性）
- ・ 飲食店の少なさ（40代・男性）
- ・ 人口減少（60代・男性）

Q5. 不満な点、困っているところ（3/4）

選択肢に含まれない自由意見（38件中）

- ・病院が縮小されたら、患者が困るだけでなく若い女性の働く場所がなくなるという危機に、区長会と病院を守る会が別々に署名を集め、地域が一丸となって取り組めなかったことに不安と不満を感じている。（50代・女性）
- ・飲食店（60代・男性）
- ・コンビニがない（40代・男性）
- ・電車の本数が少ないところ（30代・女性）
- ・電車の本数が少ない（10代・女性）
- ・駅前にコンビニが無いこと。坂下のジムの料金が高いのと、回数券がないため気軽に行けない。長期休み中だけの学童利用ができないこと。（40代・女性）
- ・耕作放棄地が増えてきたこと。（50代・男性）
- ・地デジの電波が弱い（60代・男性）
- ・町づくり協議会は活動しているか？（70代・男性）
- ・駅から診療所に行ける歩道橋などの設置（50代・女性）

Q5. 不満な点、困っているところ（4/4）

選択肢に含まれない自由意見（38件中）

- ・働く場と住宅政策が乏しい（50代・女性）
- ・まちづくりに協力したい気持ちはあるのですが、どこまで協力出来るかとか、どこに連絡したらいいかとか知りたいです。ボランティア等も（20代・男性）
- ・熊の出没（60代・男性）
- ・近くに飲食店がなく、外食するのが大変（50代・男性）
- ・雑草が伸びすぎて、道路が走りにくい（50代・女性）
- ・主要道路に雑草が多い（50代・男性）
- ・入院できる病院が無い（70代・男性）
- ・花馬祭りは実行委員会でやるべし（50代・男性）

Q6. あったらいいな施設・サービス（1/3）

選択肢に含まれない自由意見（25件中）

- ・ 多数の雇用が見込ませる企業。または、少人数でも雇用が生まれるための企業（50代・男性）
- ・ 中高生の学習スペース（50代・女性）
- ・ 災害時避難所が避難所として適していない為バリアフリーの避難所（40代・女性）
- ・ 漫画家伊藤潤二に関するもの（60代・女性）
- ・ 障害のあるか方が気軽に使える運動スペース（40代・男性）
- ・ 費用の安い高齢者施設（30代・女性）
- ・ 安い病院送迎車。タクシーは、高いから。（60代・女性）
- ・ 夜でもやっている飲食店（50代・女性）
- ・ 総合病院・本数の多い電車とバス・GOタクシー・乗合タクシー（50代・女性）
- ・ 大企業（80代以上・男性）

Q6. あったらいいな施設・サービス（2/3）

選択肢に含まれない自由意見（25件中）

- ・ 20代の頃、実家の近くの坂下に一人暮らしができるアパートやシェアハウスがほしいと思っていた。（50代・女性）
- ・ 定期的なイベント（50代・男性）
- ・ 伊藤潤二先生の記念館（30代・女性）
- ・ 坂下駅のIC改札（50代・女性）
- ・ ローソンとゲンキー（60代・男性）
- ・ 特になし（80代以上・男性）
- ・ 駅前に駅利用者の為の駐車場（50代・女性）
- ・ 医療施設、働く場（60代・男性）
- ・ 温泉が欲しいです。中津川温泉スタンプラリーとかの企画も出来ると思う。（20代・男性）
- ・ ATM（40代・男性）

Q6. あったらいいな施設・サービス（3/3）

選択肢に含まれない自由意見（25件中）

- ・ 閉店時間が早い（60代・男性）
- ・ 商店が日曜日に休みなので？さびれても仕方ないと思う（70代・男性）
- ・ 働くことができる職場（60代・男性）
- ・ 高齢者の運動、リハビリ施設（70代・男性）
- ・ グランドゴルフ、ハッスル会、卓球などの町の協力をもっと沢山の方がやれるといい（70代・性別不明）

Q7. 負担な地域活動（1/2）

選択肢に含まれない自由意見（13件中）

- ・ どの活動にしても、特定の人物に負担が集中し無関心な人は無関心なままで終わっている現状に負担を感じる。（50代・男性）
- ・ 自治会に入るか入らないかを選びたい（50代・女性）
- ・ 地域の役が多い(目的を明確に、必要なら見直し)（50代・男性）
- ・ 今は分からない（60代・女性）
- ・ とにかく掃除の機会が多い。クリーンキャンペーン、用水清掃、公会堂の掃除、神社の掃除。（60代・性別不明）
- ・ 私個人としては今のところ負担ではないが、明らかに負担だと思われる人が次のなり手がいなくて続けざるを得ない様な状況が見過ごされている例がある。いわゆる「なあなあ」な感じで済ますのではなく、キチンと制度化した方が良いことが多々あるのではないかと感じる。（50代・男性）
- ・ 老齢になったため参加不可能（80代以上・男性）
- ・ 人前に出たり、リーダーシップをとることが苦手でも地域の役員がまわってくることが負担です。（50代・女性）
- ・ 家族が代わりにやっているため個人としては負担はない（30代・女性）
- ・ ボランティアではなく、半強制的な地域活動(一戸単位で単身では代わりもいない)（70代・男性）

Q7. 負担な地域活動（2/2）

選択肢に含まれない自由意見（13件中）

- ・役をやる人はいつも一緒、やらない奴ほど文句を言う人が多い！（60代・男性）
- ・自治会役員の負担が大きい納涼会（50代・男性）
- ・高齢世帯ほど負担に感じる事が多い（60代・男性）

Q8. 魅力的なイベント・行事

選択肢に含まれない自由意見（8件中）

- ・魅了だけでは続かない。集客と地元に落ちる収益を両立させる必要がある。（50代・男性）
- ・どれも大切な行事だが、魅力的とまでは思わない（50代・女性）
- ・分からない（60代・女性）
- ・まだ分からない（60代・女性）
- ・花を植えてくださっている。きれいで癒されます。（60代・女性）
- ・ひまわりの会チャリティバザー（40代・男性）
- ・水神祭（宝探しあり）（60代・男性）
- ・防災訓練（60代・男性）

Q10. 残したい文化・伝統・イベント

選択肢に含まれない自由意見（10件中）

- ・今後の坂下を考えるのであれば、坂下内だけではなく内外への情報発信と特徴的な魅了あるものの付加価値を付けないと、ただただ回数を増すだけの伝統としかならない。（50代・男性）
- ・特に積極的に残したいと思うものはない（50代・男性）
- ・特にない（50代・女性）
- ・ない（40代・男性）
- ・特になし（30代・女性）
- ・椈の湖などの遺跡の保存（70代・男性）
- ・こ（80代以上・男性）
- ・全ていいものばかりなので、もっと市内外、県内外にPRをするとより人が集まると思います！椈の湖で、若者向けの音楽イベントも開催して欲しいです！（20代・男性）
- ・何も無し（60代・男性）
- ・敬老会（80代以上・男性）

Q13. まちづくりへの関わり方（1/2）

選択肢に含まれない自由意見（11件中）

- ・全てにおいて意欲はあるが、とれだけ建設的な対話ができるのかは、今の中津川市や坂下を見ていると疑問視されることが多すぎる。（50代・男性）
- ・なし（40代・男性）
- ・分からない（60代・女性）
- ・年齢的に難しいと思います。（10代・女性）
- ・今回のようなQRコードでの意見の募集は参加しやすい（30代・女性）
- ・ふ（70代・男性）
- ・機会があれば何でも（50代・女性）
- ・しゃべって笑う事（70代・男性）
- ・坂下の未来を見据える風土の醸成（60代・男性）
- ・関わりたくない（60代・男性）

Q13. まちづくりへの関わり方（2/2）

選択肢に含まれない自由意見（11件中）

- ・ 口コミで広める（40代・女性）

Q14. まちづくり参加を難しくする要因（1/2）

選択肢に含まれない自由意見（15件中）

- ・それぞれの企画立案がどの会でいつ決まっているか全く分かりません。賛同できないイベントや企画に参加できないのではなく。どのような結果を求めたものなのかが分からない。楽しいだけの催事であるならば企画メンバーにこだわる必要もないように感じます。何にたいして何を求めたものなのかが透明化されたら、私は全ての催事に参加も惜しみません。（50代・男性）
- ・若者の意見を受け付けない体質（50代・男性）
- ・地元メンバーで固定されている（30代・男性）
- ・分からない（60代・女性）
- ・斬新なメンバーを集めてとは思えない。旧態然とした人選のように思われる（70代・男性）
- ・坂下のために何かやりたいという思いはある。が、仕事もあるし子育てもあるしワンオペ状態では会議等出席は難しい。また、地元出身の方々ばかりなのでは？私みたいな余所者が発言しても汲み上げてもらえないんじゃないか？という思いもある。川上のまち協のように取り組んでいることを発信してもらえるとどんな活動をしてどんな思いをもっているのか理解できるので町民の意識が向くのではないかと思います。特定の、というのがそもそも参加したいとは思えない。特定の方々に作ってきたものなのかな？と思うと余計に参加しにくい。（40代・女性）
- ・合併前は行政と商工会（自営業者）が中心で、一般の人は関わってこなかった気がします。地域の役員をはじめ、まちづくりが自分の仕事に繋がらない（利益にならない）と関わることが負担に感じる。（50代・女性）
- ・順番でやるならば仕方がない（60代・男性）
- ・次の世代(子や孫)を坂下地内に残していないのに今坂下で生活している次の世代に行動を要求している事が一番矛盾している（50代・男性）
- ・よそ者には参加しづらい（40代・女性）

Q14. まちづくり参加を難しくする要因（2/2）

選択肢に含まれない自由意見（15件中）

- ・出る杭は打たれる！（60代・男性）
- ・誰かがやるでいいら、っていう考え。（50代・男性）
- ・ボランティアに頼らない。報酬有り（40代・男性）
- ・自治会の仕事で参加（50代・男性）
- ・ハードルなし（60代・男性）

Q17. 「引っ越したい」と回答した方の理由

選択肢に含まれない自由意見（10件）

- ・役をやらされるから。（50代・男性）
- ・横断歩道で歩行者優先なのに止まってくれない車が多いなど優しい人が少ないから（10代・女性）
- ・子育ての為にここへ来たが子供が巣立った後は自治会の役員やら地域との関わりがとても面倒である。（50代・男性）
- ・施設に入居するため（70代・女性）
- ・家族（親や子供）と同居するため（50代・男性）
- ・家屋が壊れかけているから（70代・男性）
- ・なんかいやだ！（60代・男性）
- ・中津川から遠い（50代・男性）
- ・？（70代・女性）
- ・家族（親や子供）と同居するため（60代・男性）

まちづくり優先度のABC分析

ABC分析とは

複数の項目を重要度順に並べ、累積構成比によってA・B・Cの3グループに分類する優先順位付けの手法です（パレート分析の一種）。

Aランク：累積構成比70%以内 → 最優先で取り組むべき項目

Bランク：累積構成比70～90% → 優先度中位の項目

Cランク：累積構成比90%超 → 相対的に優先度が低い項目

なぜQ18で「加重スコア」、他設問で「選択率(%)」を使うか

Q18は「上位3つを選ぶ」形式のため、順位を反映した加重スコア（1位=3点,2位=2点,3位=1点）で重要度を測るのが適切。

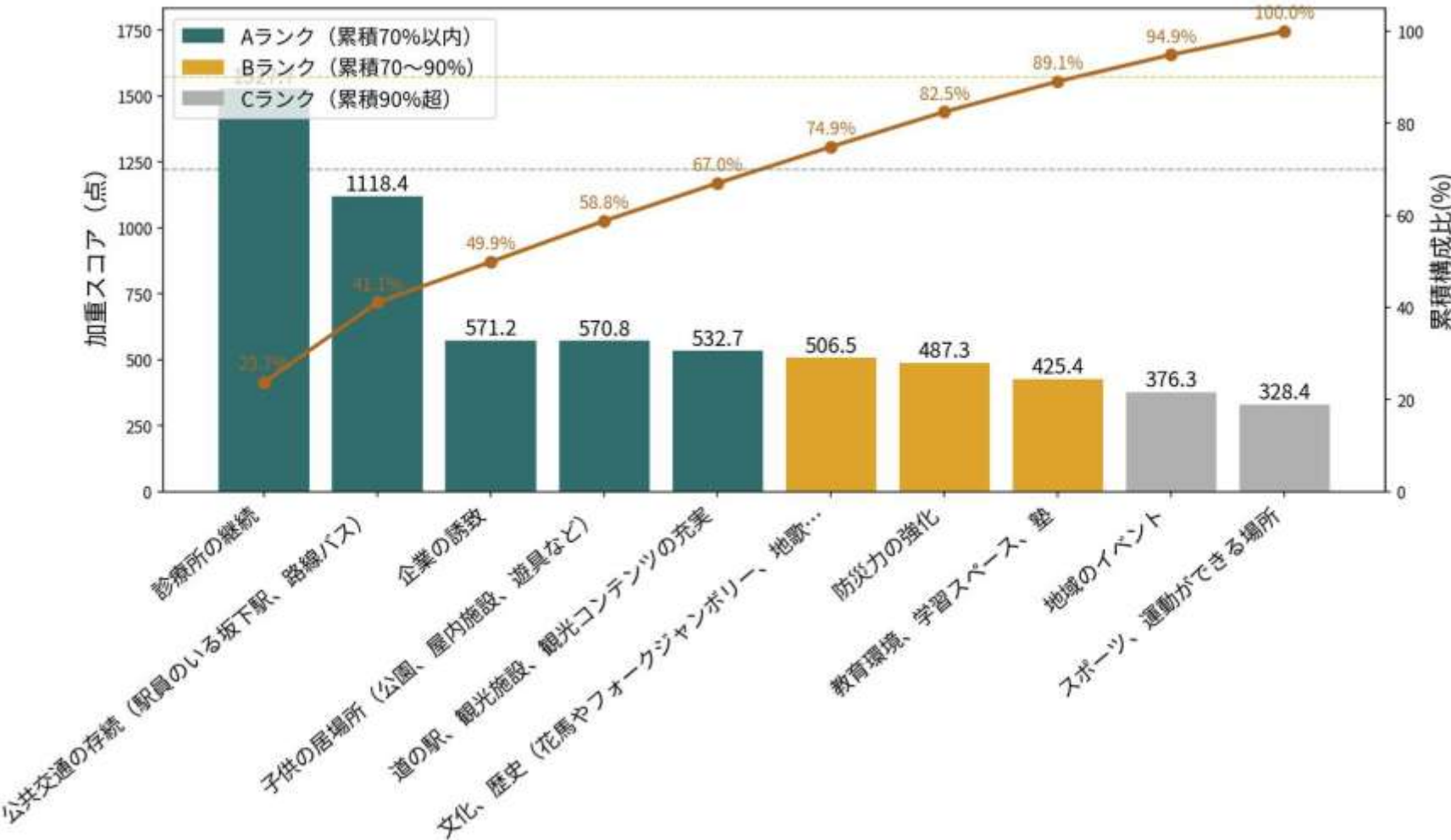
Q5・Q6・Q7・Q14は「当てはまるものすべて」を選ぶ複数回答形式のため、単純な選択率(%)をそのままABC分析の指標として使用。

以降、Q18（まちづくり優先度）、Q5（不満点）、Q6（施設ニーズ）、Q7（地域活動の負担）、Q14（参加障壁）についてABC分析を行う。※若年層のみのABC分析は別ファイルに記載

まちづくり優先度 ABC分析【全体】

Q18・ウェイトバック後スコアを使用

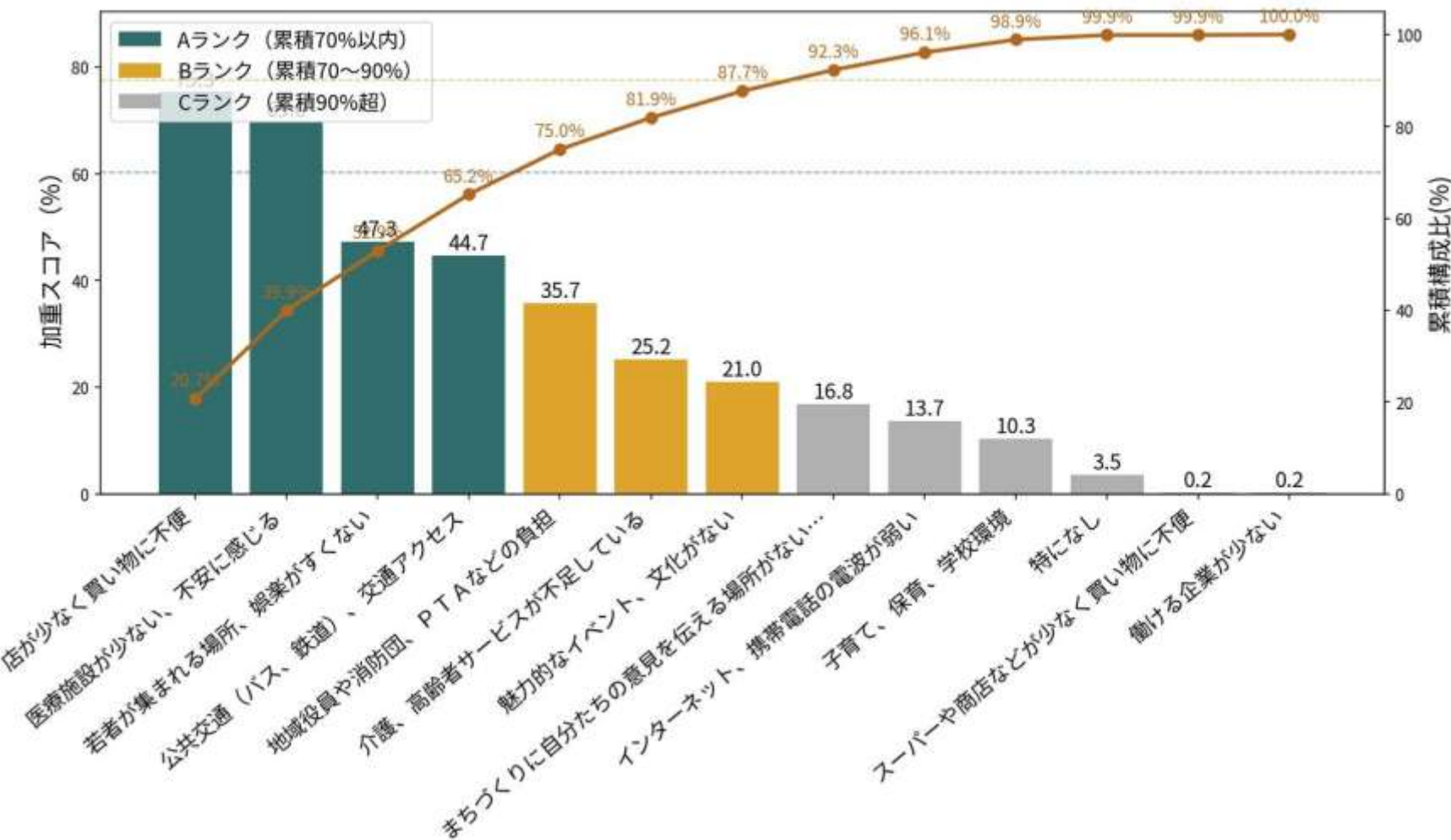
まちづくり優先度 ABC分析【全体】（Q18・ウェイトバック後スコア）



不満点 ABC分析【全体】

Q5（不満な点・困っていること）・選択率(%)ベース

不満点 ABC分析（Q5・選択率%）



不満点ABC分析からわかること

Aランク（累積70%）は「買い物」「医療」「若者の居場所」「公共交通」の4項目のみで全体の65.2%を占める。生活基盤系の不満が突出して支配的。

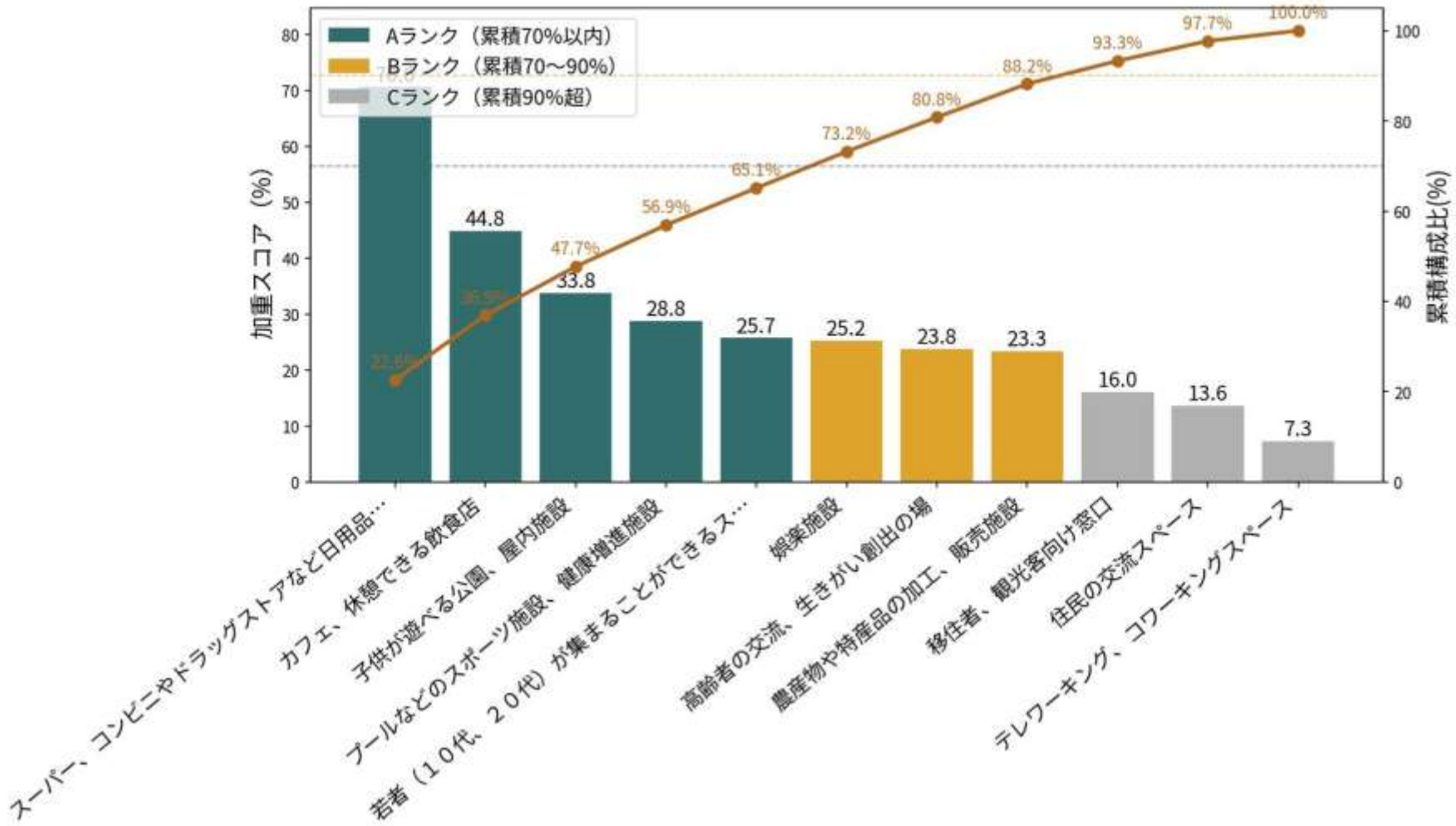
「地域役員等の負担」「介護・高齢者サービス不足」「魅力的なイベントがない」はBランク。生活基盤ほどではないが無視できない水準。

「まちづくりへの意見を伝える場所がない」はCランク（16.8%）だが、Q14の参加障壁分析と関連が深く、件数の少なさで軽視すべきではない項目。

施設ニーズ ABC分析【全体】

Q6（あったらいいな施設・サービス）・選択率(%)ベース

施設ニーズ ABC分析（Q6・選択率%）



施設ニーズABC分析からわかること

Aランクは「買い物施設」「カフェ等飲食店」「子供の遊び場」「スポーツ・健康増進施設」「若者向けスペース」の5項目で累積65.1%。

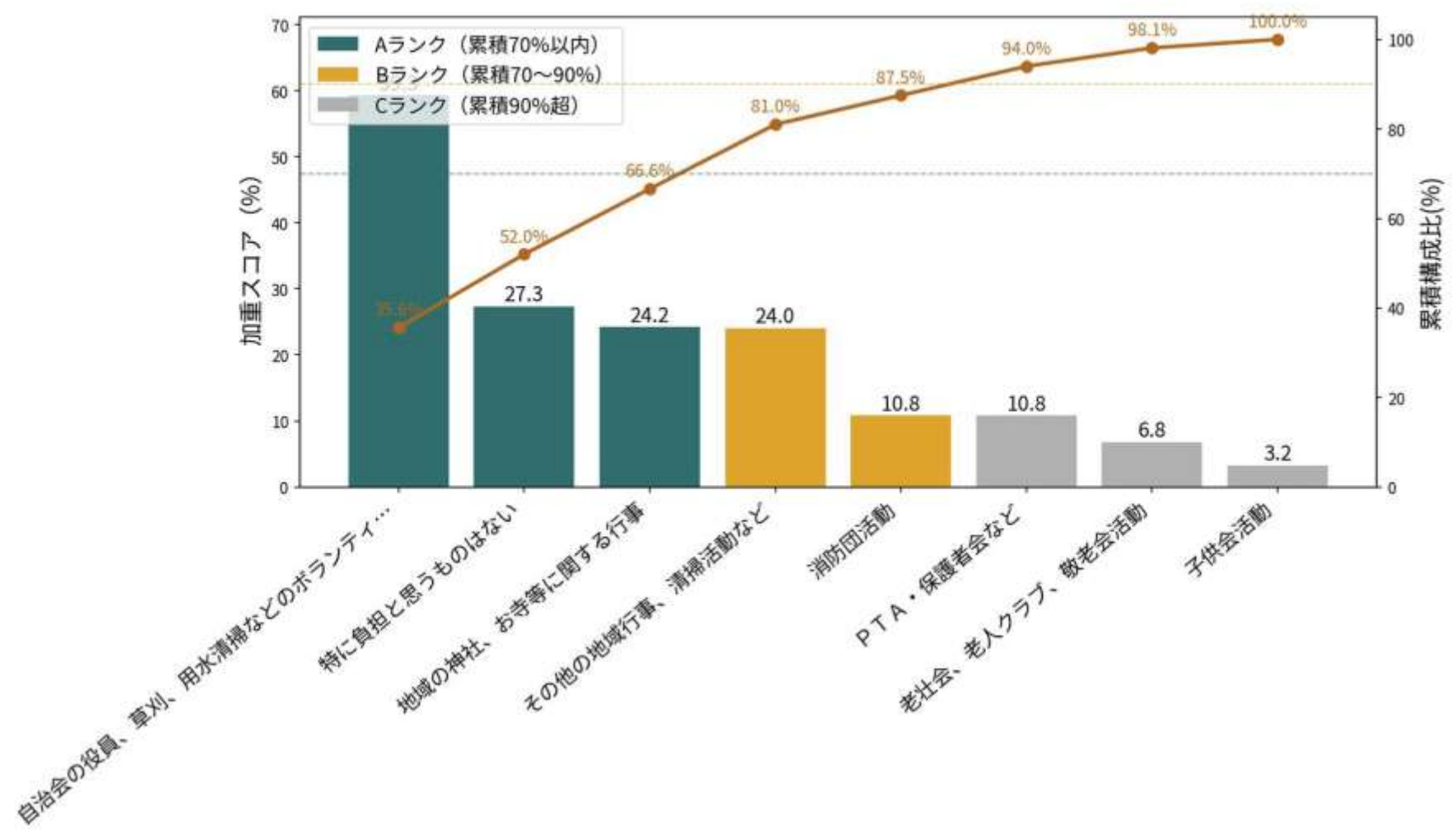
「買い物施設」（70.6%）が単独で全体の2割超を占め、Q5の不満点1位（買い物不便75.3%）とも整合。最優先の投資対象と言える。

「高齢者の交流の場」「農産物加工販売施設」はBランク。Aランクの若者向けニーズと比べるとやや優先度は下がるが、世代別に見ると評価が変わる可能性がある（ABC分析は全体平均であることに留意）。

地域活動の負担 ABC分析【全体】

Q7（負担と感じる地域活動）・選択率(%)ベース

地域活動の負担 ABC分析（Q7・選択率%）



負担ABC分析からわかること

「自治会役員等」1項目だけで寄与度35.6%、単独でAランクの半分以上を占める圧倒的な負担源。他の項目とは規模が一桁違う。

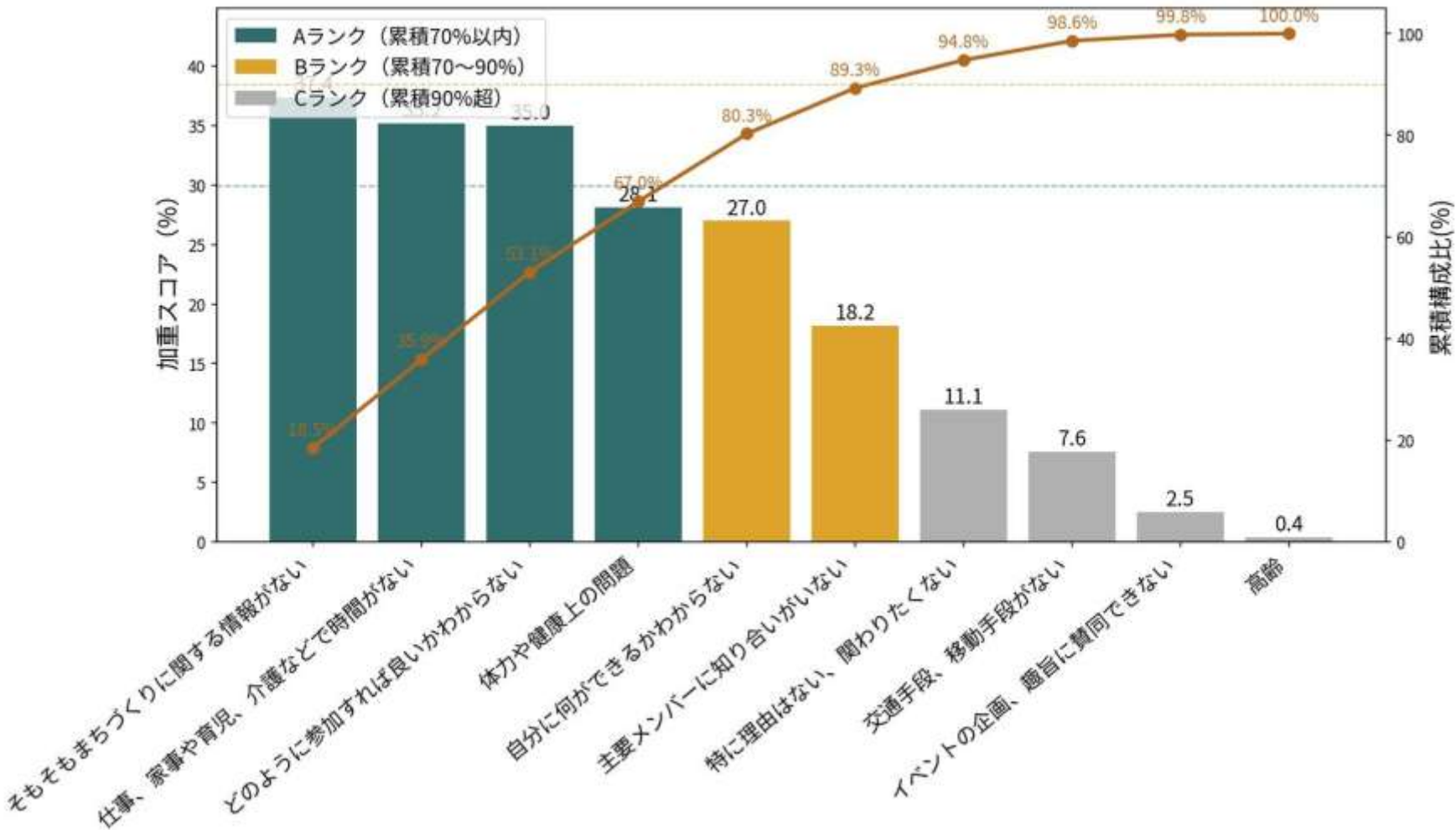
「特に負担なし」もAランク（27.3%）に入っており、負担を感じる層と感じない層の二極化がうかがえる。

「神社・お寺の行事」「その他地域行事」もA～Bランクで無視できない負担。PTA・消防団はCランクだが、若年層に限ると負担感が跳ね上がる点は別途注意（若年層のみの集計は別ファイル参照）。

参加障壁 ABC分析【全体】

Q14（まちづくり参加を難しくする要因）・選択率(%)ベース

参加障壁 ABC分析（Q14・選択率%）



参加障壁ABC分析からわかること

Aランクは「情報がない」「時間がない」「参加方法がわからない」「体力・健康上の問題」の4項目で累積67.0%。この4つへの対応で参加障壁の大部分をカバーできる。

上位3項目（情報・時間・参加方法）はいずれも17～19%前後で拮抗しており、一つだけ対応しても効果は限定的。複合的な施策が必要。

「自分に何ができるかわからない」「知り合いがいない」はBランク。特に女性・若年層で顕著な心理的障壁であり、LINE公式アカウント等での「軽量の参加メニューの提示」が有効な対応策になり得る。